Rational. Synergy

IBM

開発者用ヘルプ

IBM Rational Synergy

ヘルプ

リリース 7.1a

本書をご使用になる前に、特記事項に記載されている情報をお読みください。

本書は、Rational Synergy（製品番号 5724V66）バージョン 7.1 および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

© Copyright IBM Corporation 1997, 2009.

次に、ビルド マネージャがプロジェクト グルーピングにタスクを追加する必要がある例を示します。ビルド マネージャは、おそらく最終の**システム テスト** ビルドを完了しました。SQE は、リリースする前に修正する必要がある問題を発見しました。開発側で問題を修正し、ビルド マネージャにタスクを渡します。彼は、タスクを**システム テスト** プロジェクトに追加し、もう一度ビルドを行います。

ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **タスク** タブをクリックします。

   このタブには、このダイアログボックスまたは**タスク** コンテキスト メニューか**アクション** メイン メニューの**プロジェクト グルーピングへ追加**オプションを使用してプロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクが表示されます。

   プロジェクト グルーピング内には手動で追加したタスク以外のタスクもあることに注意してください。プロジェクト グルーピングには、ベースラインを作成した後に完了したタスクも含まれます。

   したがって、プロジェクト グルーピングは以下のようなタイプのタスクを含むことができます。

   - タスクはベースラインと関連付けられている。

     ベースライン プロジェクトタブをクリックしてからベースラインをダブルクリックして、これらのタスクを表示します。**プロパティ** ダイアログボックスの**タスク** タブにタスクが表示されます。

   - タスクが更新テンプレート内にあるが、ベースライン内にはない。

     タスク タブをクリックして**このベースラインで処理されたタスク**リストにこれらのタスクを表示します。

   - タスクを手動で追加している。

     タスクタブをクリックしてこれらのタスクを表示します（タスクを手動で追加すると、その必須タスクも追加されます）。

   ベースライン上のどのタスクを使用するかを選択できます。

   - ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。
   - 使用するタスクを選択するには、適切な**使用**チェックボックスで各タスクをクリアまたは選択します。

3. **タスクの追加**ボタンをクリックします。

   タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グルーピングに追加するタスクを検索できます。

タスクの削除

プロジェクト グルーピングは、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。タスクをプロジェクト グルーピングから削除すると、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

タスクが手動で追加され、タスクが更新テンプレートによって自動的にプロジェクト グルーピングに追加されている場合に、プロジェクト グルーピングからタスクを削除できます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ペインの**プロジェクト** タブで、適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 削除するタスクがある場所に応じて、**タスク** タブをクリックして手動で追加したタスクまたはベースラインの上のタスクを表示します。
3. 削除するタスクを右クリックし、**プロジェクト グルーピングから削除**を選択します。
4. プロジェクトの更新を行います。

関連トピック

- タスクの作成
- ベースラインとタスクの更新
- タスクの除外
- 修正タスクの作成
- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- ワークエリアとデータベースの同期
- プロジェクトの更新
- 別のベースラインの使用
- プロパティの表示

ベースラインを使用した変更

- ベースラインとタスクの更新
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止
- 新規ベースラインの選択
- 別のベースラインの使用

ベースラインとタスクの更新

デフォルトで、プロジェクトを更新すると Rational Synergy はプロジェクト グルーピングのベースラインとタスクを更新し、新しいタスクをベースに新しいメンバーを選択します。

> **注意！**この操作による更新は恒久的です。**プロジェクト グルーピング プロパティ** ダイアログボックスから更新すると、元に戻すこともキャンセルすることもできません。ダイアログボックスでキャンセルしても更新はキャンセルされません。

ステップ ...

- **プロジェクト** エクスプローラで、適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

  プロジェクト グルーピング プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
- をクリックしてベースラインとタスクを最新の状態に更新します。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- プロジェクトの更新プロパティの変更
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止
- オブジェクトの再表示
- 関連タスクの表示

更新時のベースラインとタスクの変更の防止

デフォルトでは、プロジェクトを更新すると、Rational Synergy はプロジェクトグルーピングのベースラインとタスクを更新します。しかし、ベースラインとタスクの状態を更新したくない場合もあります。たとえば、単体テストの最中の開発者は、別の開発者による関連する変更は取り込みたいと考える一方で、新しいタスクは不要だと考えるでしょう。また、ビルド マネージャは、ビルド修正のためのタスクを追加したいと考える一方で、更新を実施したばかりなので新しいタスクを取り込みたくないと考えるでしょう。

ベースラインとタスクは、プロジェクト グルーピングの一部です。したがって、プロジェクトを更新するときにベースラインとタスクを更新したくない場合、プロジェクトが含まれるプロジェクト グルーピングで更新オプションをオフにできます。

ステップ ...

- **プロジェクト** エクスプローラで、適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択します。

  これによってオプションの左側のチェックマークが選択解除されます。さらに、プロジェクト グルーピングの**プロパティ** ダイアログボックスを開くと、**自動更新** チェックボックスが選択解除されています。このチェックボックスは、選択するか、**プロジェクト** エクスプローラでプロジェクト グルーピングを右クリックして**ベースラインとタスクの自動更新**を選択するまで、選択解除の状態になっています。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- オブジェクトの再表示
- ベースラインとタスクの更新
- プロジェクト グルーピングからタスクを削除
- 関連タスクの表示

新規ベースラインの選択

開発者は、プロジェクトを **Custom Development** 目的を持つよう変更するか、**Custom Development** 目的の新規プロジェクトを作成すると、新規ベースラインを設定できます。これにより、新しいプロジェクト グルーピングが作成されます。開発者はプロジェクト グルーピング ベースラインを適切に設定する必要があります。

ステップ ...

1. カスタム目的と新規リリースを持つプロジェクトをコピーします。
2. 新規プロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
3. ベースラインを設定します。
   a. **ベースライン プロジェクト** タブをクリックしてから**ベースライン選択**をクリックします。

      ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グルーピングのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
   b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- プロジェクトのコピー
- ベースライン プロパティの修正
- 別のベースラインの使用

別のベースラインの使用

自分のプロジェクトの更新を完全に管理したい開発者は、目的が **Custom Development** に設定されているプロジェクト グルーピングを作成できます。その後、特定リリースの自分の全カスタムプロジェクトに使用するベースラインとタスクのリストを手動で選択できます。

たとえば、開発者が自分のプロジェクトを最新ベースラインとまったく同じ構成にして 4 つタスクを追加したい場合、目的を **Custom Development** に設定したプロジェクトを作成し、プロジェクト グルーピングのベースラインを最新リリースと一致するよう設定して 4 つのタスクを追加します（これは、ビルドマネージャの初期サポートなしでパッチを開発している少人数チームなどに便利です）。

以下の手順は、別のベースラインを使用するのに必要な操作を示します。

ステップ ...

1. プロジェクトを変更し、目的をカスタムにします。
   a. プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

      プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

      プロジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。
   b. 目的を **Custom Development** に変更します。
   c. **適用**をクリックして変更を保存します。
2. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
3. **ベースライン プロジェクト** タブをクリックして現在のベースラインを表示します。
4. プロジェクト グルーピングの別のベースラインを選択します。
   a. **ベースライン選択**ボタンをクリックします。

      ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グルーピングのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
   b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
5. プロジェクト グルーピングに**タスクの追加**を行います。

関連トピック

- ベースライン プロパティの修正
- 新規ベースラインの選択

ファイルの変更

ファイル内容の変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成
- ファイルの編集

ファイル配置の変更

- ディレクトリへの追加
- ファイルのタイプの変更
- オブジェクトの削除
- ファイルの移動
- プロジェクト ファイルの名前変更

ファイル内容の変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成
- ファイルの編集

チェックイン

この手順により、オブジェクトの変更を行った後でチェックインを行います。これにより、他のユーザーがそのオブジェクトを使用できるようになります。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- チェックインするオブジェクトを右クリックし、**チェックイン**を選択します。

  チェックイン操作の結果パラレル バージョンが発生する場合、オブジェクトがチェックインされる前に警告メッセージが出ます。チェックインを続けるか、中止できます。

  設定する必要がある必須属性を持つファイルをチェックインすると、**プロパティ** ダイアログボックスに、チェックインを行う前に設定する必要がある値が表示されます。必要な変更を行ってから**チェックイン**をクリックします。Rational Synergy は、変更を保存し、ファイルのチェックインを試みます。

  ファイルまたはディレクトリをチェックインするときは、確認なしにチェックインが行われます。プロジェクトをチェックインするときは、チェックインを確認するよう要求されます。

関連トピック

- カレント タスクの完了
- オブジェクトの削除
- パラレル ファイル／ディレクトリのマージ
- 2 つのファイル バージョンのマージ

チェックアウト

この手順により、ファイルまたはディレクトリの新規バージョンをチェックアウトします。Rational Synergy により、ファイルがカレント タスクと関連付けられます。

> **注記**：カレント タスクが設定されている必要があります。
> 詳細については、タスクの選択を参照してください。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- チェックアウトするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックアウト**を選択します。

関連トピック

- チェックイン
- タスクの選択

ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成

この手順により、ファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを作成します。

ステップ ...

ディレクトリを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを置くディレクトリを右クリックします。**メンバーの作成**をポイントし、**ファイル**、**ディレクトリ**、または**サブプロジェクト**のいずれかを選択します。

   作成するオブジェクトの種類に対応するダイアログボックスが表示されます。

2. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトの名前を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

関連トピック

- ディレクトリへの追加
- カレント タスクへ追加
- プロジェクトの作成
- タスクの作成
- ファイルの編集
- プロジェクト ファイルの名前変更
- タスクの選択

ファイルの編集

この操作により、ファイルの表示や修正を行うことができます。

注記：自分が変更可能なファイルのみ編集できます。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- ファイルをダブルクリックします。

関連トピック

- ディレクトリへの追加
- チェックアウト
- オブジェクトの削除
- プロジェクト ファイルの名前変更
- プロジェクトの更新
- オブジェクトの別バージョンの使用

ファイル配置の変更

- ディレクトリへの追加
- ファイルのタイプの変更
- オブジェクトの削除
- ファイルの移動
- プロジェクト ファイルの名前変更

オブジェクトの削除

この操作を使用して、データベースから以下の 1 つまたは複数のオブジェクトを削除します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセス
- プロセス ルール
- プロジェクト
- タスク
- 保存クエリ
- リリース
- ベースライン
- プロジェクト グルーピング

ファイルの最初のバージョンを削除する場合は、ファイルは削除され、データベースからも削除されます。ファイルに先行バージョンがある場合は、修正可能バージョンが削除され、先行バージョンと置き換えられます。

> **注記：削除**操作は、選択したオブジェクトをデータベースから完全に削除します。オブジェクトを削除せずに移動する場合は、**切り取り**を使用します。

ステップ ...

オブジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。一度に同じ種類のオブジェクトを複数削除できます。

1. 削除するオブジェクトを右クリックし、**削除**を選択します。

   削除ダイアログボックスが表示されます。

2. リストから削除するオブジェクト（1 つまたは複数）を選択します。

   プロジェクトを削除する場合、**サブプロジェクトの削除**チェックボックスを選択してすべてのサブプロジェクトも削除することもできます。

   プロジェクト グルーピングを削除する場合、プロジェクト グルーピング内のすべてのプロジェクトも削除されます。

   ベースラインを削除する場合、ベースラインに削除のマークが付けられます。**オフライン保存と削除**機能を使用して取り除くように設定できます。Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モードの「soad コマンド」を参照してください。

タスクを削除する場合、タスクに関連するオブジェクトは、削除**されません**。

リリースを削除する場合、リリースは使用中であってはなりません。

フォルダまたはフォルダ テンプレートを削除する場合、プロセス ルールがそれを使用していないことを確認してください （プロセス ルールが使用しているフォルダまたはフォルダ テンプレートは削除できません)。

プロセス ルールを削除する場合、プロセスがそれを使用していないことを確認してください。

プロセスを削除する場合は、そのプロセスがもはや不要となったことを確認してください。プロセスを削除しても、プロセスに関連するプロセス ルールは削除されません。

3. **削除**をクリックします。

関連トピック

- ファイル システムへのプロジェクトのコピー
- プロジェクトの作成
- 保存クエリの削除
- プロジェクト ファイルの名前変更
- 更新の取り消し

ファイルの移動

この手順により、ファイルを別のディレクトリに移動します。

チェックアウトされたファイルやディレクトリはタスクと関連付けられます。これで、更新後のメンバーが正しく機能します。

ステップ ...

1. 移動するファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。

   ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。
2. ファイルの移動先のディレクトリを選択します。
3. 適切なディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- オブジェクトの削除
- プロジェクト ファイルの名前変更
- 更新の取り消し
- ドラッグ アンド ドロップの使用

ディレクトリへの追加

この手順により、既存のファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトをディレクトリに追加します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. 追加したいファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトを右クリックし、**コピー**を選択します。
2. オブジェクトを追加するディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成
- プロジェクトの作成
- クエリの定義
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- ドラッグ アンド ドロップの使用

プロジェクト ファイルの名前変更

この手順により、ファイルの名前を変更します。

ファイル名を変更するには、ファイルがチェックアウト済みで、修正可能なプロジェクトで使用されていなければなりません。同一ディレクトリ内の別のファイルと同じ名前を付けることはできません。

ステップ ...

1. 名前を変更するファイルを右クリックし、**名前の変更**を選択します。

   ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。
2. 新しい名前を入力します。

関連トピック

- ファイルのタイプの変更
- ファイルの移動
- オブジェクトの別バージョンの使用

ファイルのタイプの変更

Rational Synergy データベースにファイルを作成する際、拡張子によってファイル タイプが自動的に付加されます。たとえば、**foo.c** というファイルの場合は、Rational Synergy データベースで **csrc** というタイプになります。しかし、ファイルのタイプを変更しなければならない場合もあります。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. 修正可能なプロジェクトのメンバーであるファイルを選択します。

   注記： 名前を変更するファイルは、修正可能であること、および 1 つのプロジェクトのメンバーであることが必要です。

2. **編集**メニューで、**タイプ変更**を選択します。
3. **タイプ変更**ダイアログボックスで新しいタイプを選択し、**了解**ボタンをクリックします。

   ファイルが他のプロジェクトのメンバーでなければ、タイプが変更されます。

関連トピック

- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示
- プロパティの表示

タスクの作業

日常のタスク

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- タスクの割り当て
- タスクの作成
- タスクの除外
- カレント タスクへ追加
- タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除
- フォルダへのタスクの追加
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 関連タスクの表示

タスクの修正

- プロジェクト グルーピングにタスクを追加
- 修正タスクの作成
- プロジェクト グルーピングからタスクを削除
- タスクを指定して別タスクを修正

タスクと変更依頼

- 変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成
- ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除
- 変更依頼の解決
- 必須タスクの自動追加を停止
- 関連タスクの変更依頼の表示

日常のタスク

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- タスクの割り当て
- タスクの作成
- タスクのコピー
- タスクの除外
- カレント タスクへ追加
- タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除
- フォルダへのタスクの追加
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 関連タスクの表示

タスクの選択

この手順により、カレント タスクを変更します。カレントタスク設定後、作成または変更した**すべての**ファイルとディレクトリが Rational Synergy によってカレント タスクと関連付けられます。

クエリの結果を利用してタスクのプロパティを修正したり、ファイルまたは変更依頼をタスクから削除することができます。

ステップ ...

1. 割り当てられたタスクを探すには、**タスク** エクスプローラを開き、**自分に割り当てられたタスク**の下のタスクを見ます。
2. 選択するタスクを右クリックし、**カレントタスクとして設定**を選択します。

   これで、そのタスクの作業ができるようになります。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- タスクの割り当て
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- タスクのプロパティの修正
- ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除
- 自分に割り当てられたタスクの表示

カレント タスクの完了

この手順により、カレント タスクを完了し、関連ファイルとディレクトリをチェックインします。

カレント タスクを完了すると**カレント タスク** ツールバーに表示されなくなり、変更もできなくなります。

ステップ ...

1. 完了するタスクがカレント タスクであることを必ず確認してください。

   カレント タスクはメイン メニューバーの下に表示されます。完了するタスクがカレント タスクとして設定されていない場合は、タスクの選択を参照して設定します。

2. **カレント タスク** ツールバーで をクリックします。

   コンフリクトがなければ、確認ダイアログボックスが表示され、タスクを完了できます。

   カレント タスクがパラレル バージョンを持つオブジェクトに関連している場合、**パラレル** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスからオブジェクトどうしを比較およびマージするか、マージを省略して**完了**をクリックすることでチェックインを完了できます。

   チームが採用している方法論が、タスクが変更依頼と関連していることを要求し、タスクの属性が設定されていない場合は、**タスク プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。設定されていない属性を入力し、もう一度タスクを完了してください。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- タスクの割り当て
- タスクの作成
- タスクのプロパティの修正
- クエリの定義
- タスクの選択
- 割り当てられた変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

タスクの割り当て

この手順により、タスクを割り当てます。開発者は、自分で作成したタスクを自分に割り当てます。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 新しい担当者の名前を**担当者**リストから選択します。

   これでタスクを担当するユーザーが変更されます。新しい担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。ダイアログボックスに表示される他の属性は変わりません。

   タスクが自分のカレント タスクの場合は、**カレント タスク** ツールバーから削除されます。したがって、続行するには新しいカレント タスクを設定する必要があります。詳細については、タスクの選択を参照してください。

関連トピック

- カレント タスクの完了
- タスクを指定して別タスクを修正
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- タスクの除外
- クエリの定義
- タスクの選択
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 関連タスクの表示

タスクの作成

この手順により、タスクを作成します。タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

タスクを作成してそれを自動的に変更依頼と関連付けたい場合は、変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成を参照してください。

ステップ ...

1. **カレント タスク** ツールバーで をクリックします

   タスクの作成ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。

2. タスクの概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. タスクのリリースを**リリース** リストから選択して設定します。
5. 担当者の名前を**担当者**リストから選択します。

   これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。

6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレント タスクに関連付けます。

   変更依頼の選択ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼**フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

8. チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。

   適切なデータベースを選択し、**担当者**リストで担当者名を変更します。

9. **OK** をクリックします。

   注記: 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、タスクを指定して別タスクを修正を参照してください。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- タスクの割り当て
- カレント タスクの完了
- オブジェクトの削除
- タスクの除外
- クエリの定義
- セッション中に選択を最新の状態に更新
- タスクの選択
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

タスクのコピー

この手順により、タスクをコピーします。タスクをコピーすると、自動的に自分に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. 適切なタスクを右クリックし、**タスクのコピー**を選択します。

   タスクのコピー ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。ダイアログボックスのすべてのフィールドには、コピー元のタスクの情報が入ります。
2. タスクの新しい概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. 必要に応じて、タスクのリリースを**リリース** リストから選択して変更します。
5. 必要に応じて担当者の名前を**担当者**リストから選択して変更します。

   これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。
6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 新しい変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、カレント タスクに関連付けられている変更依頼を変更します。

   変更依頼の選択ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼**フィールドに変更依頼 ID が表示されます。
8. チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。

   適切なデータベースを選択し、**担当者**リストで担当者名を変更します。
9. **OK** をクリックします。

   注記: 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、タスクを指定して別タスクを修正を参照してください。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- タスクの割り当て
- カレント タスクの完了
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- タスクの除外
- クエリの定義
- セッション中に選択を最新の状態に更新
- タスクの選択
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

タスクの除外

タスクを除外すると、どのプロジェクト グルーピングでも、自動的には使用されなくなります。これにより、たとえば、ビルドを破壊するオブジェクトがプロジェクト内で使用されるのを防ぎます。

ビルド マネージャは、まずこのオプションを使用して他のチーム メンバーが問題タスクを受け取るのを防いでからタスクを指定して別タスクを修正することができます。あるいは、ビルド マネージャはリリースから取り除かれる機能を含むタスクを除外することができます。この場合、修正タスクを作る必要はありません。

完了したタスクのみ除外できます。

ステップ ...

- 適切な完了タスクを右クリックし、**除外**を選択します。

  これでタスクが除外されます。タスク アイコンの上に小さな赤い **x** が表示されます。

  タスクを除外しない場合、タスクを右クリックして**除外の取消し**を選択します。

関連トピック

- タスクの割り当て
- カレント タスクの完了
- 修正タスクの作成
- タスクを指定して別タスクを修正
- オブジェクトの検索
- クエリの定義
- タスクの選択
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

カレント タスクへ追加

この手順により、特定のファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレント タスクに追加します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- カレント タスクに追加するファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクへ追加**を選択します。

  ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼がカレント タスクに追加されます。

  ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレント タスクから削除するには、同じファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクから削除**を選択します。

  Rational Change を使用している場合、現在作業をしているタスクに変更依頼の追加が必要になることもあり得ます。Rational Synergy と Rational Change は、顧客の変更依頼から修正方法の詳細を示すタスクまで、修正に必要な情報を実際に修正の対象となるファイルと結び付けられるように連動します。

関連トピック

- フォルダへのタスクの追加
- カレント タスクの完了
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- クエリの定義
- タスクの選択
- 割り当てられた変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

フォルダへのタスクの追加

通常、ユーザーが手動でタスクをフォルダへ追加する必要はありません。しかし、特殊な状況が発生する場合があります。たとえば、開発者は、DCM を使用して他のサイトに転送するためにビルド マネージャに渡すフォルダに、タスクを追加する場合があります。また、ビルド マネージャは、手動で入力したホット リストのためのフォルダを共有する場合に、手動でタスクをフォルダへ追加する場合があります。

ステップ ...

1. **タスク** エクスプローラで、フォルダへ追加するタスクを右クリックし、**フォルダに追加**を選択します。

   フォルダ選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、タスクを追加するフォルダを検索します。
2. タスクを追加するためのフォルダを作成する必要がある場合は、 をクリックして**フォルダの作成**ダイアログボックスを開きます。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- タスクの作成
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 関連タスクの表示

タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除

以下のセクションでは、タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトに関連付けられたタスクを削除する方法を説明しています。

タスクをオブジェクトに追加

ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. **タスクの追加**ボタンをクリックします。

   タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトに追加するタスクを検索します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

オブジェクトに関連付けられたタスクを削除

ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. 変更可能なタスクを右クリックし、**切り取り**を選択します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

自分に割り当てられたタスクの表示

この手順により、特定のリリース用に自分に割り当てられたすべてのタスクを表示します。

ステップ ...

- **タスク** エクスプローラで**自分に割り当てられたタスク**をクリックします。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- カレント タスクの完了
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- クエリの定義
- プロジェクト グルーピングからタスクを削除
- タスクの選択
- 割り当てられた変更依頼の表示
- 関連タスクの表示

関連タスクの表示

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、変更依頼と関連付けられたタスクを表示します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- 適切なファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**タスク プロパティ**を選択します。

  プロパティ ダイアログボックスに関連タスクのプロパティが表示されます。

関連トピック

- 2 つのファイルの比較
- オブジェクトの削除
- パラレル ファイル／ディレクトリのマージ
- パラレル バージョンの表示

タスクの修正

- タスクを指定して別タスクを修正
- 修正タスクの作成
- プロジェクト グルーピングからタスクを削除
- プロジェクト グルーピングにタスクを追加

タスクを指定して別タスクを修正

この操作は、2 つの無関係なタスクを作成した後、一方を修正するためにもう一方が必要なことがわかったときに行います。この手順は、たとえばコンフリクトの検知などを目的に、2 つの無関係なタスク間に必要な関係を作成する方法です。

この関係は、**「このタスクが修正するタスク」テーブルの使用**によって問題（破損）タスクから作ることもできれば、**「このタスクを修正するタスク」テーブルの使用**によって修正タスクから作ることもできます。

「このタスクが修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

ステップ ...

1. 修正タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   修正タスクの状態は、*working*（作業中）または *completed*（完了）が可能です。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクが修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。

   タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、修正タスクに追加する問題タスクを検索します。

   修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

「このタスクを修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

ステップ ...

1. 問題タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   問題タスクの状態は、*completed*（完了）または *excluded*（除外）でなければなりません。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクを修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。

   タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、問題タスクに追加する修正タスクを検索します。

修正タスクを作成する必要がある場合、**修正タスクの作成**をクリックして**修正タスクの作成**ダイアログボックスを開き、修正タスクを作成できます。この方法で修正タスクを作成すると、修正タスクと問題タスクの間に関係ができ、修正タスクが自動的にカレントタスクとして設定されます（**修正タスクの作成**ダイアログボックスの詳細については、修正タスクの作成を参照してください）。

修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。

4. **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- 修正タスクの作成
- タスクの作成
- タスクの除外
- タスクのプロパティの修正

修正タスクの作成

破損タスクは、以下の理由で発生します。

- 完了したタスクが変更依頼を完全に修正していない。
- 完了したタスクが修正が必要なバグを作成した。

いずれの場合にも、次のような状況が想定できます。完了すべきタスクがある。カレントタスクに設定し、タスク完了に必要なすべてのオブジェクトをチェックアウトし、作業を行った。そしてカレント タスクと関連するすべてのオブジェクトを完了した。その後、完了したばかりのタスクに問題を発見した。

以下に問題タスクを修正する作業の流れを示します。

1. 既存のタスクを修正する最もよい方法を確認します。
2. 既存のタスクを修正するタスクを作成します（**修正タスクの作成**ダイアログボックスを使用）。これにより、修正タスクと問題タスクの間の関係が自動的に作成されます。

   タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

   修正タスクは、修正する完了タスクまたは除外（破損）タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。以下に説明するとおり、これらのタスクには、互いに依存する必要がある場合と、一緒に使用できない場合とがあります。

   問題タスクがその原因となる問題とは無関係の正しい変更を含み、それをビルドに含める必要がある場合、除外（破損）タスクを適切なプロジェクト グルーピングに戻す**必要があります**。つまり、問題タスクとそれを修正するタスクの両方が、ともにビルドに含まることになります。修正タスクを作成し、修正タスクと問題タスクの間に関係を作成し、そして修正タスクを完了したら問題タスクの除外を取り消す必要があります（手順については、タスクの除外を参照してください）。

   除外したタスクが製品に悪影響を及ぼす変更を含んでおり、かつ修正タスクがこの悪影響を修正する変更を含む場合は、除外したタスクを再度取り込む必要はありません。
3. 問題タスクを修正する作業を完了します。
4. 修正タスクとすべての関連オブジェクトを完了します。

   タスクの作成ダイアログボックスを使用して修正タスクを作成した場合、修正タスクと問題タスクの間の関係を作る必要があります。説明については、タスクを指定して別タスクを修正を参照してください。

ステップ ...

1. 完了したタスクまたは修正する除外タスクを右クリックし**修正タスクの作成**をクリックします。

   修正タスクの作成ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクの説明を入力します。

3. タスクのリリースを**リリース**リストに設定します。
4. 自分が担当者ではない場合、**担当者**リストにタスクの担当者を設定します。
5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
6. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレント タスクに関連付けます。

   変更依頼の選択ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼**フィールドに変更依頼 ID が表示されます。
7. 必要に応じて、**タスクの除外** タスク チェックボックスを変更します。

   開発者またはチーム リーダーは、まずこのオプションを設定して他のチーム メンバーが問題タスクを受け取るのを防ぐことができます。たとえば、チームリーダーが統合ビルドに失敗した場合、問題タスクを調べ、開発者に修正タスクを割り当ててから問題タスクを除外します。その後、更新を行ってプロジェクトから問題タスクのオブジェクトを削除してもう一度ビルドを行います。

   更新または**ベースラインとタスクの再表示**操作を行ったときに、タスクを誰のプロジェクト グルーピングとも関連付けたく**ない**場合にこのオプションを設定します。
8. **OK** をクリックします。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- タスクの割り当て
- カレント タスクの完了
- タスクを指定して別タスクを修正
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- タスクの除外
- クエリの定義
- タスクの選択
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

プロジェクト グルーピングからタスクを削除

タスクをプロジェクト グルーピングから削除できます。これにより、プロジェクト グルーピングがビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてプロジェクト グルーピングから行う方法もあります。操作は、プロジェクトの更新プロパティの変更で説明しています。この方法は、手動で追加したタスク、タスクとベースライン、またはベースラインで処理されたタスクの表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロジェクト グルーピングから削除**を選択します。
   プロジェクト グルーピング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを削除するプロジェクト グルーピングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- プロジェクト グルーピングにタスクを追加
- タスクの作成
- 修正タスクの作成
- タスクの除外
- ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除
- 関連タスクの表示

プロジェクト グルーピングにタスクを追加

タスクをプロジェクト グルーピングに追加できます。これにより、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要な追加オブジェクトをすばやく集めることができます。

以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてはプロジェクト グルーピングから行うこともできます。操作は、プロジェクトの更新プロパティの変更で説明しています。この方法は、手動で追加したタスク、タスクとベースライン、またはベースラインで処理されたタスクの表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. タスクを右クリックし**プロジェクト グルーピングへ追加**を選択します。
   プロジェクト グルーピング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを追加するプロジェクト グルーピングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- 修正タスクの作成
- タスクの作成
- タスクの除外
- ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除
- プロジェクト グルーピングからタスクを削除
- 関連タスクの表示

タスクと変更依頼

- 変更依頼へのタスクの追加
- 変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成
- ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除
- 変更依頼の解決
- 必須タスクの自動追加を停止
- 関連タスクの変更依頼の表示

変更依頼へのタスクの追加

変更依頼にタスクを追加できます。これにより、変更依頼とタスクの間に関係が作成されます。

以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. タスクを右クリックし**変更依頼へ追加**を選択します。

   変更依頼の選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを追加する変更依頼を検索して選択します。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- 変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成
- ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 変更依頼の解決

変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成

この手順により、タスクを作成し、それを自動的に変更依頼に関連付けます。この方法でタスクを作成すると、自身に自動的に割り当てられ、変更依頼に関連付けられ、変更依頼の概要を与えられ、カレント タスクとして設定されます。

新規タスクへの変更依頼の関連付けを作成したくない場合は、タスクの作成を参照してください。破損しているタスクを修正するには、修正タスクの作成を参照してください。

ステップ ...

1. **変更依頼**エクスプローラで適切な変更依頼を右クリックし、**タスクの作成**を選択します。

   タスクの作成ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
3. タスクのリリースを**リリース** リストから選択して設定します。
4. 別の人に割り当てる場合は、**担当者**リストの担当者名を変更します。
5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
6. チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。

   適切なデータベースを選択し、**担当者**リストで担当者名を変更します。
7. **OK** をクリックします。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- タスクの割り当て
- カレント タスクの完了
- 修正タスクの作成
- オブジェクトの削除
- タスクの除外
- クエリの定義
- タスクの選択
- タスクを指定して別タスクを修正
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 割り当てられた変更依頼の表示

ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除

この手順により、指定タスクからの**ファイルの削除**または**変更依頼の削除**を行います。

ファイルの削除

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **オブジェクト** タブを選択します。
3. 適切なファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。

変更依頼の削除

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **変更依頼**タブをクリックします。
3. 適切な変更依頼を右クリックし、**切り取り**を選択します。

関連トピック

- カレント タスクへ追加
- カレント タスクの完了
- タスクを指定して別タスクを修正
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- クエリの定義
- タスクの選択
- 関連タスクの変更依頼の表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

関連タスクの変更依頼の表示

Rational Change を使用してアプリケーションに対して提出された変更依頼を追跡する場合、任意のタスクに関連する変更依頼を表示できます。Rational Synergy と Rational Change は、タスクを修正する方法に関する詳細情報を簡単に得られるよう協調して動作します。以下の手順は、タスクが割り当てられるきっかけとなった変更依頼内に含まれる、提出者のコメントを表示する方法です。

ステップ ...

- 適切なタスクを右クリックし、**変更依頼プロパティ**を選択します。

  変更依頼のプロパティは、Rational Change インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプを見るには、インターフェイスの上部のメインメニューから**ヘルプ**をクリックします。

関連トピック

- タスクの割り当て
- 修正タスクの作成
- タスクの作成
- オブジェクトの削除
- タスクの除外
- ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除
- 関連タスクの表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

変更依頼の解決

Rational Change を使用している場合は、解決操作を使用して割り当てられた変更依頼を完成します。この操作によって、Rational Change インターフェイスが起動します。このインターフェイスから変更依頼を解決します。

ステップ ...

- 適切な変更依頼を右クリックし、**解決**を選択します。

  これで Rational Change が開始します。インターフェイスは、変更依頼を解決できる画面を表示します。このダイアログボックスのヘルプを見るには、インターフェイスの上部のメインメニューから**ヘルプ**をクリックします。

関連トピック

- 関連タスクの表示
- 割り当てられた変更依頼の表示

必須タスクの自動追加を停止

以下の手順は、プロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクに対する必須タスクの自動追加を停止する方法を示します。追加されたタスクに必要とするタスクがあり、そのタスクがまだプロジェクトグルーピングのベースラインとプロジェクトのタスクに含まれていないとき、そのタスクを必須タスクといいます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**タスクをプロジェクト グルーピングに追加**をクリックします。
3. 必須タスクの追加設定を変更します。

   タスクをプロジェクト グルーピングに追加する際に、暗黙的に必要なタスクも常に追加されます。

   このオプションを選択解除するには、チェックボックスをクリックして**適用**をクリックします。
4. デフォルト設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックしてから**適用**をクリックします。

関連トピック

- パターンによるファイルの無視
- プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正
- プロジェクトの更新
- デフォルト ワークエリア パスの設定

プロパティの使用

オブジェクト プロパティの変更

- ベースライン プロパティの修正
- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- プロジェクトのプロパティの修正
- プロジェクト グルーピングのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- ワークエリアの設定の修正
- プロパティの表示

プロパティ設定からの変更

- 転送セットのメンバーシップの表示と修正
- プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加
- デフォルト アプリケーション ツールの変更
- オブジェクトのセキュリティ設定の変更
- ユーザー プロパティのカスタマイズ

オブジェクト プロパティの変更

- ベースライン プロパティの修正
- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- フォルダのプロパティの修正
- プロジェクトのプロパティの修正
- プロジェクト グルーピングのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- ワークエリアの設定の修正
- プロパティの表示

ベースライン プロパティの修正

この手順により、ベースラインの情報を変更します。

ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. プロパティを修正するベースラインを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

   ベースラインがリリースされていない場合、ビルド マネージャはビルドと名前プロパティを変更できます。以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

   - **名前**

     ベースラインの名前を指定します。デフォルトで、Rational Synergy は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20060309 は、2006 年 3 月 9 日を意味します。

   - **ビルド**

     ビルド プロパティは、ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）を示します。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

3. **プロジェクト** タブ、**タスク** タブ、および**変更依頼**タブは修正できませんが、これらはベースラインと変更依頼の重要な情報を示します。

   プロジェクト タブは、ベースライン内のプロジェクト（ベースライン プロジェクト）を示します。

   タスク タブは、ベースライン内のタスクを示します。

関連トピック

- 新規ベースラインの選択
- 別のベースラインの使用

ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクトに関する情報を変更します。

ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. プロパティを修正するファイル、ディレクトリ、プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。

   - **バージョン**

     バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

   - **リリース**

     リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。

   - **プラットフォーム**

     プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定する属性です。

   - **プロダクト指定**

     製品は、他のファイルを処理することによってビルドされるファイルです。プロダクトの例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。

3. 転送セットのメンバーシップを表示して修正を行います。
4. オブジェクトのセキュリティ設定を変更します。

   グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したオブジェクトの修正とチェックアウトをユーザーに許可／禁止したり、オブジェクトのソースの表示を許可／禁止できます。

5. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- オブジェクトのセキュリティ設定の変更
- ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成
- ワークエリアとデータベースの同期

- 転送セットのメンバーシップの表示と修正
- プロパティの表示

フォルダのプロパティの修正

この手順により、フォルダの情報を変更します。

ステップ ...

フォルダを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. プロパティを修正するフォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

   > **注記**：フォルダのプロパティを変更すると、そのフォルダはフォルダ テンプレートによって管理できなくなります。このフォルダを引き続きフォルダ テンプレートによって管理したい場合は、**フォルダ テンプレートのプロパティ** ダイアログボックスでフォルダ プロパティを変更します

   以下に変更可能なフィールドを説明します。

   - **詳細**

     フォルダの簡単な説明です。

   - **修正可能者**

     フォルダを変更する権限を持つ人のリストです。選択肢には、**なし**、**所有者**、**ビルド マネージャ**、および**全員**があります。

3. 必要に応じて、**タスク** タブでタスク選択モードを変更します。

   - クエリを使用するには**クエリ使用**をクリックします。
   - 手動で変更を加える場合は**手動**をクリックします。

   フォルダのタスク選択モードが手動の場合、タスクを追加または削除することもできます。

   - タスクを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。**タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、フォルダに追加するタスクを検索します。
   - タスクを削除するには、タスクをクリックしてマイナス記号アイコンをクリックします。

4. **適用**をクリックして作業を保存します。
5. 転送セットのメンバーシップを表示して修正を行います。
6. オブジェクトのセキュリティ設定を変更します。

   グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セ**

キュリティ タブを使用して、選択したフォルダの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。

7. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- オブジェクトのセキュリティ設定の変更
- 転送セットのメンバーシップの表示と修正
- プロパティの表示

プロジェクトのプロパティの修正

この手順により、プロジェクトの情報を変更します。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

   以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

   - **バージョン**

     バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

   - **リリース**

     リリースは、特定のリリース固有のプロジェクトを識別するプロパティです。

   - **目的**

     プロジェクトの目的は、**Insulated Development（個別開発）**、**Integration Testing（統合テスト）**、**System Testing（システム テスト）**などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、Rational Synergy はプロジェクトまたはプロジェクト グルーピングの更新時に異なる選択基準を使用します。

   - **プラットフォーム**

     プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定するプロパティです。

   - **プロジェクト グルーピング**

     このフィールドは変更できませんが、プロジェクト グルーピング名を右クリックしてコンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。

   - **ベースライン プロジェクト**

     このフィールドは変更できませんが、ベースライン プロジェクト名を右クリックしてコンテキスト メニューを使用することによって操作を行うことができます。

     自分のプロジェクトのベースにするプロジェクト バージョンを、そのベースライン プロジェクトと呼びます。ベースライン プロジェクトは、プロジェクト グルーピング プロパティに設定されているベースラインの一部です。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースライン プロジェクトは、「**editor-1.0**」です。プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースライン プロジェクトは自動的に設定されます。

3. 必要に応じてワークエリアの設定を修正します。
4. 必要に応じて転送セットのメンバーシップの表示または修正を行います。
5. 必要に応じてオブジェクトのセキュリティ設定を変更します。

   グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したプロジェクトの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。
6. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- オブジェクトのセキュリティ設定の変更
- プロジェクト グルーピングのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- ワークエリアの設定の修正
- ワークエリアとデータベースの同期
- 転送セットのメンバーシップの表示と修正
- プロパティの表示

プロジェクト グルーピングのプロパティの修正

この手順により、プロジェクト グルーピングの情報を変更します。

ステップ ...

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。

   - **自動更新**チェックボックスはデフォルトで選択されています。このオプションが選択されていると、プロジェクトの更新時にプロジェクトの更新時にベースラインとタスクが更新されます。選択を解除すると、更新時にベースラインとタスクが変更されなくなります。

3. **プロジェクト** タブでプラス記号をクリックして、プロジェクトをプロジェクト グルーピングに追加できます。

   プロジェクトの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加します。

4. 必要に応じて**ベースライン プロジェクト** タブのフィールドを修正します。

   以下に変更可能なフィールドを説明します。

   - **ベースライン選択**ボタンは、プロジェクト グルーピングが使用するプロセス ルールがベースラインの選択を許可するよう設定されている場合にアクティブになっています。ベースラインを選択するには、**ベースライン選択**をクリックします。

     ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グルーピングのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。

   - このプロジェクト グルーピングのベースラインがある場合、**ベースライン** テーブルに表示されます。プロジェクト グルーピングが使用するプロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**に設定されていると、このテーブルは空になります。
   - **コピーを保持しているベースライン プロジェクト** テーブルには、プロセス ルールがベースライン プロジェクトとして検出し、このプロジェクト グルーピングにコピーがあるプロジェクトが含まれます。プロセス ルールがベースラインを使用する場合、これらのプロジェクトはベースラインからのプロジェクトです。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、これらのプロジェクトは最新のプロジェクト ルールで検出されます。

- **コピーを保持していないベースライン　プロジェクト**　テーブルには、プロセス ルールがベースライン プロジェクトとして検出したが、このプロジェクト グルーピングにコピーがないプロジェクトが含まれます。

5. 必要に応じて**タスク** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。
   - **ベースラインで処理されたタスク** テーブルには、プロセス ルールがベースラインを使用する場合、プロセス ルールによって提供されたがベースラインの一部ではないタスクが含まれます。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、このテーブルはプロセス ルールによって提供されたすべてのタスクを含みます。
   - ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。
   - **手動追加タスク** テーブルには、プロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクと暗黙的に必要なタスクが含まれます。 さらにタスクを追加するにはプラス記号をクリックします。

     タスクの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グルーピングに追加するタスクを検索できます。
6. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- プロジェクトの更新プロパティの変更
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止
- タスクのプロパティの修正
- ワークエリアとデータベースの同期
- ベースラインとタスクの更新
- 別のベースラインの使用
- プロパティの表示

タスクのプロパティの修正

この手順により、タスクの情報を変更します。

ステップ ...

タスクを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. プロパティを修正するタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

   以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

   - **概要**

     概要は、1 行にまとめたタスクの説明です。

   - **リリース**

     リリースは、特定の製品に使用された固有のプロジェクトまたはタスクを識別するプロパティです。

   - **優先度**

     優先度は、タスクの重要度を測るプロパティです。

   - **サブシステム**

     サブシステムは、タスクのソフトウェア サブシステムを指定します。たとえば、クライアント／サーバー ソフトウェア アプリケーションを開発する場合、サブシステムは **client**、**server**、および **communication** かもしれません。

   - **プラットフォーム**

     プラットフォームは、論理的変更に適用可能なハードウェア プラットフォームを指定するプロパティです。

   - **担当者**

     担当者は、タスクを完了する人の名前です。

   - **予定作業 / 実作業**

     タスク作業の予想または実時間を任意の間隔（時間、日、月）で追加できます。

   - **完了予定日**

     カレンダを使用してタスクの完了予定日を追加します。

   - **修正可能 DB**

     チームが Rational Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してデータベースの名前を変え、**担当者**リストを使用して担当者の名前を設定することによって、タスクを異なるデータベースのユーザーに割り当てることができます。

3. 必要に応じて**詳細**タブの説明を修正します。このタブでは、タスクを修正するために行ったコード変更に関して、複数行の説明を加えることができます。
4. 必要に応じて**オブジェクト** タブでオブジェクトを追加または削除します。

   オブジェクトを追加するにはプラス記号をクリックします。**オブジェクトの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、タスクに追加する 1 つまたは複数のオブジェクトを選択します。

   オブジェクトを削除するには、削除するオブジェクトを選択してマイナス記号をクリックします。
5. **タスクの修正**タブを使用してタスクを指定して別タスクを修正します。
6. **変更依頼**タブを使用して関連する変更依頼を追加または削除します。
7. 転送セットのメンバーシップの表示または修正を行います。
8. オブジェクトのセキュリティ設定を変更します。

   グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したタスクの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。
9. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- オブジェクトのセキュリティ設定の変更
- タスクの作成
- タスクのコピー
- タスクを指定して別タスクを修正
- 転送セットのメンバーシップの表示と修正
- プロパティの表示
- 自分に割り当てられたタスクの表示

ワークエリアの設定の修正

この手順により、ワークエリア設定を変更します。

ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. ワークエリア設定を修正するプロジェクトを右クリックし、プロパティを選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **ワークエリア** タブをクリックします。
3. 必要に応じてフィールドを修正します。

   以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

   - **ワークエリア**

     このオプションを選択する（**On**）と、Rational Synergy によってプロジェクトのコピーがワークエリアに保持されます。また、このオプションを選択すると、**適用**ボタンをクリックしたときにプロジェクトが自動的に同期されます。

     このオプションを選択解除する（**Off**）と、Rational Synergy はプロジェクトのコピーをワークエリアに保持せず、このダイアログボックスのすべてのオプションがグレー表示になります。

   - **パス**

     パス フィールドには、プロジェクトのワークエリア ディレクトリが表示されます。ただし、パスを変更したい場合は、新しいパスを直接入力するか、[**...**]（表示）ボタンをクリックして参照するか、**デフォルトパス使用**ボタンをクリックして変更できます。

     ワークエリア ディレクトリはインターフェイス ホストから見えていなければなりません。

   - **デフォルトパス変更**

     このボタンをクリックして**プロジェクトのコピー** オプションの**オプション** ダイアログボックスの**アクション** タブで設定されているパスを表示します (パスは**全てのワークエリアにデフォルトパスを使用**フィールドに表示されます)。

     詳細については、デフォルト ワークエリア パスの設定を参照してください。

   - **デフォルトパス使用**

     このボタンをクリックして**プロジェクトのコピー** オプションの**オプション** ダイアログボックスの**アクション** タブで設定されているデフォルトパスを使用します。

     詳細については、デフォルト ワークエリア パスの設定を参照してください。

   - **親プロジェクトへの相対ワークエリア**

このオプションを選択すると、ワークエリアは相対ワークエリアとなります。すなわち、ワークエリアが親プロジェクトのワークエリア内のサブディレクトリになります。

相対ワークエリア内のサブディレクトリは、親プロジェクトのワークエリアに置かれているため、サブプロジェクトとして一度だけ使用できます。ただし、相対プロジェクトが静的な場合、複数のプロジェクトで使用できます。

このオプションを選択解除すると、ワークエリアは絶対ワークエリアとなります。

ファイル システムでは、絶対ワークエリアは別のディレクトリ構造として存在します。他のプロジェクトで、絶対ワークエリア内のサブプロジェクトを検索して使用できます。

- **プロジェクト固有のディレクトリをワークエリアパスに含む**

  このオプションを選択すると、プロジェクト固有ディレクトリがワークエリアに作成されます。プロジェクトのすべてのディレクトリとファイルは、このプロジェクト固有ディレクトリに作成されます。

  詳細については、プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正を参照してください。

- **全てのファイルを編集可能にする**

  このオプションを使用して、すべてのファイルを修正できるワークエリアを作成します。すべてのファイルを修正可能にすると、Rational Synergy データベース外で作業中にファイルを変更しなければならない場合に便利です。

- **コピーされた時刻を更新時刻に使用**

  このオプションを選択すると、ファイルの最終修正時刻でなく、ファイルがワークエリアにコピーされた時刻がタイムスタンプとして使用されます。

- **ASCII ファイルの改行コードを変換**

  このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

  このオプションを選択すると、CR/LF 文字が正しいフォーマット（Windows クライアントと UNIX サーバーの間でファイルをコピーする場合に UNIX 用または Windows 用に設定）に変換されます。

  このオプションを選択解除すると、変換は行われません。

- **シンボリック リンク / コピー**

  シンボリック リンク オプションは UNIX ユーザーのみが使用できます。

  このオプションを選択すると、プロジェクトでリンクベースのワークエリアを使用するように設定します。ワークエリアには、コピーではなくファイルへのシンボリック リンクが格納されます。デフォルトでは、UNIX のワークエリアはリンクベースです。

  コピー オプションはどのユーザーでも使用できます。

このオプションを選択すると、プロジェクトでコピーベースのワークエリアを使用するように設定します。ワークエリアにはファイルのコピーが格納されます。デフォルトでは、Windows のワークエリアはコピーベースです。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- プロジェクト グルーピングのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示

プロパティの表示

この手順により、ファイル、フォルダ、フォルダ テンプレート、ディレクトリ、タスク、プロジェクト、プロジェクト グルーピング、プロセス、プロセス ルール、ベースライン、リリース、変更依頼に関する情報を表示します。

ステップ ...

適切なオブジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

以下のいずれかの方法でプロパティを表示できます。

- 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

  選択したオブジェクトの**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます(変更依頼を除く)。適切なタブをクリックして情報を参照します。

  変更依頼のプロパティは、Rational Change インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプを見るには、インターフェイスの上部のメインメニューから**ヘルプ**をクリックします。
- 関連オブジェクトのプロパティを表示するには、適切なオブジェクトを右クリックして選択します。

  たとえば、ファイルに関連するタスクのプロパティを表示するには、ファイルを右クリックして**タスク プロパティ**を選択します。**タスク プロパティ**ダイアログボックスに選択したファイルのタスク情報が表示されます。
- をクリックしてカレント タスクのプロパティを表示します。

  プロパティ ダイアログボックスが表示されます。適切なタブをクリックして情報を参照します。
- オブジェクトを選択し、**表示**メニューから**プロパティ**を選択します。

関連トピック

- ベースライン プロパティの修正
- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- フォルダのプロパティの修正
- プロジェクトのプロパティの修正
- プロジェクト グルーピングのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- ワーク ペインでプロパティを表示

プロパティ設定からの変更

- プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加
- デフォルト アプリケーション ツールの変更
- ユーザー プロパティのカスタマイズ
- コピーベース モードによる Rational Synergy の使用（UNIX ユーザーのみ）
- 転送セットのメンバーシップの表示と修正

ユーザー プロパティのカスタマイズ

Rational Synergy が使用するエディタ、テキスト ビューア、マージ ツール、および比較ツールを変更できます。

ccm.user.properties ファイルには、Rational Synergy インターフェイスのローカル ユーザー設定が格納されています。

ステップ ...

1. Windows ユーザー : **C:¥Documents and Settings¥***username* にある **ccm.user.properties** ファイルを開きます。

   UNIX ユーザー : ホームディレクトリ $HOME にある **.ccm.user.properties** ファイルを開きます。
2. テキスト エディタを使用してデフォルト アプリケーション ツールを変更します。
3. ファイルを保存して閉じます。

関連トピック

- デフォルト アプリケーション ツールの変更
- 比較
- マージ

デフォルト アプリケーション ツールの変更

マージ ツール、比較ツール、エディタは、Windows、UNIX とも、クライアントの **etc** ディレクトリにある **ccm.properties** ファイルにデフォルトで設定されています。Windows では、**profile** ディレクトリにある **ccm.user.properties** ファイルでこの設定を変更できます。UNIX では、ホーム ディレクトリにある **.ccm.user.properties** ファイルでこの設定を変更できます。

- Windows のデフォルト アプリケーション
- UNIX のデフォルト アプリケーション

Windows のデフォルト アプリケーション

Windows のオプション	説明
windows.tool.edit.project	Windows システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.edit.dir	Windows システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.view.project	Windows システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.view.dir	Windows システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.compare.ascii	Windows システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
windows.tool.merge.ascii	Windows システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

注記：Rational Synergy では、区切りに 2 つの連続した円記号を使用する必要があります。

```
windows.tool.compare.ascii = %ccm_compare
windows.tool.compare.binary = FAIL
windows.tool.merge.ascii = %ccm_merge
windows.tool.merge.binary = FAIL
windows.tool.edit.ascii = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.edit.binary = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.edit.executable = "%file1"
windows.tool.edit.project = explorer.exe "%file1"
windows.tool.edit.dir = explorer.exe "%file1"
windows.tool.view.ascii = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.view.binary = "%ccm_home¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec" "%file1"
windows.tool.view.executable = "%file1"
```

```
windows.tool.view.project = explorer.exe "%file1"
windows.tool.view.dir = explorer.exe "%file1"
```

注記：ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home
view: %file1, %ccm_home
help: %file1, %ccm_home
FAIL: operation is not supported for that command
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label, %file2_label,
ccm_home
```

上記で、`%file1` は 1 番目のファイルの名前、`%ccm_home` はクライアントがインストールされているディレクトリ、`%file2` は 2 番目のファイルの名前、`%file1_label` と `%file2_label` は各ファイルのラベル、`%ancestor` はマージに使用される共通祖先ファイル、`%outfile` はマージの結果です。

UNIX のデフォルト アプリケーション

UNIX のオプション	説明
unix.tool.edit.project	UNIX システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.edit.dir	UNIX システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.view.project	UNIX システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.view.dir	UNIX システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.compare.ascii	UNIX システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
unix.tool.merge.ascii	UNIX システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

```
unix.tool.compare.ascii = %ccm_compare
unix.tool.compare.binary = FAIL
unix.tool.merge.ascii = %ccm_merge
unix.tool.merge.binary = FAIL
unix.tool.edit.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1
unix.tool.edit.binary = FAIL
unix.tool.edit.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
```

```
unix.tool.edit.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1
unix.tool.view.binary = FAIL
unix.tool.view.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
```

注記：ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home
view: %file1, %ccm_home
help: %file1, %ccm_home
FAIL: operation is not supported for that command
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label, %file2_label,
ccm_home
```

上記で、`%file1` は 1 番目のファイルの名前、`%ccm_home` はクライアントがインストールされているディレクトリ、`%file2` は 2 番目のファイルの名前、`%file1_label` と `%file2_label` は各ファイルのラベル、`%ancestor` はマージに使用される共通祖先ファイル、`%outfile` はマージの結果です。

関連トピック

- ユーザー プロパティのカスタマイズ

オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロパティダイアログボックスの**セキュリティ** タブを使用して、ユーザーに選択オブジェクトの修正とチェックアウトまたはコピーの許可／禁止およびオブジェクトのソースの表示の許可／禁止を行います。

データベースのセキュリティについて

Rational Synergy データベースには、各種オブジェクトを多数含むことができます。すべてのユーザーにすべてのオブジェクトのチェックアウト、コピー、修正、および表示を許可するのは必ずしも適切ではありません。セキュリティの設定により、これらの権限を、指定したユーザーのグループに制限できます。

以下のオブジェクトの指定セキュリティ設定を変更できます。

- ファイル：表示、修正、およびチェックアウト権限
- ディレクトリ：修正およびチェックアウト権限
- フォルダ：修正およびコピー権限
- タスク：修正およびコピー権限
- プロジェクト：修正およびコピー権限
- リリース：修正およびコピー権限

一般ペインで、**オプション** ダイアログボックスの**表示**タブで**オブジェクトのセキュリティ プロパティを表示**チェックボックスを設定していると、**セキュリティ** タブが表示されます。また、これらのオプションはオブジェクトを所有する場合にのみ有効です。

このオプションは、グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

すべての**プロパティ**ダイアログボックスから**セキュリティ** タブを削除する方法については、プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示を参照してください。

ステップ ...

1. セキュリティ設定を変更するオブジェクトに対応する**プロパティ**　ダイアログボックスを開きます。
2. フォルダ、タスク、プロジェクト、またはリリースのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトを修正およびコピーできるユーザーのグループを変更できます。

   すべてのユーザーにこのフォルダ、プロジェクト、リリースの修正およびコピーを許可するには**全員にこの object の修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。

設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウトを以下のグループに限定**のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

3. ファイルおよびディレクトリのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトの修正およびチェックアウトを許可するユーザーのグループを変更したり、ファイルのソースの表示を許可するユーザーのグループも変更できます。

   すべてのユーザーにこのファイルまたはディレクトリの修正およびコピーを許可する場合は、**全員にこの *object* の修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択解除されています。

   設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウトを以下のグループに限定**を選択し、制限するグループをクリックします。

   すべてのユーザーにこのファイルの読み出しを許可する場合は、**全員にこのオブジェクトソースの閲覧を許可**を選択します。このオプションはデフォルトで設定されています。

   設定を制限するには、**オブジェクトソースへのアクセスを以下のグループに限定**のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- フォルダのプロパティの修正
- プロジェクトのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正

転送セットのメンバーシップの表示と修正

プロパティ ダイアログボックスの**転送セット** タブを使用して、ビルド マネージャに転送セットへのオブジェクトの追加／削除を許可、開発者にオブジェクトが所属する転送セットの表示を許可します。

転送セットについて

転送セットは、デスティネーション データベースへ送ることができる関連するオブジェクト グループの集まりです。オブジェクトまたはプロジェクトについて、以下の転送セット プロパティを表示できます。

- オブジェクトまたはプロジェクトが関連付けられている転送セット名
- メンバー タイプ（直接メンバーまたは間接メンバー）
- メンバーとなった時期（オブジェクトまたはプロジェクトがいつからメンバーとなったか）
- 履歴を含む（オブジェクトまたはプロジェクトの履歴も関連付けられているかどうか）
- オブジェクトがエクスポートされたデータベース
- データベースにエクスポートされた後でオブジェクトが修正されているかどうか

一般ペインで、**オプション** ダイアログボックスの**表示**タブで**転送セットを表示**チェックボックスを設定していると、**転送セット** タブが表示されます。

直接メンバーと間接メンバーの詳細については、Rational Synergy Distributed ドキュメントの「転送セットへのオブジェクトの追加」を参照してください。詳しい手順については、Rational Synergy Classic ヘルプの「転送セットへのオブジェクトの追加」を参照してください。

ステップ ...

1. 転送セットの設定を表示または修正するオブジェクトに対応する**プロパティ**　ダイアログボックスを開きます。
2. **転送セット** タブをクリックしてこのオブジェクトに関連する転送セットを表示します。
3. 必要に応じて、**転送セット**タブで転送セットの設定を変更します。
   - 転送セットを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。**転送セット選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで追加する転送セットを探して選択します。
   - 転送セットを削除するには、転送セットをクリックしてマイナス記号アイコンをクリックします。

関連トピック

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- フォルダのプロパティの修正
- プロジェクトのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- 転送セットへの オブジェクトの追加

プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加

プロジェクト グルーピング機能により、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトの更新時に、使用するタスクとベースラインを保持します。プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加することで、プロジェクトを異なる目的とリリースで簡単に再利用できます。

開発者は、目的の異なる複数のプロジェクト階層を使って作業することがあります。プロジェクトによっては **Insulated Development（個別開発）**に使われるものもあれば **Collaborative Development（共同開発）**に使われるものもあり、さらに開発者がチームリーダーでもある場合、**統合テスト**に使用するプロジェクトを持つこともあります。通常、開発者がビルドするのは数個のプロジェクト程度ですが、さらに多くをビルドする必要が生じることもあります。たとえば、**Collaborative Development（共同開発）**でプロジェクトをビルドできない場合、そのプロジェクトを制御可能な環境である **Insulated Development（個別開発）**プロジェクト グルーピングへ移すことがあります。

プロジェクトをプロジェクト グルーピングに追加するということは、異なるプロジェクトを現在開発を行っているワークスペースへ移動することであると考えることができます。プロジェクトのコピーを作る代わりに、単にプロジェクトを異なるプロジェクト グルーピングへ移し、その後でプロジェクトを更新することができます。

ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

   プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **プロジェクト**タブをクリックします。
3. **プロジェクトの追加**ボタンをクリックします。

   プロジェクトの選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グルーピングに追加するプロジェクトを選択します。

関連トピック

- プロジェクトの更新プロパティの変更
- 別のベースラインの使用
- プロジェクト グルーピングのプロパティの修正
- プロジェクトの更新

ファイルの検索とその他

オブジェクトの検索

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示
- 割り当てられた変更依頼の表示

クエリの設定

- クエリのカスタマイズ
- クエリの定義
- クエリの保存
- クエリを新しい名前で保存
- 保存クエリの名前変更
- 保存クエリの表示

定義済みクエリの使用

- 保存クエリの編集
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 保存クエリの実行

オブジェクトの検索

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示
- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示
- 割り当てられた変更依頼の表示

オブジェクトの検索

クエリ ダイアログボックスを使用して任意の種類のオブジェクトを検索できます。**検索** メニューには、タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グルーピング、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート、転送セットなど、検索できる各種のオブジェクトが表示されます。

検索メニューを使用して検索するオブジェクトの種類を選択する場合、**クエリ** ダイアログボックスにそのオブジェクトのクエリを作成するための正しい情報が表示されます。

ステップ ...

- メインメニューで、**検索**をクリックし、**タスク**、**オブジェクト**、**変更依頼**、**プロジェクト**、**プロジェクト グルーピング**、**ベースライン**、**リリース**、**フォルダ**、**プロセス**、**プロセス ルール**、**フォルダ テンプレート**、**転送セット**のいずれかを選択します。

  クエリ ダイアログボックスは、選択したオブジェクト タイプのクエリに適した情報を表示します。

  クエリの定義に関する詳細な情報については、クエリの定義を参照してください。

関連トピック

- 保存クエリの検索メニューへの追加
- クエリのカスタマイズ
- 保存クエリの実行
- クエリの保存
- クエリを新しい名前で保存

オブジェクトの使用箇所の検索

この手順により、特定のファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを使用するプロジェクト、ベースライン、プロジェクト グルーピング、またはフォルダをデータベースから検索します。特定の変更依頼を使用するベースラインおよびプロジェクト グルーピングを検索することもできます。

ステップ ...

- ファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロジェクト**、**使用しているフォルダ**、**使用しているベースライン**、または**使用してるプロジェクト グルーピング**を選択します。

  変更依頼 ID を右クリックして**検索**をポイントし、次に**使用しているベースライン**または**使用しているプロジェクト グルーピング**を選択することもできます。

  クエリ ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドにすべてのプロジェクト、フォルダ、ベースライン、またはプロジェクト グルーピングが表示されます。

関連トピック

- クエリのカスタマイズ
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- クエリの保存
- クエリを新しい名前で保存

オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

以下では、オブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわかっているかどうかに関

注記：**クエリ**ダイアログボックスでクエリ式を作成するときは、外側のクエリ式を二重引用符で囲む必要はありません。

クエリ文節条件

クエリ文節は、個別の条件で構成されます。以下の条件を使用してカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- 関数
- 比較演算子
- 論理演算子
- 定数

関数

以下の関数引数および関数を使用して、関数ベースのカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- 関数引数
- 関数定義

関数引数

関数引数を以下に示します。

attr_name

is_product や *platform* など、属性の名前を指定します。

object_name

オブジェクト バージョンのオブジェクト参照形式を指定します。

name-version:type:instance

order_spec

検索順序を指定します。*order_spec* に値 **depth** を使用すると、縦型検索が行われます。値 **breadth** を使用すると、横型検索が行われます。*order_spec* に値 none を使用すると、順序には意味がなくなり、検索は任意の順序で行うことができます（最速の方法が使用されます）。

```
none | depth | breadth
```

privilege_name

read（読み出し）や *write*（書き込み）など、権限の名前を指定します。

project_name

プロジェクトのオブジェクト バージョンの名前を指定します。

project_name-version

関数定義

クエリ関数を以下に示します。

baseline (*'baseline_spec'*)

データベースを検索し、指定した情報と一致するベースラインを探します。

build (*'build_string'*)

データベースを検索し、指定したビルド文字列を持つベースラインを探します。このクエリ関数は、"`cvtype='baseline'` と `build='build_string'`" に展開され、これは、指定したビルド文字列を持つすべてのベースラインを返します。

cr (*'cr_id'*)

データベースを検索し、指定した番号を持つ変更依頼を探します。

folder ('*folder_id*'**)**

データベースを検索し、指定した番号を持つフォルダを探します。

has_attr ('*attr_name*'**)**

データベースを検索し、*attr_name* 属性（*is_product* や *platform* など）を持つすべてのオブジェクト バージョンを探します。

has_child ('*object_name*'**,**'*project_name*'**)**

データベースを検索し、プロジェクト *project_name* にオブジェクト *object_name* をメンバーとして持つすべてのディレクトリ オブジェクト バージョンを探します。

has_member ('*object_name*'**)**

データベースを検索し、指定したオブジェクト バージョンがメンバーになっているすべてのプロジェクト オブジェクト バージョンを探します。

has_model ('*object_name*'**)**

データベースを検索し、指定したモデル オブジェクト バージョンをモデルとして使用するすべてのオブジェクト バージョンを探します。

たとえば、Base Model を使用する場合、このクエリは *has_model*(`base-1:model:base'`) となります。

has_no_*relationship* **()**

データベースを検索し、どのオブジェクトともその名前の関係を持たないオブジェクトを探します。

たとえば、`has_no_successor` は、子孫を持たないすべてのオブジェクトを返します。

has_predecessor ('*object_name*'**)**

データベースを検索し、指定したオブジェクト バージョンが直接祖先となっているすべてのオブジェクト バージョンを探します。

has_priv ('*privilege_name*'**)**

privilege_name は、*read*（読み出し）や *write*（書き込み）など、権限の名前を指定します。

has_purpose ('*purpose_name*'**)**

データベースを検索し、指定した目的を持つすべてのプロジェクトを探します。

has_*relationship* **(**'*object_name*'**)**

データベースを検索し、オブジェクト *`object_name`* との関係のタイプが *relationship* であるすべてのオブジェクトバージョンを探します。たとえば、Rational Synergy では *has_successor* を使用して**履歴**ダイアログボックスに履歴の関係が表示されます。

relationship は、*associated_cv* や *associated_task* など、定められた任意の関係を指します。

is_*relationship*(*'objectspec'*, *'operator'*, *time*) は、has_*relationship*_of(*'objectspec'*, *'operator'*, *time*) の逆クエリです。

関係の作成方法については、Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モードの「history コマンド」を参照してください。

has_type (*'type_name'*)

データベースを検索し、タイプが *type_name* のすべてのオブジェクト バージョンを探します。

たとえば、クエリ *has_type*(*'*csrc-1:cvtype:base*'*)により、HelloWorld-1:csrc:1 が検索されます。

hierarchy_project_members (*'project_name'*, *order_spec*)

データベースを検索し、*project_name* で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトを探します。*order_spec* 引数により、*order_spec* で記述された検索順序を指定します。

クエリにより、オブジェクト バージョン名の整列リストが返されます。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリにより、*project_name* が**返されます**。

order_spec については、order_spec を参照してください。

is_bound()

データベースを検索し、いずれかのプロジェクトのメンバーであるオブジェクト バージョンを探します。このクエリは、プロジェクト名など他の限定オプションを指定する場合に便利です。

is_child_of(*'object_name'*,*'project_name'*)

データベースを検索し、プロジェクト *project_name* の *object_name* というディレクトリで使用されているすべてのオブジェクト バージョンを探します。

is_hist_leaf()

データベースを検索し、履歴ダイアログボックスでリーフ ノードであるオブジェクト（子孫を持たないオブジェクト）を探します。

is_hist_root()

データベースを検索し、**履歴**ダイアログボックスでルート ノードであるオブジェクト（祖先を持たないオブジェクト）を探します。

is_member_of (*'project_name'*)

データベースを検索し、指定プロジェクトのメンバーであるすべてのオブジェクト バージョンを探します。

is_model_of ('*object_name*')

データベースを検索して、指定オブジェクト バージョンに関連するモデル オブジェクト バージョンを探します。

is_no_*relationship* ()

データベースを検索して、どのオブジェクトともその名前の関係のターゲットではないすべてのオブジェクトを探します。

たとえば、`is_no_successor` は、子孫ではないすべてのオブジェクトを返します。

is_predecessor_of ('*object_name*')

データベースを検索し、指定オブジェクト バージョンの直接祖先であるすべてのオブジェクト バージョンを探します。

is_*relationship*_of ('*objectspec*', '*operator*', *time*)

関係作成時間が指定演算子（=、!=、>、<=、>、または >=）および時刻値と一致する指定オブジェクトから指定関係を持つすべてのオブジェクトを検索します。

例：

```
is_associated_cv_of ( 'task23-1:task:M', '>', time ('May 1, 2002') )
```

このクエリは、タスク M#23 の、2002 年 5 月 1 日以降に関連したすべての関連オブジェクトを探します。

`has_relationship('objectspec', 'operator', time)` は、`is_relationship_of('objectspec', 'operator', time)` の逆クエリです。

関係の作成方法については、Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モードの「history コマンド」を参照してください。

is_type_of ('*object_name*')

`object_name` の作成に使用したモデル内で *`type`* オブジェクト バージョンを検索します。

recursive_is_member_of ('*project_name*', *order_spec*)

データベースを検索し、*`project_name`* で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトのすべてのメンバーを探します。

クエリにより、オブジェクト バージョン名のリストが返されます。プロジェクトでないものがリストの初めに表示され、階層のメンバーであるプロジェクトが後に続きます。検索順序に関係するのは、結果におけるプロジェクトの場所のみです。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリでは、*`project_name`* は**返されません**。

`order_spec` については、order_spec を参照してください。

task ('*task_id*')

データベースを検索し、指定した番号を持つタスク依頼を探します。

versions_in_a_baseline ('*project_spec*')

ベースラインからプロジェクト バージョンを検索します。このクエリ関数は、"cvtype='project' と name='<project_name>' と instance='<project_subsystem>' と not is_no_project_in_baseline()'" に展開され、これはプロジェクト オブジェクトに対して任意のベースライン内にあるすべてのプロジェクト バージョンを返します。

比較演算子

クエリには比較演算子を使用できます。下表に、カスタム クエリ文節の構成に使用できる比較演算子を示します。

演算子	説明
=	属性の値が定数の値と同じである必要があります。
!=	属性の値が定数の値と同じであってはなりません。ただし、属性が必要です。
<	属性の値が定数の値より小さい必要があります。
<=	属性の値が定数の値より小さいか、同じである必要があります。
>	属性の値が定数の値より大きい必要があります。
>=	属性の値が定数の値より大きいか、同じである必要があります。
match	属性の値が定数の値と一致する必要があります。定数にはワイルドカード文字「*」および「?」を含めることができます。ワイルドカード文字「*」は任意の数の任意の文字、ワイルドカード文字「?」は任意の 1 文字の代わりに使用します。**match** 演算子では、大文字と小文字が区別されます。 ワイルドカードは、属性の初めの 63 文字についてのみ使用できます。
!match	属性の値は定数となり得る値のいずれとも一致してはなりません。

論理演算子

カスタム クエリ文節を組み立てるのに使用できる論理演算子は **and**、**or**、**not** です。

- *query_clause1* **and** *query_clause2*

  両方の *query_clause* の条件と一致するオブジェクト バージョンのみが選択されます。

- *query_clause1* **or** *query_clause2*

  いずれかの *query_clause* の条件と一致するオブジェクト バージョンが選択されます。

- **not** *query_clause*

  query_clause の条件と一致しないオブジェクト バージョンのみが選択されます。

  not 演算子は and 演算子に優先します。and 演算子は or 演算子に優先します。この優先ルールを無効にするには、クエリにかっこ「( )」を使用します。

定数

下表に、カスタム クエリ文節に使用できる定数を示します。属性タイプのクラスは指定した定数によって決まります。たとえば、定数が文字列の場合、文字列属性（文字列のサブタイプである属性）のみが一致します。

定数のタイプ	コメント
文字列	一重引用符で囲みます。
整数	範囲は 0 ～ +/-2147483647 です。
ブール値	**TRUE** または **FALSE** のいずれかです。
時間	時間値は日付フォーマットにする必要があります。詳細については、Rational Synergy CLI ヘルプ、トラディショナル モードの「日付フォーマット」を参照してください。

クエリ文節のグループ化

かっこ「( )」を使用してクエリ文節をグループ化できます。深さに制限はありません。

定義済みクエリの使用

- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 保存クエリの実行
- 保存クエリの編集

オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ

定義済みバージョン条件である **Prep バージョン**、**すべてのバージョン**、**リリース バージョン**、または**ワーキング バージョン**と一致するすべてのプロジェクトを検索します。

ステップ ...

- オブジェクトを右クリックし、**検索**メニューから 適切な定義済みバージョン条件として **Prep バージョン**、**すべてのバージョン**、**リリース バージョン**、または**ワーキング バージョン**を選択します。

  クエリ ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドに条件に一致するすべてのオブジェクトが表示されます。

関連トピック

- クエリのカスタマイズ
- オブジェクトの使用箇所の検索
- 保存クエリの実行

保存クエリの実行

以下の操作は、保存クエリを実行する方法を示します。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで、保存クエリを右クリックして**クエリ**を選択します。

  クエリ ダイアログボックスが表示されます。検索条件に一致するすべてのオブジェクトが結果フィールドに表示されます。

または

1. メイン メニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。

   クエリ ダイアログボックスが表示されます。

   検索リストボックスには、セッション中に実行した保存クエリと、デフォルト クエリと作成したすべての保存クエリが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 実行する保存クエリをダブルクリックします。

   クエリの定義タブを表示し、結果フィールドにクエリ結果を含む**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。

関連トピック

- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 保存クエリの検索メニューへの追加
- クエリのカスタマイズ
- 保存クエリの編集
- 保存クエリの名前変更
- クエリの保存
- クエリを新しい名前で保存

保存クエリの編集

新規リリースの作業に移行したとき、別のチーム メンバーのオブジェクトを検索するとき、異なる完了日のタスク情報を集めるときなど、クエリを編集する必要が生じる場合があります。

ステップ ...

1. メイン メニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。

   クエリ ダイアログボックスが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 編集するクエリを右クリックし、**編集**を選択します。

   クエリの定義タブにクエリ条件が表示されます。
4. 必要に応じてフィールドを削除、追加、または変更してクエリ条件を編集します。
5. をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 保存クエリの検索メニューへの追加
- クエリのカスタマイズ
- 保存クエリの名前変更
- クエリの保存
- クエリを新しい名前で保存

マージと比較

マージ

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレル ファイル／ディレクトリのマージ
- マージ結果の編集
- 次のマージ差分の表示
- コンフリクトのないマージの適用
- マージ済みファイルの保存
- マージ変更のクリア

比較

- 2 つのファイルの比較
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 2 つの類似オブジェクトの比較

マージ

Rational Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして SiberMerge を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

SiberMerge は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイル コードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初に実行するときに、SiberMerge は 2 つのファイル **.ccm_merge.enc** と **.ccm_merge.dat** を作成します。

.ccm_merge.enc というファイルは、（UNIX）ホームまたは（Windows）プロファイル ディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイル コードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

.ccm_merge.dat というファイルは、（UNIX）ホームまたは（Windows）プロファイル ディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較／マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較／マージ オプションを変更できます。

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレル ファイル／ディレクトリのマージ
- マージ結果の編集
- 次のマージ差分の表示
- コンフリクトのないマージの適用
- マージ済みファイルの保存
- マージ変更のクリア

2 つのファイル バージョンのマージ

この手順により、2 つのファイル バージョンの情報をマージします。2 つのバージョンをマージすると、新しい 3 つ目のバージョンが作成されます。

ステップ ...

1. ファイルを右クリックし、**履歴**を選択します。

   ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

2. **履歴**ダイアログボックスで、マージする 2 つのオブジェクトを選択します。1 番目のオブジェクトをクリックし、Ctrl キーを押しながら 2 番目のオブジェクトをクリックします。

   2 つのオブジェクトが両方とも反転表示されます。

   先に選択したファイルが、マージ ユーティリティで **First File** になり、2 番目に選択したファイルが **Second File** になります。

3. **履歴**ダイアログボックスのツールバーの選択オブジェクトの**マージ**をクリックします。

   Merge ダイアログボックスが表示されます。

4. すべてのコンフリクトを解決し、必要に応じて結果を修正したら、マージ済みのファイルを保存します。

関連トピック

- マージ変更のクリア
- マージ結果の編集
- コンフリクトのないマージの適用
- マージ済みファイルの保存
- 次のマージ差分の表示

パラレル ファイル／ディレクトリのマージ

この手順により、2 つのパラレル ファイルまたはパラレル ディレクトリをマージします。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. マージするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

   パラレル ダイアログボックスが表示されます。

2. 選択したバージョンとマージするバージョンを選択し、 をクリックします。

   マージ後のファイルまたはディレクトリが自動的にカレント タスクと関連付けられ、プロジェクトに置かれます。

   ファイル マージの準備ができていない場合は、準備ができるまで**パラレル** ダイアログボックスを開いたままにしておくことができます。

関連トピック

- 2 つのファイルの比較
- パラレル バージョンの表示
- プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決
- プロパティの表示

マージ結果の編集

この手順により、マージ結果を変更します。

ステップ ...

1. **Merge** ダイアログボックスの結果ペインで、編集するセクションを選択します。
2. **Edit** メニューから **Edit** を選択します。

   必要に応じて変更します。セクションが桃色になり、変更が加えられたことが示されます。

関連トピック

- マージ変更のクリア
- コンフリクトのないマージの適用
- 2 つのファイル バージョンのマージ
- マージ済みファイルの保存
- 次のマージ差分の表示

次のマージ差分の表示

この手順により、次の差分を画面上部に表示します。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Next change** をクリックします。

関連トピック

- マージ変更のクリア
- マージ結果の編集
- コンフリクトのないマージの適用
- 2 つのファイル バージョンのマージ
- マージ済みファイルの保存

コンフリクトのないマージの適用

この手順により、左側のペインと右側のペインでコンフリクトのない変更をすべて結果ペインに適用します。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Apply all nonconflicting changes** をクリックします。

関連トピック

- マージ変更のクリア
- マージ結果の編集
- 2 つのファイル バージョンのマージ
- マージ済みファイルの保存
- 次のマージ差分の表示

マージ済みファイルの保存

この手順により、マージ結果をファイルに保存します。

> **注記**：マージ済みファイルはデフォルト ファイル名で保存する必要があります。そうしないと、Rational Synergy がそのファイルをデータベースにコピーできません。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Save File** をクリックします。

関連トピック

- マージ変更のクリア
- マージ結果の編集
- コンフリクトのないマージの適用
- 2 つのファイル バージョンのマージ
- 次のマージ差分の表示

マージ変更のクリア

この手順により、結果フィールドから変更をクリアし、マージを再度開始します。マージをやり直すと、結果フィールドの前の内容が完全に変更されます。

ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Back to base blocks** をクリックします。

関連トピック

- マージ結果の編集
- 2 つのファイル バージョンのマージ
- マージ済みファイルの保存
- 次のマージ差分の表示

比較

Rational Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして SiberMerge を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

SiberMerge は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイル コードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初に実行するときに、SiberMerge は 2 つのファイル **.ccm_merge.enc** と **.ccm_merge.dat** を作成します。

.ccm_merge.enc というファイルは、（UNIX）ホームまたは（Windows）プロファイル ディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイル コードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

.ccm_merge.dat というファイルは、（UNIX）ホームまたは（Windows）プロファイル ディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較／マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較／マージ オプションを変更できます。

- 2 つのファイルの比較
- 2 つの類似オブジェクトの比較
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示

2 つのファイルの比較

この手順により、履歴ダイアログボックスを使用して 2 つのファイル バージョンの類似点や差分を確認します。

バージョンは書き込み可能でもよく、共通祖先がなくてもかまいません。比較は、2 番目に選択したバージョンを基準として行います。

ステップ ...

ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. 比較するファイルを右クリックし、**履歴**を選択します。

   履歴ダイアログボックスが表示されます。

2. 比較する 1 番目のファイルをクリックし、Ctrl キーを押しながら 2 番目のファイルをクリックします。選択したものが両方ともハイライト表示されます。

3. **履歴**ダイアログボックス ツールバーの をクリックします。

   Compare ダイアログボックスに差分が表示されます。

関連トピック

- オブジェクトを関連オブジェクトと比較
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル ファイル／ディレクトリのマージ
- パラレル バージョンの表示
- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較

この手順により、ファイルまたはディレクトリを直前バージョンと比較します。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- 比較するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**直前バージョンの比較**を選択します。

  適切な **Compare** ダイアログボックスに選択したオブジェクト間の差分が表示されます。

関連トピック

- オブジェクトを関連オブジェクトと比較
- 2 つのファイルの比較
- 2 つの類似オブジェクトの比較
- パラレル バージョンの表示
- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

パラレル バージョンの表示

パラレル コンフリクトは、1つのファイルまたはディレクトリに複数のパラレル バージョンがある場合に発生します。プロジェクト内でパラレル バージョンを発見した場合、ファイルを比較してマージ、ファイル履歴の表示、およびファイルのプロパティの表示を行うことができます。

実行する操作によって、意図的に**パラレル** ダイアログボックスを開く場合もあれば、Rational Synergy がそれを開いてパラレルについて警告することもあります。

ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- パラレルを表示するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

  パラレル ダイアログボックスにパラレルがあるオブジェクトと、パラレルがあるオブジェクトのマージ候補が表示されます。

  ダイアログの上部のツールバーを使用して 2 つのファイルの比較、2 つのファイル バージョン、オブジェクトまたはリリースの履歴の表示、およびプロパティの表示を行います。

または

1. 完了するタスクを右クリックして**完了**を選択します。

   タスクがパラレル バージョンを持つオブジェクトを含む場合、**パラレル** ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。

2. 2つのファイル バージョンのマージを行うか、**完了**をクリックしてパラレルを無視し、タスクを完了できます。

または

1. チェックインするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックイン**を選択します。

   ファイルまたはディレクトリがパラレル バージョンを含む場合、**パラレル** ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。

2. 2 つのファイル バージョンのマージを行うか、**チェックイン**をクリックしてパラレルを無視し、チェックインを続けることができます。

関連トピック

- オブジェクトを関連オブジェクトと比較
- 2 つのファイルの比較
- 2 つの類似オブジェクトの比較
- 2 つのファイル バージョンのマージ

- プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決
- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

オブジェクトを関連オブジェクトと比較

この手順により、オブジェクト バージョンとその関連オブジェクトとの間の類似点および相違点を調べます。プロジェクトをそのベースライン プロジェクトと、プロジェクト グルーピングをそのベースラインと、およびプロセス ルールをそのプロセスと比較できます。

ステップ ...

プロジェクト、プロジェクト グルーピング、またはプロセス ルールを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**ベースラインプロジェクトと比較**、**ベースラインと比較**、または**プロセスのプロセス ルールと比較**を選択します。

   適切な **Compare** ダイアログボックスが表示されます。タブを使用して固有のメンバーおよび共通のメンバーを表示します。
2. オブジェクトを選択して をクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
3. オブジェクトを選択して をクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
4. 最初のバージョンをクリックし、次に Ctrl キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから をクリックして 2 つのオブジェクト バージョンを比較します。

関連トピック

- 2 つのファイルの比較
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- 2 つの類似オブジェクトの比較
- プロパティの表示

2 つの類似オブジェクトの比較

この手順により、2 つの同一種類のオブジェクト間の類似点および相違点を調べます。以下の種類のオブジェクトを比較できます。

- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセス ルール
- プロジェクト
- プロジェクト グルーピング

ファイルも比較できますが、実際はファイルのプロパティではなくファイルの内容が比較されます。

ステップ ...

1. ファイルを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。
2. 適切なオブジェクトを右クリックし、**比較**を選択します。

   選択ダイアログボックスが表示されます。
3. 指定したオブジェクトと比較するオブジェクトを選択し、**OK** をクリックします。

   適切な **Compare** ダイアログボックスに以下の情報が表示されます。
   - ディレクトリ：固有エントリと共通エントリ
   - フォルダとプロセス ルール：プロパティとタスク
   - フォルダ テンプレート：プロパティ
   - プロジェクト：固有メンバーと共通メンバー
   - プロジェクト グルーピング：プロパティ、プロジェクト、およびタスク
4. オブジェクトを選択して をクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
5. オブジェクトを選択して をクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
6. 最初のバージョンをクリックし、次に Ctrl キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから をクリックして 2 つのオブジェクト バージョンを比較します。

関連トピック

- オブジェクトを関連オブジェクトと比較
- 2 つのファイルの比較
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- プロパティの表示

インターフェイスのカスタマイズ

エクスプローラの使用

- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1 つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 保存クエリの検索メニューへの追加
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする
- 保存クエリの削除

インターフェイスの外観の変更

- カラム表題部にプロパティを追加
- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更
- プロジェクトを閉じる
- リリース エクスプローラの表示
- セッション中に選択を最新の状態に更新
- カラム表題部からプロパティを削除
- **タブを削除する**
- プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

エクスプローラの使用

- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1 つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 保存クエリの検索メニューへの追加
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする
- 保存クエリの削除

1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる

この手順により、1 つまたはすべてのドッキングされているエクスプローラを閉じます。

ステップ ...

- ドッキングされている 1 つのエクスプローラを閉じるには、**プッシュピン** アイコンをクリックします。
- ドッキングされているすべてのエクスプローラを閉じるには、エクスプローラ ツールバー上部の **X** アイコンをクリックします。

関連トピック

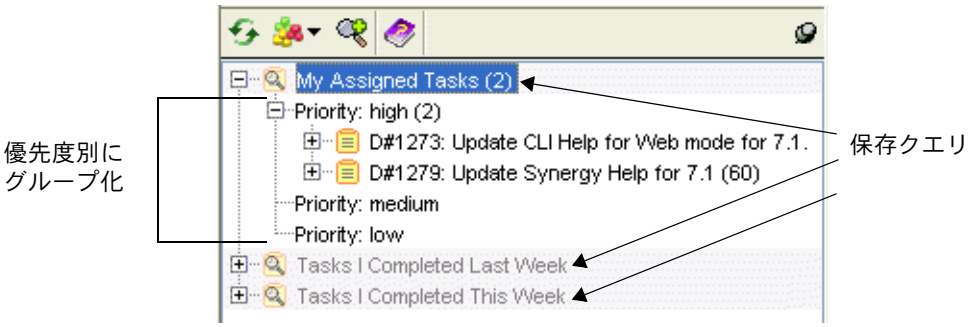
- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1 つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

エクスプローラのカスタマイズ

各エクスプローラは、プロジェクト、タスク、変更依頼など特定のオブジェクトを表示します。エクスプローラに表示されるオブジェクトは、オブジェクトの種類を返すクエリで定義します。たとえば、**タスク** エクスプローラは、**自分に割り当てられたタスク**を表示します。

クエリを追加、削除、または移動してエクスプローラに表示できるオブジェクトを変更できます。Rational Synergy は、一般的に必要なオブジェクトの定義済みクエリを提供しています。エクスプローラに任意の定義済みクエリを追加するか、独自のものを作成できます。

保存クエリ内では、オブジェクトをプロパティ別にグループ化できます。たとえば、**タスク** エクスプローラでは、下図のようにタスクを優先度別にグループ化できます。



以下のヘルプ トピックは、エクスプローラをカスタマイズする方法を示します。

- クエリのカスタマイズ

  クエリ文節要素（関数、比較演算子、論理演算子など）を使用してカスタム クエリを作成する方法を示します。

- クエリの定義

  データベース内のオブジェクトを探す方法を示します。

- オブジェクトの検索

  検索メニューを使用してデータベース内のオブジェクトを検索する方法を示します。

- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ

  データベース内で定義済みバージョン基準と一致するプロジェクトを検索する方法を示します。

- 保存クエリの実行

  独自に保存されたクエリまたはシステム クエリを実行する方法を示します。

- クエリの保存

  カスタム クエリを作成した後、クエリを保存する方法を示します。

上記のステップを完了してクエリを保存したら、適切なエクスプローラ内から保存クエリをエクスプローラや検索メニューに追加できます。

関連トピック

- 保存クエリのエクスプローラへの追加エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- 保存クエリの検索メニューへの追加
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

1 つ以上のエクスプローラのドッキング

エクスプローラを使った作業には 2 とおりのやり方があります。エクスプローラを開始すると、スライド ペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクト タブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

プッシュピン アイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングすると、**ワーク** ペインとメイン ウィンドウ スペースを共有するドッキングされたペインが表示されます。エクスプローラをドッキングすると、他のエクスプローラやプロジェクトを表示しても表示されたままになります。これは、常に複数のエクスプローラを使用して作業する場合に便利です。

複数のエクスプローラをドッキングすることも可能です。ドッキングすると、エクスプローラは**エクスプローラ** ツールバーと**ワーク**ペインの間に縦に重ねて表示されます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なエクスプローラ ボタンをクリックして表示します。

   エクスプローラが、**エクスプローラ** ツールバーの右で**ワーク** ペインの一部の上にスライドします。
2. **エクスプローラ** ツールバーで、**プッシュピン** アイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングします。
3. 別のエクスプローラでステップ 1 を繰り返し、**プッシュピン** アイコンをクリックしてドッキングします。

関連トピック

- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化

この手順により、エクスプローラ内でクエリ結果の表示構成を変更します。

各プロジェクト、タスク、変更依頼には一連のプロパティがあります。グループ化機能を使用し、プロパティの重要度に従って、クエリ結果を再構成してデータベース内に表示させることができます。たとえば、20 個のタスクが割り当てられている場合、重要度が高いものを最も見やすく表示するようにタスクをグループ化できます。他の例としては、リリースの進捗状況がわかるように最近作られたベースラインをリリース別に集めることができます。変更依頼については、特定のクライアントが提出したすべての CR を追跡している場合、クエリ結果を提出者別にグループ化してすばやく検索できます。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なクエリを右クリックしてから、**グループ化**をクリックし、クエリ結果をグループ化するオプションを選択します。

   あるいは、適切なエクスプローラで、内容を再構成したいクエリをクリックします。 をクリックしてオプションを選択します。

   変更を行うと、選択したクエリの結果の構成が変わります。
2. 他のクエリまたは別のエクスプローラのクエリに同じ変更を行うには、上記ステップ 1 を繰り返します。

関連トピック

- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1 つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

保存クエリのエクスプローラへの追加

この手順により、クエリをエクスプローラに追加します。クエリを追加すると、簡単にクエリ結果を表示し、クエリ結果の関連オブジェクトも表示して、結果をカテゴリ別にグループ化できます。保存するクエリの例としては、チームメイトのプロジェクトとタスク、すべてのリリース済みベースライン、あるいは自分のチームの過去 1ヶ月の完了タスクなどがあります。

プロジェクト エクスプローラにプロジェクト、プロジェクト グルーピング、ベースラインのクエリを追加でき、**タスク** エクスプローラにタスクのクエリを追加でき、**変更依頼** エクスプローラに変更依頼のクエリを追加（Rational Change がインストールされている場合）でき、**リリース** エクスプローラにはプロセス、プロセス ルール、リリース、フォルダ テンプレートのクエリを追加できます。エクスプローラには、オブジェクトのクエリを追加できないことに注意してください。

以下の手順は、エクスプローラにクエリを追加する方法を示します。

ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、 をクリックします。

   クエリの選択ダイアログボックスが表示されます。

2. エクスプローラに追加するクエリを選択して **OK** をクリックします。

   追加されたクエリが適切なクエリの下に表示されます。

   作成をクリックして**クエリの作成**ダイアログボックスを開いてクエリを作成することもできます。

   あるいは、**クエリ** ダイアログボックスを開き、**クエリの定義**タブをクリックしてクエリを定義することもできます。クエリの保存を行ったら、右クリックして**エクスプローラに追加**を選択してエクスプローラに追加することができます。

関連トピック

- エクスプローラのカスタマイズ
- クエリのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- クエリの定義
- 1 つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする
- クエリの保存

保存クエリの検索メニューへの追加

この手順により、**検索**メニューに保存クエリを追加します。**検索**メニューに保存クエリを追加することで、チームメイトのプロジェクトやタスク、リリース済みの全ベースライン、その他、ほとんどのものに簡単にたどり着くためのショートカットを作成することができます

この方法は、エクスプローラを表示せずに作業を行っているときに、ベースライン、ディレクトリ、ファイル、プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス ルールおよびリリースを簡単に検索したい場合に便利です。

検索メニュー内のクエリは、自分の条件を使用してオブジェクトを検索できるよう選択ダイアログボックスにも用意されています。

ステップ ...

1. **表示**メニューから**クエリ** ダイアログボックスを開きます。
2. **クエリ** ダイアログボックスで、**保存クエリ** タブをクリックし、**検索**メニューに追加できるすべてのクエリを表示します。
3. 適切なクエリを右クリックして**検索メニューに追加**を選択します。

   追加したクエリは、メイン メニューの**検索**メニューの最下部に表示されます。**検索**メニューからクエリを選択すると、**クエリ** ダイアログボックス内にクエリの結果が表示されます。

   検索メニューには一度に複数の保存クエリを追加できます。すでに**検索**メニューにある保存クエリを右クリックすると、**検索メニューから削除**操作を行うことができます。

関連トピック

- クエリの保存
- 保存クエリの削除
- 保存クエリの編集
- 保存クエリの名前変更
- 保存クエリの実行
- 保存クエリの表示

エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

この手順により、エクスプローラに表示されているクエリ結果を最新の情報に更新します。

一部のクエリ（Rational Synergy が提供するクエリ）は、クエリに関連する操作を行うと自動的に最新の情報に更新されます。たとえば、クエリを作成して自分に割り当てると、**自分に割り当てられたタスク**保存クエリが自動的に最新の情報に更新されます。自分で作成したクエリは、自動的に最新の情報に更新されません。この場合、以下の操作を行って手動でクエリ結果を最新の情報に更新する必要があります。

ステップ ...

1. エクスプローラで、最新の情報に更新したいクエリを検索します。
2. クエリを右クリックして**結果の再表示**を選択します。

   クエリが実行され、適切な変更が行われます。

関連トピック

- 保存クエリのエクスプローラへの追加
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1 つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化

保存クエリの削除

以下の手順は、保存クエリを切り取る、または削除する方法を示します。たとえば、エクスプローラから **My 1.0 Patch Projects** を取り除くような場合です。

ステップ ...

- 適切なエクスプローラで保存クエリ（例、**My 1.0 Patch Projects**）を右クリックし、**切り取り**を選択します。

  保存クエリはまだ残っており、**クエリの選択**ダイアログボックス内から再び表示および使用できます（詳細については、保存クエリのエクスプローラへの追加を参照してください）。

  保存クエリが不要になった場合は、**削除**を選択します。**削除**は**タスク** エクスプローラのコンテキスト メニューからは使用できません。

  デフォルト保存クエリ（**My Project Groupings** または **Build Management Project Groupings** など）は、**切り取る**ことはできますが、**削除**することはできません。

関連トピック

- 保存クエリの検索メニューへの追加
- オブジェクトの削除
- 保存クエリの編集
- 保存クエリの名前変更
- 保存クエリの実行
- クエリの保存
- 保存クエリの表示

インターフェイスの外観の変更

- カラム表題部にプロパティを追加
- よく使うリリース値の追加／削除
- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更
- 履歴ダイアログボックスの外観の変更
- ワーク ペインの外観の変更
- プロジェクトを閉じる
- リリース エクスプローラの表示
- ワーク ペインのタブの管理
- カラム表題部からプロパティを削除
- **タブを削除する**
- セッション中に選択を最新の状態に更新
- プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

よく使うリリース値の追加／削除

この機能は、頻繁に使用するリリース値をリリース ツリーの最上位に置いて使いやすくするものです。リリース ツリーは、**クエリ**、**プロパティ**、**タスクの作成**など、多くのダイアログで使用されます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**よく使うリリース値**をクリックします。
3. よく使うリリース値を追加または削除します。
   a. リリース値を追加するには、**リリース** ツリーで探して選択します。2 つのテーブルの間にあるプラス記号をクリックします。選択したリリース値が**よく使うリリース値**テーブルに入ります。

      ダイアログボックス（**クエリ**、**プロパティ**など）の**リリース** ツリーでリリース値を選択すると、自動的によく使うリリース値に入りに追加されます。
   b. **よく使うリリース値**テーブルからリリース値を除外するには、リリース値を選択して 2 つのテーブルの間にあるマイナス記号をクリックします。
   c. **よく使うリリース値**テーブルで**固定**チェックボックスを選択すると、そのリリース値は最大表示数以上のリリース値を選択した場合でもテーブル内に残ります。**固定**とマークされたリリース値は、リストから除外されません。
4. **最大表示数**オプションを設定します。

   このオプションにより、リリース ツリーの上位に表示されるリリースの数を指定します。

   デフォルトは 8 です。この最大表示数は、**よく使うリリース値**で**固定**とマークしたリリース値の数と同じまたはそれ以上でなければなりません。

関連トピック

- フォント タイプとサイズの変更
- リリース エクスプローラの表示

ダイアログボックスとペインのカスタマイズ

表を含むすべてのダイアログボックスでカラムを追加、整理、削除して表内の情報を表示する位置をカスタマイズできます。

ステップ ...

1. カラム表題部にプロパティを追加します。
2. カラム表題部からプロパティを削除します。
3. カラムの順序を変更するには、カラム表題部を表題部バー内の目的の場所までドラッグします。
4. カラム幅を変更するには、カラム表題部の境界部分をドラッグして目的の幅にします。

   テキストがカラム内に収まりきらない場合は、末尾が省略記号になります。

Rational Synergy では、カラム表題部の設定はすべてセッション終了時に保存されます。設定を変更すると、新しい設定がデフォルトのカラム設定になります。

関連トピック

- カラム表題部にプロパティを追加
- カラム表題部からプロパティを削除

インターフェイスの色の変更

自分のスタイルに合わせて色の設定を変更できます。設定された色は、すべてのエクスプローラ、ダイアログボックス、およびペインに適用されます。

表示タブの**色**ペインを使用して以下の手順を行います。

- 選択色の変更
- 加線色の変更
- 文字色の変更
- プロジェクト アイコン色の変更

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**色**をクリックします。
3. 色を変更します。
   a. 選択色の変更

      中央のペインで**選択**をクリックします。

      前景色と背景色を変更できます。大きい色ボックスは、現在選択されている色設定を示します。**プレビュー**に選択色の表示例が示されます。

   b. 加線色の変更

      中央のペインで**行**をクリックします。

      奇数行と偶数行の背景色をそれぞれ変更できます。大きい色ボックスは、加線の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。

   c. 文字色の変更

      中央のペインで**オブジェクト テキスト**をクリックします。

      修正可能テキストと修正不能テキストの両方について、それぞれ色を変更できます。大きい色ボックスは、文字の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。

   d. プロジェクト アイコン色の変更

      中央のペインで**プロジェクト アイコン**をクリックします。

      目的別にプロジェクト アイコンに表示される色を変更できます。3 番目のペインの右のボックスは、各種目的の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
4. カラー パレットで色を右クリックしてデフォルトの色を変更します。

   さらに、カラーパレット内でグレーのボックスの 1 つを右クリックし、**色の設定**ダイアログボックスで以下のいずれかの手順を行って色を設定することもできます。

* **サンプル** タブで標準色を選択する。

* **HSB** タブで色の色相、彩度、明度を設定してカスタム色を作成する。

* **RGB** タブで赤、緑、青を「混ぜて」カスタム色を作成する。

色をカスタム色に変更して、前景と背景、加線、文字、またはアイコンに適用すると、その色が保存され、このセッションおよび他のセッションで使用されます。

5. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
6. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- フォント タイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更

フォント タイプとサイズの変更

すべてのエクスプローラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるフォントのタイプとサイズを変えることができます。さらに、Rational Synergy が表示するすべてのメッセージのフォントのタイプとサイズを設定することもできます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**フォント**をクリックします。
3. **通常**または**メッセージ** フォント タイプを変更します。

   通常または**メッセージ**のいずれか適切な方をクリックします。

   フォント タイプを論理フォントまたは物理フォントに変更できます。論理フォントは、Java Runtime Environment に存在することが保証されるフォントです。これらは**すべてを表示**チェックボックスにチェックマークがついていないときに表示されます。物理フォントは、パソコンにインストールされているフォントです。これらは、**すべてを表示**チェックボックスが選択されているときに表示されます。

   デフォルトで、**すべてを表示**チェックボックスは選択されていません。
4. フォント サイズを変更します。

   フォント サイズ ボックスで、上矢印をクリックするとフォント サイズが大きくなり、下矢印をクリックすると小さくなります。
5. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
6. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- ワーク ペインの外観の変更

履歴ダイアログボックスの外観の変更

以下のオプションにより、履歴ダイアログボックスでのオブジェクト バージョンの表示方法を変更します。

ステップ ...

- **履歴**ダイアログボックスを表示します (オブジェクトまたはリリースの履歴の表示を参照してください)。
  - ミニチュア ビューを変更する。

    デフォルトでは、**履歴**ダイアログボックスの下部にミニチュア ビューが表示されています。このミニチュア ビューからオブジェクトの履歴全体を詳しく確認したり、パラレル バージョンが発生しているエリアに移動することができます。

    従来の全体ビューに表示されているバージョンは、ミニチュア ビューでは網かけされたスライダーで表示されます。これをスライドさせて従来の全体ビューに表示されるバージョンを変更できます。

    また、ミニチュア ビューの左側にある縦のスライダーによって、ビュー内のノードの表示を拡大／縮小できます。

    をクリックするとミニチュア ビューが表示されなくなります。
  - フォント サイズを変更する。

    をクリックして、デフォルトのフォント サイズを大きくできます。 をクリックして、デフォルトのフォント サイズを小さくできます。最後に使用したフォント サイズが保持され、次に**履歴**ダイアログボックスを開いたときにそのサイズがデフォルトとして適用されます。
  - オブジェクト バージョンをフィルタリングして作業を行う。

    デフォルトで、**履歴**ダイアログボックスの右側にテーブルが表示されます。このテーブルを使用して、プロパティの表示、パラレルの表示、オブジェクトバージョンの使用箇所の検索など、オブジェクト バージョンに関する作業を行います。

    オブジェクトに多くのバージョンが含まれる場合、バージョンのフィルタリングを行うことができます。 をクリックし、**所有者**など、表示する条件を選択し (これで他の条件がフィルタリングされる)、リストボックスを使用して表示するプロパティを指定します。すべてのバージョンを表示するには、リストボックスで**フィルタをオフ**を選択します。

    をクリックするとテーブルが表示されなくなります。
  - 選択オブジェクト バージョンの直前および直後のバージョンを表示する。

    オブジェクト バージョンを選択して をクリックし、そのオブジェクト バージョンの直前および直後のバージョンのみを表示します。オブジェクト バージョンを選択せずに をクリックすると、履歴を表示したときに指定していたオブジェクトのノードの祖先（先行バージョン）と子孫（後継バージョン）が表示さ

れます。複数のオブジェクト バージョンを選択して をクリックすると、最初に選択したオブジェクト バージョンの祖先と子孫が表示されます。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更

ワーク ペインの外観の変更

ワーク ペインの外観を変更できます。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**ワーク ペイン**をクリックします。
3. 加線オプションを変更します。

   デフォルトでこのオプションは選択されており、**ワーク** ペインの加線は、表示されているプロジェクトの色と一致します。

   このオプションを選択解除すると、加線は他のダイアログボックスで表示される加線の色と同じになります。
4. **ワーク** ペインに表示されるタブの最大数を変更します。

   デフォルトでは、**ワーク** ペインには最大 10 個のタブがあります。上矢印を使用してタブの数を増やすか下矢印を使用してタブの数を減らすことができます。
5. タブ タイトルに表示される文字の最大数を変更します。

   デフォルトで、タブタイトルには最大 20 文字表示できます。上矢印を使用して文字の数を増やすか下矢印を使用して文字の数を減らすことができます。
6. **エクスプローラ** ペインで選択したときに**ワーク** ペインに表示されるオブジェクトの種類を変更します。

   デフォルトでは、**エクスプローラ**ペインで選択したオブジェクトが**ワーク** ペインに表示されます。この設定を変更して**ワーク** ペインにプロジェクトのみまたはプロジェクトとタスクのみを表示できます。
7. 変更を行った後にデフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
8. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更

ワーク ペインのタブの管理

ワーク ペインは、Rational Synergy のメイン ビューです。**ワーク** ペインで複数のオブジェクトを開くと、開いたオブジェクトごとにタブがあるため、結果的に多くのタブが表示されます。このため、現在作業しているプロジェクトやタスクを見つけにくくなることがあります。

以下の手順は、多数のオブジェクトに関する作業を効率的に行うためにタブを管理する方法を示します。

- タブを削除する
- タブ間をスクロールする
- タブで開いているオブジェクトのリストを表示する

- **タブを削除する**

  以下の手順により、**ワーク** ペインからタブを削除します。

  - **ワーク** ペインで、削除するタブの **X** をクリックします。

  または

  - **ワーク** ペインで、削除するタブを右クリックし、**閉じる**を選択します。

    さらに、以下のオプションを選択できます。

    *** 他を閉じる**：このオプションは、**ワーク** ペインから、現在使用しているタブ以外のタブをすべて削除するときに使用します。

    *** すべてを閉じる**：このオプションは、**ワーク** ペインからすべてのタブを削除するときに使用します。

- **タブ間をスクロールする**

  ワーク ペインでオブジェクトを開いてタブが追加されると、タブは横方向に広がりますが、縦方向には広がりません。以下の手順により、表示からはみ出したタブを表示してオブジェクトを探します。

  - **前にスクロール**ボタン (中央のボタン) を使用して、オブジェクト タブ間を右方向にスクロールします。オブジェクトを選択すると、**ワーク** ペインでそのオブジェクトがフォーカスされます。
  - **後ろにスクロール**ボタン (左のボタン) を使用して、オブジェクト タブ間を左方向にスクロールします。オブジェクトを選択すると、**ワーク** ペインでそのオブジェクトがフォーカスされます。

- **タブで開いているオブジェクトのリストを表示する**

  ワーク ペインでオブジェクトを開いてタブが追加されると、タブは横方向に広がって表示からはみ出すことがあります。以下の手順により、リストを表示します。

  - **リスト表示**ボタン (右のボタン) をクリックして、**ワーク** ペインで開いているオブジェクトのリストを表示します。オブジェクトを選択すると、**ワーク** ペインでそのオブジェクトがフォーカスされます。

関連トピック

- ワーク ペインでプロパティを表示

プロジェクトを閉じる

ステップ ...

- **ワーク** ペインで、閉じたいプロジェクト タブの **X** をクリックします。

または

- **ワーク** ペインで、閉じたいプロジェクトタブを右クリックし、**閉じる**を選択します。

  プロジェクトを閉じると**ワーク** ペインのタブが削除されます。

  プロジェクトを閉じた場合、**プロジェクトの表示**を使用するか、**ワーク** ペインのツールバーで をクリックし、プロジェクト名を入力して **OK** をクリックして、再び開くことができます。

  名前を覚えていない場合は、まずクエリで検索して、その後でワーク ペインでプロパティを表示する手順を実行します。

関連トピック

- ワーク ペインでプロジェクトを開く
- ワーク ペインでプロパティを表示

カラム表題部にプロパティを追加

コンテキストメニューから手軽に表題部にプロパティを追加できます。

たとえば、**ワーク**ペインのテーブルで **change_request** 値を表示するとします。**プロパティの追加**ダイアログボックスに「**change_request**」と入力すると、テーブルのカラムに Rational Change の変更依頼の値が表示されます。

ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキスト メニューを表示し、**プロパティの追加**を選択します。

   プロパティの追加ダイアログボックスが表示されます。

2. 追加するプロパティの名前を入力し、**OK** をクリックします。

   カスタム属性を追加する場合、正確な名前を入力してください。名前は大文字と小文字が区別されます。デフォルト属性名は、データベース内のものと一致する必要があります。

関連トピック

- カラム表題部からプロパティを削除

カラム表題部からプロパティを削除

コンテキストメニューから表題部に追加したプロパティを手軽に削除できます。

たとえば、**ワーク** ペインのテーブルで **status** 値を表示するとします。**プロパティの追加** ダイアログボックスに **state** を入力しますが、新規テーブル カラムには値が何も表示されません。間違った名前を入力したことに気付き、**プロパティの追加**ダイアログボックスを使用して正しい名前を追加し、**プロパティの削除**ダイアログボックスを使用して誤った名前を削除します。するとテーブル カラムには、**status** の値が表示されます。

ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキスト メニューを開き、**プロパティの削除**を選択します。

   プロパティの削除ダイアログボックスに追加したプロパティの名前が表示されます。

2. 削除するプロパティを選択して **OK** をクリックします。

関連トピック

- カラム表題部にプロパティを追加

セッション中に選択を最新の状態に更新

この機能により、**プロパティ**、**クエリ**、**タスクの作成**ダイアログボックス内の選択物に対してセッション開始後の変更を反映します。

たとえば、セッション実行時にデータベースに新しいユーザーが追加された場合、**選択の再表示**操作を行うまでタスクを作成してそのユーザーに割り当てることができません（ユーザー名が**タスクの作成**ダイアログボックスの**担当者**リストに入らないため）。セッション中に変化する可能性のあるその他の選択としては、プロファイル、優先度、リリースなどがあります。

ステップ ...

- **表示**メニューをクリックし、**タスクの再表示**を選択します。

  プロパティ、**クエリ**、および**タスクの作成**ダイアログボックス内の選択は、ダイアログボックスが開いていても閉じていても最新の情報に更新されます。

関連トピック

- オブジェクトの削除
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止
- ベースラインとタスクの更新

リリース エクスプローラの表示

デフォルトでは、**リリース** エクスプローラは開発者には表示されません。ただし、頻繁にプロセス関連オブジェクト（プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート）を参照する場合は、次の手順で**リリース** エクスプローラを表示できます。このオプションでは、プロセス関連オブジェクトのメニュー項目も設定できます。

開発者兼ビルド マネージャには、デフォルトで**リリース** エクスプローラが表示されます。

> **注記：** この変更を行った後は、Rational Synergy を再起動する必要があります。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**リリース　エクスプローラと関連オブジェクトを表示**オプションを選択します。

   デフォルトではこのオプションは選択されておらず、開発者の**エクスプローラ** ツールバーに**リリース** エクスプローラは表示されません。
4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更

転送セット オプションの表示

デフォルトでは、**転送セット**は Rational Synergy データベース用に、以下の場所に表示されます。

- **プロパティ** ダイアログボックス（オブジェクト、プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、リリース、およびプロセス ルールの）の **転送セット**タブ
- **検索** メニューの**転送セット** オプション
- **クエリ** ダイアログボックスの **検索**リストの**転送セット** オプション
- **アクション** メニューの**転送セットに追加** オプション

ビルド マネージャおよび DCM マネージャは、Rational Synergy CLI を使用して、データベースで DCM を使用するように設定できます。詳細については、Rational Synergy CLI ヘルプの「dcm コマンド」を参照してください。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**転送セットを表示**オプションを選択します。

   デフォルトでは、このオプションは選択されておらず、DCM の設定に関わらず転送セット関係のオプションは表示されません。
4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更

プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

このオプションを使用して、**プロパティ**ダイアログボックスに以下のオブジェクトの**セキュリティ**タブとグループ セキュリティ オプションを表示します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- タスク
- プロジェクト
- リリース

このオプションは、グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**オブジェクトのセキュリティ　プロパティを表示**オプションを選択します。

   デフォルトでは、このオプションは選択されておらず、グループ セキュリティの設定に関わらず**プロパティ** ダイアログボックスに**セキュリティ** タブは表示されません。
4. **適用**をクリックして変更を保存します。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

Rational Synergy の開始

- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Change の起動
- コピーベース モードによる Rational Synergy の使用 （UNIX ユーザーのみ）

新規ユーザー向けの説明

- Rational Synergy ツアーの実施
- Rational Synergy の開始
- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- テキストの回復
- キーボード ショートカットの使用
- マウス ショートカットの使用
- ヘルプの参照
- IBM Rational IBM ソフトウェア サポートへの問い合わせ

ファイルの移動

- オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け
- 切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動
- ドラッグ アンド ドロップの使用

ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示

- ショートカット メニューの表示
- ワーク ペインでプロジェクトを開く
- ワーク ペインでプロパティを表示
- メッセージの表示
- 複数のファイルの選択
- ファイル／プロジェクト／タブの表示

問題解決

- パターン マッチングと Rational Synergy
- テキストの回復
- オブジェクトの再表示

Rational Synergy の開始

- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Change の起動
- コピーベース モードによる Rational Synergy の使用 （UNIX ユーザーのみ）

コマンドラインからの Rational Synergy の開始

cmsynergy コマンド

表記

```
cmsynergy [-user | -u user_name] [-password | -pw password]
          [-host | -h engine_host] [-database | -d database_path]
          [-server | -s server_url]
```

説明と用途

cmsynergy コマンドを使用してセッションを開始します。

このコマンドにより、指定した設定で**ログイン** ダイアログボックスが表示されます。

オプションと引数

`-h | -host engine_host`

セッションのエンジン ホストを指定します。このオプションと `-s server_url` は一緒には使用できません。

`-d | -database database_path`

Rational Synergy データベースがセッションに接続するためのデータベースのパスを指定します。

`-pw | -password password`

セッションのユーザー パスワードを指定します。

`-s | server server_url`

接続するサーバーを指定します。*server_url* は `http://` または `https://` で始まる、対応するサーバーの有効な URL である必要があります。このオプションと `-host engine_host` は一緒には使用できません。

適切な『Rational Synergy 管理者ガイド』の「CCM server について」を参照してください。

`-user | -u user_name`

このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

セッションのユーザー名を指定します。

例

- Rational Synergy を開始します。

  ```
  > cmsynergy -u linda -pw jupiter -h milkyway -d ¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
  ```

- 3 つの値（*user_name*、*engine_host*、*database_path*）を使用して、Rational Synergy を開始します。

  ```
  > cmsynergy -u linda -h milkyway -d ¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
  ```

- サーバー URL を使用して Rational Synergy を開始します。

  ```
  > cmsynergy -u bob -pw **** -d /data/db1 -s http://unixXYZ:8400
  ```

Rational Change の起動

Rational Synergy での作業中に、Rational Change を起動する必要が生じることがあります。これは、以下の方法で行います。

ステップ ...

- **ツール** メイン メニューで **Rational Change の起動**をクリックします。

  ブラウザが開き、その中で Rational Change が開始します。Rational Change のヘルプを表示したい場合は、インターフェイス上部のメイン メニューで**ヘルプ**をクリックします。

関連トピック

- 変更依頼の解決
- プロパティの表示
- 割り当てられた変更依頼の表示

コピーベース モードによる Rational Synergy の使用

このオプションは、UNIX ユーザーにのみ適用されます。

user.allow.link.based.workareas キーの値を **false** に設定すると、Rational Synergy をコピーベース モードで開始することになります。これで、ワークエリアはデフォルトでコピーベースになります。ワークエリアがコピーベースの場合、Rational Synergy はユーザーのファイル システムにプロジェクトのコピーを入れます（これは、Rational Synergy がユーザーのファイル システムにデータベース内のファイルのリンクを入れるリンクベースのワークエリアとは異なります）。$HOME/.ccm.user.properties ファイルに以下の形式で設定を入力します。

```
user.allow.link.based.workareas=false
```

false 以外の値を設定すると、Rational Synergy をリンクベース モードで使用することになります。この値では、大文字と小文字が区別されます。

Rational Synergy サポートへの要求の送信

依頼の提出ダイアログボックスを使用して、Rational Synergy に関する質問や問題点を、Rational Synergy サポートに送信できます。このダイアログボックスには Synergy およびシステムに関する情報が入力されており、状況を説明するファイル、画面ショット、ビデオキャプチャなどを添付できるようになっています。

依頼の提出ダイアログボックスは、**ヘルプ**メニューの**サポート依頼の送信**オプションから開くことができます。「処理されていないランタイム例外が発生しました。」というメッセージが表示された場合は、ダイアログボックスに**サポート依頼の送信**ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると**依頼の提出**ダイアログボックスが開きます。

ステップ ...

1. **依頼の提出**ダイアログボックスを開くには、**ヘルプ** メニューから**サポート依頼の送信**を選択します。

   依頼の提出ダイアログボックスが表示されます。

2. 問題情報を入力します。
   - **重大度**

     状況に最も近い説明を選択します。
   - **要約**

     問題または質問を簡単に説明してください。
   - **問題**

     問題または質問について、できるだけ詳しく説明してください。
3. 補足情報を添付します。
   - **ファイルの追加**

     このボタンをクリックしてファイル システムへのエクスプローラを開き、サポートに送信するファイルを選択して添付します。

     ファイルの説明は、**説明**カラムでダブルクリックして変更できます。
   - **スナップショット**

     このボタンをクリックしてスナップショットをとります。これが、デフォルトの画面キャプチャ ツールとなります。

     スナップショットの説明は、**説明**カラムでダブルクリックして変更できます。
   - **ビデオ キャプチャの追加**

     このボタンをクリックして、ビデオ キャプチャをとります。

     ビデオ キャプチャの説明は、**説明**カラムでダブルクリックして変更できます。
   - **表示 / 再生、削除、すべて削除**

* ファイルを選択して**表示 / 再生**をクリックすると、ファイルや画面ショットの表示、またはビデオキャプチャの再生が行われます。

* ファイルを選択して**削除**をクリックするとファイルが削除されます。

* **すべて削除**をクリックすると添付用に選択したすべてが削除されます。表示されたメッセージに対してすべてを削除してもよいことを確認すると、すべてが削除されます。

4. Rational Synergy サポートに要求電子メールを送信します。

   アドミニストレータが送信先のアドレスを社内アドレスに設定している場合もあります。その場合は、Synergy エキスパートが要求をレビューして送信すべき情報かどうか、社外秘情報が含まれていないかを確認してから Rational Synergy サポートに送信できます。

   電子メールは手動または自動で送信できます。

   - 手動

     要約および**問題**フィールドに入力したら、手動で電子メールを送信できます。これらのフィールドに入力すると、**テキストのみ（E メールなし）**ボタンが有効になります。このボタンをクリックして、**E メールの内容**ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスのすべての情報を、自分の電子メール ツールにコピーします。送信前に必ず必要なものを添付してください。

   - 自動

     プレビューと送信ボタンをクリックして、電子メールを自動送信します。送信する前に必ず必要な zip ファイルを添付してください。

関連トピック

- 一般的な質問：開発

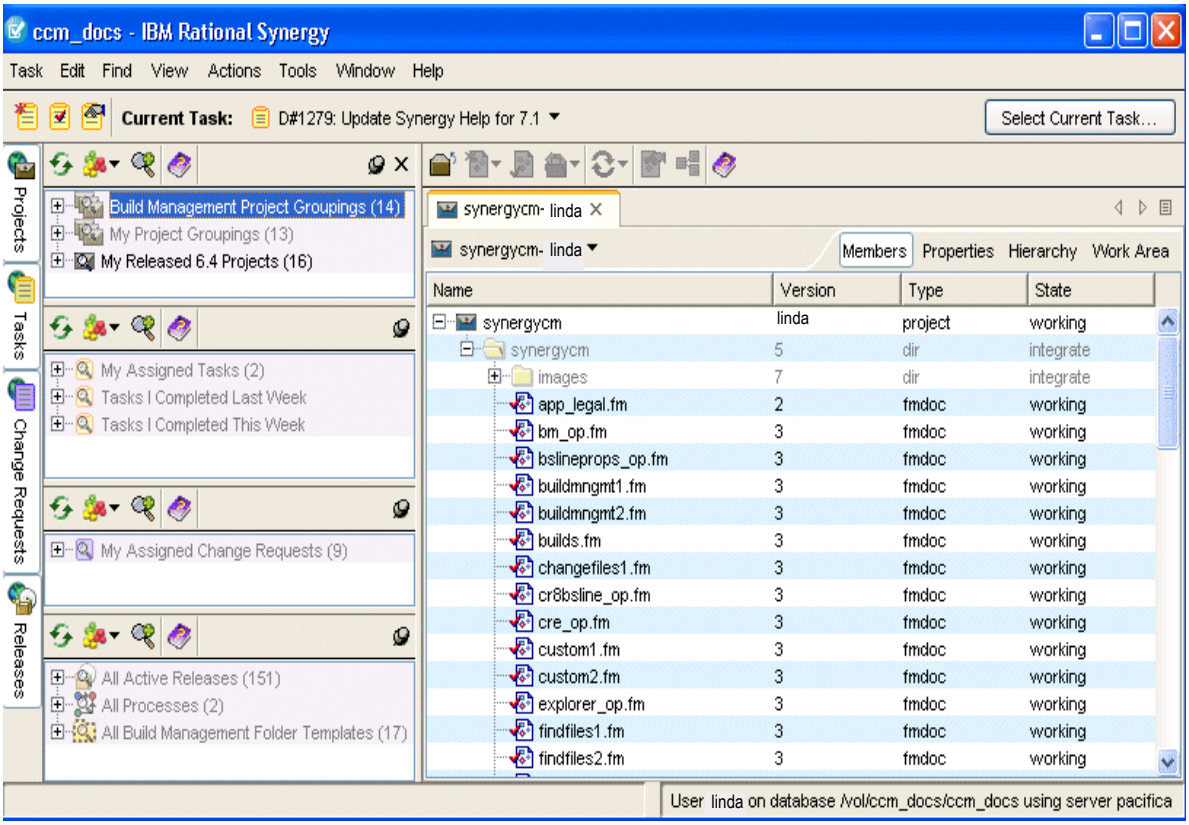
新規ユーザー向けの説明

- Rational Synergy ツアーの実施
- Rational Synergy の開始
- キーボード ショートカットの使用
- マウス ショートカットの使用
- ヘルプの参照

Rational Synergy ツアーの実施

このインターフェイスは、ソフトウェア製品の変更を管理できるよう設計されています。インターフェイスと用法モデルにより、作業しやすくなっています。

以下のグラフィック内エリアの説明を読むには、カーソルをそのエリアに置きます。ツールチップが表示され、情報を読むことができます。



このセクションでは以下のトピックについて説明します。

- エクスプローラ ツールバー
- ワーク ペイン
- 加線の色
- 自動タブ管理
- ドラッグ アンド ドロップのサポート
- 一般的なショートカット

エクスプローラ ツールバー

エクスプローラ ツールバーからは、**プロジェクト**、**タスク**、**リリース**、および**変更依頼**エクスプローラを表示できます。エクスプローラには、保存クエリを展開してその内容を表示した後で検出された各種オブジェクトが表示されます。

- **プロジェクト エクスプローラ**

  プロジェクト エクスプローラでは頻繁に参照するプロジェクトを検索します。デフォルトで、エクスプローラには過去 30 日以内に作成された個人用プロジェクト、現在のビルド管理プロジェクト、およびベースラインが表示されます。興味のある他のプロジェクトを追加するクエリを定義して、それらを簡単に参照できるようにすることができます。

- **タスク エクスプローラ**

  タスク エクスプローラでは、頻繁に必要となるタスクを検索します。デフォルトで、タスク エクスプローラには割り当てられているタスクおよび最近完了したタスクが表示されます。他のチーム メンバーに割り当てられたタスクなど、興味ある他のタスクを追加するクエリを定義できます。

  さらに、保存クエリをエクスプローラに追加すると**タスク** エクスプローラにフォルダを返す保存クエリが表示されるようになります。

- **リリース エクスプローラ**

  リリース エクスプローラでは、リリースのプロパティまたはリリースが使用しているプロセス ルールのプロパティを表示します。**リリース**エクスプローラでリリース、プロセス ルール、またはフォルダ テンプレートを選択すると、**ワーク** ペインにそのプロパティが表示され、必要に応じてオブジェクトを変更できます。

- **変更依頼エクスプローラ**

  変更依頼エクスプローラでは、頻繁に使用する変更依頼を表示します。デフォルトで、エクスプローラには割り当てられている変更依頼が表示されます。他のチーム メンバーに割り当てられた変更依頼など、興味ある他の変更依頼を追加するクエリを定義できます。**変更依頼**エクスプローラは、Rational Change を使用する場合にのみ使用できることに注意してください。

関連トピック

- 保存クエリのエクスプローラへの追加

ワーク ペイン

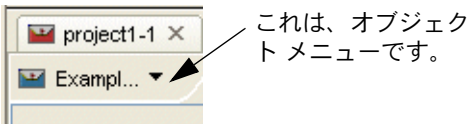
ワーク ペインは以下の方法で選択したプロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースの各種の情報を表示します。

- いずれかのエクスプローラから適切なオブジェクトを選択する。

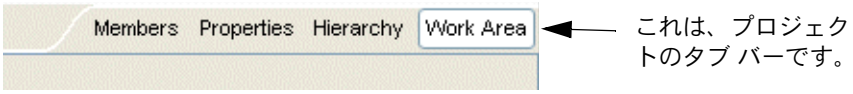
- **ワーク** ペインでオブジェクトを表示していた場合、オブジェクトの名前を表示しているタブをクリックする。オブジェクトの表示の詳細については、ワーク ペインのタブの管理を参照してください。
- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択する。
- **プロジェクトの表示**ダイアログボックスに、**ワーク** ペインで開くプロジェクトのプロジェクト名を入力する。

オブジェクトの各種の情報を表示するほか、**ワーク** ペインには情報を整理してアクセスする方法が 2 つあります。

- 以下に示すオブジェクト メニューを使用して、**ワーク** ペインに表示されているオブジェクトに対する操作を行うことができます。これは、オブジェクトの他の面を表示しており (プロジェクトの**ワークエリア**タブで作業を行っている場合など)、プロジェクトのメンバーが表示されていないときに特に役立ちます。**メンバー** タブに戻ることなく、プロジェクトのコピーや履歴の表示などを行うことができます。



- 以下に示すタブ バーでは、**ワーク** ペインで表示できるオブジェクトの各種情報を整理します。整理するだけでなく、各タブの情報により、特定のダイアログボックスを明示的に開かずに各種のオブジェクトの操作を行うことができます。たとえば、プロジェクトのワークエリア パスを変更する場合、**ワークエリア** タブをクリックして直ちに変更を行うことができます。



ワーク ペイン内で表示できるオブジェクト情報については、ワーク ペインでプロパティを表示を参照してください。

加線の色

ワーク ペイン（およびテーブルを表示するすべてのダイアログボックス）では、1 行おきの加線が色でハイライト表示されます。デフォルトの色は、表示しているプロジェクトの目的によって決まります。たとえば、**Insulated Development（個別開発）**目的のプロジェクトを表示すると、1 行おきの加線が青でハイライト表示されます。

色により、自分がどのようなプロジェクトに参加しているかが分かります。これは、開発者とビルド マネージャの両方として Rational Synergy で作業をする場合に便利です。開発用に使用するプロジェクトを表示すると、1 行おきの加線が青になります。

ビルド管理用に使用するプロジェクトを表示すると、1 行おきの加線は赤か緑（以下の表を参照）で表示されます。これは、プロジェクトの目的に応じて自動的に行われるので、ユーザーは何も変更する必要はありません。ただし、デフォルトの行の色を変更したい場合は、インターフェイスの色の変更を参照してください。

下表に、デフォルトで表示されるテーブルの加線の色を示します。

目的	プロジェクト状態	色
Insulated Development（個別開発）	*working*（作業中）	青
Collaborative Development（共同開発）	*working*（作業中）	青
Custom Development（カスタム開発）	*working*（作業中）	青
Shared Development（共有開発）	*shared*（共有）	青
Visible Development（可視開発）	*visible*（可視）	青
Integration Testing（統合テスト）	*prep*（準備）	赤
Master Integration Testing（マスタ統合テスト）	*prep*（準備）	赤
System Testing（システム テスト）	*prep*（準備）	緑
静的プロジェクト	静的プロジェクト	グレー

プロジェクト タブのアイコンは、行と同じ色です。**プロジェクト** エクスプローラに表示されるアイコンについても同じです。

自動タブ管理

デフォルトでは、**ワーク** ペインには最大 10 個のタブがあります。

ドラッグ アンド ドロップのサポート

ドラッグ アンド ドロップのサポートはドラッグ アンド ドロップの使用を参照してください。

Rational Synergy の開始

Rational Synergy には、使用プロセスと手順があります。これを作業フローと呼びます。作業フローにより、最大限の効率で作業を行うことができます。作業フローの基本ステップの概要を説明します。

実行するすべての操作についてはヘルプで説明しています。以下のリンクをクリックすると、該当のヘルプを参照できます。

ステップ ...

Rational Synergy セッションは、**ログイン** ダイアログボックスでインターフェイスを起動後に開始されます。**ログイン** ダイアログボックスでは、適切なデータベースに正しくログインするために必要なすべての情報を入力します。

1. カレント タスクを、自分に割り当てられているタスクに設定します。

   タスクを検索して選択するか、作成する必要があります。詳細については、タスクの作成、クエリの定義、およびタスクの選択を参照してください。

2. 自分で使用するプロジェクトを作成するか、コピーします。

   詳細については、プロジェクトの作成またはファイル システムへのプロジェクトのコピーを参照してください。すでにプロジェクトがある場合は、このステップは省略できます。

3. 自分に割り当てられたカレント タスクの作業を行います。すなわち、必要に応じてカレント タスクを変更します。

   このために Rational Synergy 以外の開発ツールを使用することもできます。開発作業には以下のような操作が必要になることが考えられます。

   - チェックアウト
   - ファイルの編集
   - プロジェクト ファイルの名前変更
   - プロジェクトの作成
   - オブジェクトの削除
   - ディレクトリへの追加

4. プロジェクトを更新します。
5. 変更のテストとデバッグを行います。
6. カレント タスクを完了します。

関連トピック

- カレント タスクの完了
- 用語解説

  プロジェクトの更新

キーボード ショートカットの使用

ショートカットキーを使用して多くの操作を行うことができます。ショートカット キーの使い方については、以下のいずれかをクリックしてください。

- Compare ダイアログボックス
- Merge ダイアログボックス
- 一般的なショートカット
- 履歴の表示
- プロジェクトの表示

Rational Synergy では、いくつかのキーボード ショートカットにより操作がしやすくなっています。以下のショートカット キーを使用すると、頻繁に実行するタスクをすばやく行うことができます。

Compare ダイアログボックス

操作	ショートカット キー
2 つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl ＋ 下矢印キー
2 つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl ＋ 上矢印キー

Merge ダイアログボックス

操作	ショートカット キー
所定の差分について元のマージ結果に戻す。	Ctrl ＋ B キー
マージ結果を編集する。	Ctrl ＋ E キー
左側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl ＋ L キー
右側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl ＋ R キー
2 つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl ＋ 下矢印キー
2 つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl ＋ 上矢印キー

一般的なショートカット

任意のダイアログボックス、ペイン、またはエクスプローラで、以下のショートカットを使用できます。

操作	ショートカット キー
選択したテキストまたはオブジェクトをクリップボードにコピーする。	Ctrl ＋ C キー
選択したオブジェクトをカレント タスクに追加する。	Ctrl ＋ D キー
選択したオブジェクトをカレントタスクから削除する。	Ctrl ＋ M キー
新しいタスクを作成する。	Ctrl ＋ N キー
選択したオブジェクトをチェックアウトする。	Ctrl ＋ O キー
割り当てられた変更依頼を検索する。	Ctrl ＋ R キー
割り当てられたタスクを検索する。	Ctrl ＋ T キー
選択したエリアにクリップボードのテキストまたはオブジェクトを貼り付ける。	Ctrl ＋ V キー
選択したテキストまたはオブジェクトを切り取る。	Ctrl ＋ X キー
モデル以外のダイアログボックスを閉じる。	Alt ＋ F4 キー
選択したテキストまたはオブジェクトを削除する。	Delete キー
デフォルト ボタンをクリックする（復帰改行文字を受け付けるテキスト フィールドがフォーカスされている場合を除く）。 メニュー項目およびボタンをクリックする（テキスト コンポーネントがフォーカスされている場合を除く）。	Enter キー スペース キー
モデル ダイアログボックスおよび**作成**ダイアログボックスを閉じる。	Esc キー
ヘルプを表示する。	F1 キー
選択したオブジェクトの名前を変更する。	F2 キー
エクスプローラで保存クエリの結果を最新の情報に更新する。	F5 キー
選択したオブジェクトまたは選択したプロジェクトのメンバーのデータを最新の情報に更新する。	F9 キー
ワーク ペインのフォーカス タブをフォーカスする。	F12 キー
フォーカスを次のコンポーネントに移動する。 Tab 文字として Tab キーが使用されている場合、またはフォーカスがテーブルにあり次のコンポーネントにフォーカスを移動する必要がある場合に、コンポーネントに使用する。	Tab キー Ctrl ＋ Tab キー

操作	ショートカット キー
コンフリクト ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl ＋ Shift ＋ C キー
メッセージ ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl ＋ Shift ＋ M キー
クエリ ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl ＋ Shift ＋ Q キー
ショートカット メニューを表示する。	Shift ＋ F10 キー

履歴の表示

操作	ショートカット キー
履歴の表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl ＋ H キー

プロジェクトの表示

操作	ショートカット キー
プロジェクトの表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl ＋ P キー

マウス ショートカットの使用

以下のマウスボタンを使用してオブジェクトを操作します。

- 左のマウスボタンをクリック

  オブジェクトが選択されます。メニューの選択肢は、選択したオブジェクトのセットについて動的に有効または無効になります。

- Shift キーを押しながら左のマウスボタンをクリック

  選択した 2 オブジェクト間のすべてのオブジェクトが選択されるか、選択セットの範囲が変更されます。

- Ctrl キーを押しながら左のマウスボタンをクリック

  選択する各オブジェクトをクリックしていくと、連続していない複数のオブジェクトが選択されます。または、他のオブジェクトの選択状態が変更されることなくオブジェクトが選択解除されます。

- 左のマウスボタンをダブルクリック

  オブジェクトのデフォルト動作が起動します。通常、この動作によりオブジェクトが編集状態になります。ディレクトリの場合は**ワーク** ペインでディレクトリが開きます。

  さらに、この操作は、**プロパティ** ダイアログボックスを開き、選択したオブジェクトのプロパティを表示します。

- 右のマウスボタンをクリック

  選択したオブジェクトの**ショートカット** メニューが表示されます。

ヘルプの参照

Rational Synergy の手順や背景情報を調べるためにヘルプを使用します。ヘルプは HTML 形式で、Windows の Internet Explorer または UNIX の Mozilla を使用して、サポートされている任意のプラットフォームで使用できます。ヘルプでは、フレームを使用して、システム内の情報をすばやく継続的に検索できます。

さらに、Rational Synergy ヘルプは、現在行っている作業に基いたヘルプ情報を表示します。開発作業を行っているユーザーには、開発者に適した情報を表示し、ビルド管理作業を行っているユーザーには開発者とビルド マネージャの両方に適した情報を表示します。情報の種類は自動的に表示されます。どちらの情報を表示するかは実行中の作業に基いて自動的に決定されますので、特別な操作は必要ありません。

ヘルプの設定を格納し、検索するためには、ブラウザの設定で Cookie を使用できるようにしておく必要があります。Cookie が無効になっていると、ヘルプ システムの起動時に、最後に選択したタブ ページを開いたり、Rational Change ウェブ サイトを参照したりすることができません。

IBM Rational IBM ソフトウェア サポートへの問い合わせ

お手持ちのリソースで、問題が解決されない場合は、IBM®Rational® ソフトウェア・サポートに連絡してください。IBM® Rational® ソフトウェア・サポートでは、製品の問題解決に関する支援を行っています。

前提条件

IBM Rational ソフトウェア・サポートに問題を送信するには、有効な Passport Advantage® ソフトウェア保守契約が必要です。パスポート・アドバンテージは、IBM の包括的ソフトウェア・ライセンスおよびソフトウェア保守 (製品のアップグレードおよび技術支援) オファリングです。次のサイトからオンラインでパスポート・アドバンテージに登録できます。http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/howtoenroll.html

- パスポート・アドバンテージについて詳しくは、パスポート・アドバンテージ FAQ（http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/brochures_faqs_quickguides.html）にアクセスしてください。
- さらに支援が必要な場合は、IBM 担当員に連絡してください。

問題をオンラインで (IBM Web サイトから) IBM Rational ソフトウェア・サポートに送信するには、さらに以下が必要です。

- IBM Support Web サイトの登録ユーザーであること。登録について詳しくは、http://www-01.ibm.com/software/support/ を参照してください。
- 許可された呼び出し元としてサービス要求ツールにリストされていること。

問題報告について

次のようにして、IBM Rational ソフトウェア・サポートに問題を送信します。

1. お客さまの問題のビジネス・インパクトを判別します。IBM へ問題を報告する際は、重大度レベルを問われます。そのため、報告する問題とそのビジネス・インパクトを理解して、評価する必要があります。

重大度のレベルを決めるにあたっては、下表を参照してください。

重大度	説明
1	問題は**危機的な**ビジネス・インパクトを持ちます。プログラムを使用できず、業務に重大な影響が出ています。この状況には、即時に解決策が必要とされます。
2	問題は、**重大な**ビジネス・インパクトを持ちます。プログラムは使用可能ですが、非常に限定されています。
3	問題は**部分的な**ビジネス・インパクトを持ちます。プログラムは使用可能ですが、比較的重要でない（業務に大きな影響はない）機能が利用できません。
4	問題は**わずかな**ビジネス・インパクトを持ちます。問題による業務への影響がほとんどないか、問題に対する有効な回避策が実施済みです。

2. 問題を説明して、背景情報を収集します。IBM に問題を説明する際は、なるべく具体的に説明してください。IBM Rational ソフトウェア・サポートの専門家が、問題を解決するために効果的な支援をできるように、関連するすべての背景情報を含めてください。時間を節約するために、以下の質問の答えを用意してください。
   - 問題の発生時に実行していたソフトウェア（複数可）のバージョンは何ですか？
   - 次のオプションを使用して、正確な製品名とバージョンを判別することができます。
   - IBM Installation Manager を始動して、「ファイル」>「インストール済みパッケージの表示」を選択します。パッケージ・グループを展開し、パッケージを選択して、パッケージ名およびバージョン番号を確認します。
   - 製品を始動して、「ヘルプ」>「製品情報」をクリックし、オファリング名とバージョン番号を確認します。
   - オペレーティング・システムおよびバージョン番号（サービス・パックまたはパッチを含む）は何ですか？
   - 問題の症状に関連するログ、トレース、およびメッセージはありますか？
   - 問題を再現できますか？再現できる場合は、問題を再現するための手順は何ですか？
   - システムに変更を加えましたか？例えば、ハードウェア、オペレーティング・システム、ネットワーキング・ソフトウェア、またはその他のシステム・コンポーネントに変更を加えましたか？

- 現在、問題に対する何らかの回避策を使用していますか？ 使用している場合は、問題の報告時にその回避策も説明する準備をお願いします。

3. IBM Rational ソフトウェア・サポートに問題を送信します。次の方法で、IBM ソフトウェア・サポートに問題の送信ができます。
   - オンラインの場合：IBM Rational ソフトウェア・サポートの Web サイト (https://www.ibm.com/software/rational/support/) にアクセスして、Rational サポート・タスク・ナビゲーターで「サービス要求を開く **(Open Service Request)**」をクリックします。エレクトロニック問題報告ツールを選択し、「問題管理レコード (PMR) (Problem Management Record (PMR))」を開き、問題についてご自身の言葉で正確に記述してください。
   - サービス要求を開く方法について詳しくは、http://www.ibm.com/software/support/help.html にアクセスしてください。
   - IBM Support Assistant を使用してオンラインのサービス要求を開くこともできます。詳しくは、http://www-01.ibm.com/software/support/isa/faq.html を参照してください。
   - 電話の場合： 国または地域別の電話番号を調べるには、 http://www.ibm.com/planetwide/ の「IBM directory of worldwide contacts」で、お住まいの国名または地域名をクリックします。
   - **IBM** 担当員に依頼する場合：オンラインまたは電話で IBM Rational ソフトウェア・サポートにアクセスできない場合は、IBM 担当員に連絡してください。必要な場合は、お客さまに代わって、IBM 担当員がサービス要求を開くことができます。http://www.ibm.com/planetwide/ で、各国への詳しい連絡先情報を検索できます。

送信した問題が、ソフトウェアの障害に関するものか、資料の欠落や不正確な記述によるものである場合は、IBM ソフトウェア・サポートはプログラム診断依頼書 (APAR) を作成します。APAR には、問題の詳細が記述されます。IBM ソフトウェア・サポートは可能な限り、APAR が解決されてフィックスが提供されるまでの間に実施できる回避策を提供します。IBM は、同一の問題を経験している他のユーザーが同じ解決方法を利用できるように、ソフトウェア・サポート Web サイトに解決済みの APAR を公開し、毎日更新しています。

ファイルの移動

- オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け
- 切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動
- ドラッグ アンド ドロップの使用
- ショートカット メニューの表示

オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け

以下の操作によって、オブジェクト、タスク、ベースライン、転送セットおよび変更依頼間の関係を簡単に変更できます。以下の方法でオブジェクト、タスク、および変更依頼のコピーおよび貼り付けを行うことができます。

- ファイルをコピーしてディレクトリまたはタスクに貼り付ける。
- ディレクトリをコピーしてプロジェクトまたはタスク内の異なるディレクトリに貼り付ける。
- プロジェクトをコピーしてディレクトリ、タスク、またはプロジェクト グルーピングに貼り付ける。
- タスクをコピーしてディレクトリ、プロジェクト グルーピング、または変更依頼に貼り付ける。
- ベースライン内のすべてのタスクをコピーして別のベースラインに貼り付ける。
- 1 つまたは複数の転送セットをコピーして指定したオブジェクトに貼り付ける。
- 1 つまたは複数のオブジェクトを、履歴つきまたは履歴なしでコピーして転送セットに貼り付ける。
- 変更依頼をコピーしてタスクに貼り付ける。

コピーと貼り付けは選択可能な任意のオブジェクト、タスク、または変更依頼に対して行うことができます。

ステップ ...

1. オブジェクト、タスク、または変更依頼が選択可能な任意のペインまたはダイアログ ボックスで適切なオブジェクトを右クリックして、**コピー**を選択します。
2. 適切なオブジェクト、タスク、または変更依頼を右クリックし、**貼り付け**を選択します。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更
- オブジェクトの削除
- ドラッグ アンド ドロップの使用
- 切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動

切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動

- 選択したオブジェクトをペインから削除し、クリップボードに置くには、**切り取り**コマンドを使用 します。
- オブジェクトをコピーしてクリップボードに置くには、**コピー**　コマンドを使用します。
- コピーしたオブジェクトを同じペインの別の場所または別のペインに貼り付けるには、**貼り付け**コマンドを使用します。

切り取ったオブジェクトやコピーしたオブジェクトは、別のオブジェクトを切り取るかコピーするまでクリップボードに残ります。

- オブジェクトが表示される場所ではどこでもコピー操作を行うことができます。
- 切り取りと貼り付けの操作は、多くのペインやダイアログボックスで行うことができます。

切り取りと貼り付けコマンドを使用して関係を削除したり追加できます。

以下を実行するには、切り取り操作を行います。

- タスクからオブジェクトを削除する。
- タスクから変更依頼を削除する。
- ディレクトリからファイルやプロジェクトを削除する。
- 関連オブジェクトから転送セットの関連を解除する。

以下を実行するには、貼り付け操作を行います。

- タスクにオブジェクトを追加する。
- タスクに変更依頼を追加する。
- ディレクトリにファイルやプロジェクトを追加する。
- オブジェクトに転送セットを関連付ける。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更

ドラッグ アンド ドロップの使用

Rational Synergy のいろいろな場所でドラッグ アンド ドロップ操作を行うことができます。この中には、**履歴**や**プロパティ**などモードに依存しないダイアログボックス内のテーブル、エクスプローラ、**ワーク** ペインのオブジェクトなどがあります。また、**履歴**ダイアログボックスでは、マウスを横方向と縦方向に同時にドラッグすることで、履歴の別の部分に移動できます。

Rational Synergy で選択できるものは何でもドラッグ アンド ドロップ操作に使用できます。ドラッグ アンド ドロップ操作は、それがコピーなのか移動なのかを示します。コピーを行うドラッグ アンド ドロップ操作は、切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動で説明している通りに動作します。

たとえば、ドラッグ アンド ドロップを使用して次の操作を行うことができます。

- タスクにオブジェクトを関連付ける。
- 変更依頼にタスクを関連付ける。
- プロジェクト グルーピングにタスクを追加する。
- ディレクトリにファイルを移動または追加する。
- ディレクトリ内の別バージョンのオブジェクトを使用する。
- プロジェクトをグループ化するためにベースラインを設定する。
- ベースラインにプロジェクトを追加する。
- タスクを別のタスクに関連付けて修正する。
- プロセス ルールにフォルダ テンプレートを追加する。
- リリースに汎用プロセス ルールを追加する。
- **よく使うリリース値**テーブルにリリースを追加する。
- **よく使うリリース値**テーブルからリリースを削除する。
- オブジェクトのプロパティを変更する。
- 保存されたクエリをエクスプローラで並び替える。

関連トピック

- インターフェイスの色の変更
- フォント タイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更

ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示

- ショートカット メニューの表示
- ワーク ペインでプロジェクトを開く
- ワーク ペインでプロパティを表示
- メッセージの表示
- 複数のファイルの選択
- ファイル／プロジェクト／タブの表示

ショートカット メニューの表示

コマンドを実行するのに、メイン メニューを使用せず、オブジェクトを右クリックして **ショートカット** メニューを表示できます。**ショートカット** メニューには、特定のペインまたはダイアログで、該当のオブジェクトについて使用できるコマンドが表示されます。

ワーク ペインでプロジェクトを開く

この機能は、ワーク ペイン内に表示したいプロジェクトの名前とバージョンがわかっている場合に使用します。**プロジェクトの表示**ダイアログボックスを使用してプロジェクトを開くと最初にクエリする必要がなくなり、クエリ結果を使用して**ワーク** ペインにプロジェクトを表示できます。

1. **ワーク** ペイン ツールバーで、 をクリックします。

   プロジェクトの表示ダイアログボックスが表示されます。

2. プロジェクト名（例、**calculator**）、バージョンの区切り文字で区切ったプロジェクト名とバージョン（例、**calculator-int_3.0**）、または、プロジェクト名、バージョン、タイプ、およびインスタンスの 4 つの部分からなる 4 部名称（例、**calculator-int_3.0:project:ccmintdb#1**）を入力します。

   完全な名前またはバージョンが不明な場合、疑問符（**?**）とアスタリスク（*****）文字を使用できます。4 部名称のプロパティが不明な場合、不明な部分はアスタリスクで置き換えてもプロジェクト結果が返ります。

   入力した名前が複数のプロジェクトに対応する場合、**プロジェクトの選択**ダイアログボックスが表示されます。適切なプロジェクトを選択して **OK** をクリックします。

関連トピック

- プロジェクトを閉じる
- **タブを削除する**
- ワーク ペインでプロパティを表示
- オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

ワーク ペインでプロパティを表示

選択したオブジェクトのプロパティと関連付けを表示できます。**ワーク** ペインのタブにプロパティと関連付けが表示されます。

オブジェクトを検索する場合は、オブジェクトの検索を参照してください。

- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択します。

  オブジェクトは、以下のデフォルト設定で**ワーク** ペインに表示されます。

  - プロジェクトの情報は、**メンバー** タブに表示される。
  - プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピング内のプロジェクトが**プロパティ** タブに表示される。
  - ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、リリース、またはタスクの情報は**プロパティ** タブに表示される。

  デフォルト情報のほか、以下のような情報も表示できます。

  - プロジェクトについては、プロジェクトのプロパティ、履歴、ワークエリア設定
  - プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピングに関連付けられたベースライン プロジェクトとタスク
  - ベースラインについては、説明と、ベースラインに関連付けられたプロジェクト、タスク、および変更依頼
  - フォルダについては、フォルダに関連付けられたタスク
  - フォルダ テンプレートについては、フォルダ テンプレートが作成したフォルダのプロパティ
  - プロセスについては、プロセスを構成するプロセス ルール
  - プロセス ルールについては、指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのベースライン プロジェクトおよび指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのタスク
  - リリースについては、リリースが使用するプロセス ルール
  - タスクについては、詳細、およびタスクに関連付けられたオブジェクト、修正タスク、変更依頼

関連トピック

- タブを削除する

メッセージの表示

Rational Synergy メイン ウィンドウの下部にステータス行があります。このエリアには、表示されているものの現在の状態に関する情報が表示されます。ほとんどのダイアログボックスにも、下部にステータス行があります。

ステータス行に表示されるほとんどのメッセージは、**メッセージ** ダイアログボックスに書き込まれます。

複数のファイルの選択

チェックイン、チェックアウト、複数ファイルのコピーなど、特定の操作のために複数のファイルを選択できます。

連続した複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、Shift キーを押しながらセットの最後のファイルをクリックします。

連続していない複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、Ctrl キーを押しながら追加ファイルを選択します。

ファイル／プロジェクト／タブの表示

プロジェクト エクスプローラでプロジェクトをクリックすると、**ワーク** ペインにプロジェクトの内容が表示されます。プロジェクトをクリックすると、それぞれに対応する新しいタブが**ワーク** ペインに作成されます。すでに開いたことのあるプロジェクトを表示するには、対応するタブをクリックします。

さらに、**タスク** エクスプローラでタスクとフォルダ、**変更依頼**エクスプローラで変更依頼（Rational Change がインストールされている場合）、**リリース** エクスプローラでプロセス、プロセス ルール、リリース、フォルダ テンプレートを表示できます。

問題解決

- パターン マッチングと Rational Synergy
- テキストの回復
- オブジェクトの再表示

パターン マッチングと Rational Synergy

2 つの Rational Synergy ダイアログ、**ベースライン比較**および**メンバーシップ コンフリクト**では、パターン マッチングを使用してフィールドをフィルタリングできます。たとえば、**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスでは、Java 正規表現を使用できます。**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスの **Filter** フィールドに次のいずれかのフィルタ値を入力できます。

- **正規表現**

  ^ で始まる任意の文字列は、通常の Java 正規表現規則を使用した正規表現とみなされます。以下にいくつかの例を示します。

  ^ $** は、空白と一致します。なぜなら **^** は行の開始と一致することを意味し、**$ は行の終わりと一致することを意味するからです。

  ^ Extra.* は、**Extra** で始まる任意の行と一致します。これは、行のどの場所にあっても一致する正確なサブストリング **Extra** とは異なります。

  ^ .*Extra.* は、行の任意の場所の **Extra** と一致します。

  ^ T..k は、**T** で始まり、2 つの文字、および **k** が続く文字列と一致します（ピリオドは任意の 1 文字と一致します）。

  Java 正規表現については、Javadoc for Pattern ウェブサイトおよび Sun™ Developer Network Site を参照してください。

- **正確なサブストリング**

  先頭に **^** が付かないすべての文字列は正確なサブストリグとみなされます。たとえば、**as** と入力すると、これは **Bad Task**、**Extra Task**、**Missing Task** と一致します。文字列 **a.b** を入力すると、行の任意の場所の **aaa.b**、**a.bbbb**、**a a a a.b b b b** と一致します。サブストリングは常に文字どおり解釈されます。

関連トピック

- プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決

テキストの回復

フィールドの元のテキストを回復するには、Esc キーを使用します。たとえば、**プロパティ** ダイアログボックスの**プロパティ** タブの**バージョン** フィールドのテキストを誤って変更したとします。キーボードの Esc キーを押すと、**バージョン** フィールドに入力されていた元のテキストが表示されます。

オブジェクトの再表示

この操作を使用して、選択したオブジェクトのデータまたは選択したディレクトリのメンバーを最新の状態に更新します。

ステップ ...

- 選択可能な任意のオブジェクト（ファイルまたはディレクトリ）、プロジェクト、またはプロジェクト グルーピングを右クリックし、**オブジェクトの再表示**を選択します。

関連トピック

- オブジェクトの削除
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止
- テキストの回復
- ベースラインとタスクの更新

ビルド管理の実行

目的の作業

- 目的の作成
- オブジェクトの削除（目的）
- 目的の編集

DCM の作業

- 転送セットへの オブジェクトの追加
-

目的の作業

- 目的の作成
- 目的の削除
- 目的の編集

目的の作成

プロジェクトにはそれぞれ目的があります。プロジェクトの目的によってプロジェクトの状態が決まり、プロジェクトのリリースにマッピングされ、更新時に確実に正しいメンバーが選択されるようになります。

目的は、同じプロジェクトの複数の *prep*（準備）バージョン、*shared*（共有）バージョン、*working*（作業）バージョン、*visible*（可視）バージョンを、複数のテストレベルなど、用途別に設定するために使用します。

ステップ ...

1. **タスク**をクリックして**新規**をポイントし、**プロセス ルール**を選択して**目的**ダイアログボックスを開きます。

   プロセス ルールの作成ダイアログボックスが表示されます。

2. **目的**リストの右の参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを開きます。

   目的ダイアログボックスが表示されます。

3. **目的**ダイアログボックスで、プラス記号をクリックして目的を追加します。
4. 新しい目的の名前を入力し、**概要**フィールドをダブルクリックして目的の用途を選択します。
5. **OK** をクリックします。

関連トピック

- 目的の削除
- 目的の編集

目的の削除

データベースから目的を削除すると、以下の状況が発生します。

- 削除した目的でプロジェクトのコピーおよび作成ができない。
- 削除した目的を使用する既存のプロジェクトと製品は、それらが使用するよう作成された統合テストなどの設定を保持する。
- 既存のプロジェクトと製品は、その目的を削除した目的に変更できない。
- 削除した目的のプロセス ルールは削除される。

ステップ ...

1. 適切な汎用プロセス　ルールを右クリックし、**プロパティ**を選択して**プロセスルール プロパティ** ダイアログボックスを開きます。

   プロセスルール プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **目的**リストの右の参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを開きます。

   目的ダイアログボックスが表示されます。

3. **目的**ダイアログボックスで、削除する目的をクリックし、マイナス記号をクリックして反転表示された目的を削除します。

   目的を削除するためには、所有者である必要があります。

4. **目的の削除**ダイアログボックスが表示され、目的の削除が確認されます。**OK** をクリックします。

   目的を削除するには、**プロセスルール プロパティ** ダイアログボックスで **OK** または**適用**をクリックする必要があります。**キャンセル**をクリックすると、目的はデータベースに残り**目的**ダイアログボックスに表示されます。

関連トピック

- 目的の作成
- 目的の編集

目的の編集

この操作により、指定した目的の名前を編集します。目的は、同じプロジェクトの複数の *prep*（準備）バージョン、*shared*（共有）バージョン、*working*（作業）バージョン、*visible*（可視）バージョンを、複数のテストレベルなど、用途別に設定するために使用します。

プロジェクトにはそれぞれ目的があります。プロジェクトの目的はプロジェクトの状態を決定し、プロジェクトのどのプロセス ルールを使用して、更新時に正しいメンバーを選択、するかを決定します。

ステップ ...

1. 適切な汎用プロセス　ルールを右クリックし、**プロパティ**を選択して**プロセスルール プロパティ** ダイアログボックスを開きます。

   プロセスルール プロパティ ダイアログボックスが表示されます。

2. **目的**リストの右の参照ボタンをクリックして**目的**ダイアログボックスを開きます。

   目的ダイアログボックスが表示されます。

3. 必要に応じて表内の行をクリックし、もう一度**名前**列をクリックして新しい名前を入力します。

4. **OK** をクリックします。

関連トピック

- 目的の作成
- 目的の削除

DCM の作業

- 転送セットへの オブジェクトの追加

転送セットへの オブジェクトの追加

ビルド マネージャまたは DCM マネージャは、 1 つまたは複数のオブジェクトを選択して転送セットに追加できます。

ステップ ...

1. プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、リリース、プロセス ルール、またはオブジェクトを右クリックして、**転送セットに追加**を選択します。

   転送セット選択ダイアログボックスにデータベース内のすべての転送セットが表示されます。

   オブジェクトを関連付ける 1 つまたは複数の転送セットを選択できます。
2. 選択したオブジェクト履歴も転送セットに含める場合、かつそれらのオブジェクトにバージョンが付けられている場合、**選択オブジェクトの履歴を含む**をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

関連トピック

- 転送セットのメンバーシップの表示と修正

主なビルド管理操作

プロジェクト グルーピングのプロパティの修正 | | プロジェクトの更新 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 |

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ビルド管理に関する一般的な質問

- ・・・・・・・・・・・・プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。
- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。
- フォルダはどのように作成しますか。
- 転送セットの情報を確認したいのですが、GUI には見当たりません。どこにありますか。
- オブジェクトを転送セットに追加するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。
- 夜中にビルドを開始するビルド スクリプトを設定するため、Rational Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。

主なベースライン作成操作

新規ベースラインの選択

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ベースライン作成に関する一般的な質問

- 私はプロジェクト リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。

主な変更依頼エクスプローラ操作

エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存クエリの検索メニューへの追加 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

変更依頼エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- Rational Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- Rational Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なエクスプローラ操作

1 つ以上のエクスプローラのドッキング | エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | 保存クエリの削除 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

エクスプローラに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

主な履歴操作

オブジェクトまたはリリースの履歴の表示 | オブジェクトまたはリリースの履歴の表示 | パラレル ファイル／ディレクトリのマージ | 2 つのファイルの比較

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

履歴に関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴を最も速く表示する方法は何ですか。

主なメンバーシップ コンフリクト操作

プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 2 つのファイル バージョンのマージ | 2 つのファイルの比較 | メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

メンバーシップ コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。
- Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。
- 深いコンフリクト検出の実行を行う理由

主なマージと比較操作

パラレル ファイル／ディレクトリのマージ | マージ結果の編集 | 2 つのファイルの比較 | 2 つの類似オブジェクトの比較

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

マージと比較に関する一般的な質問

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時にパラレル ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要があるパラレル バージョン の所有者は、どのように探したらよいですか。

主なオプション操作

更新オプションの変更 | ワークエリアとデータベースの同期 | 必須タスクの自動追加を停止 | パターンによるファイルの無視 | ワーク ペインの外観の変更 | リリース エクスプローラの表示

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

オプションに関する一般的な質問

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- GUI のフォント サイズを変更するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。

主なパラレル操作

パラレル バージョンの表示 | パラレル ファイル／ディレクトリのマージ | カレント タスクの完了

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

パラレルに関する一般的な質問

- 自分でパラレルダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- パラレル バージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
- タスクの完了時にパラレル ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

主なリリース エクスプローラ操作

エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存クエリの検索メニューへの追加 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

リリース エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なワーク ペイン操作

チェックイン | チェックアウト | プロジェクトの作成 | ファイルの編集 | ファイルの移動 | 自動タブ管理

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ワーク ペインに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- Rational Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

主なプロジェクト プロパティ操作

プロジェクトの作成 | プロジェクトのコピー | デフォルト ワークエリア パスの設定 | プロジェクトのプロパティの修正 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

プロジェクト プロパティに関する一般的な質問

- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

主なプロジェクト グルーピング プロパティ操作

プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加 | プロジェクト グルーピングにタスクを追加 | プロジェクト グルーピングからタスクを削除 | プロジェクト グルーピングのプロパティの修正 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

主なリリース プロパティ操作

オブジェクトの削除（リリース）| プロパティの表示

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

主なタスク プロパティ操作

タスクのプロパティの修正 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更 | プロパティの表示 | タスクの除外 | タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

タスク プロパティに関する一般的な質問

- タスクをコピーするにはどうしたらよいですか。
- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、タスク プロパティ ダイアログボックスにセキュリティ タブがありません。なぜですか。
- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
- タスク プロパティ ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。

主なクエリ操作

クエリの定義 | クエリの保存 | 保存クエリの実行 | 保存クエリの編集 | 保存クエリの表示

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

クエリに関する一般的な質問

- 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。
- すでに使用して一度保存したことのあるクエリはどこにありますか。
- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。
- データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。

主なタスク エクスプローラ操作

タスクの作成 | カレント タスクの完了 | 自分に割り当てられたタスクの表示 | 保存クエリのエクスプローラへの追加 | エクスプローラのカスタマイズ

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

タスク エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

主なワークエリア コンフリクト操作

ワークエリアとデータベースの同期 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 深いコンフリクト検出の実行 | ワークエリアの設定の修正

プロジェクトの作成と更新

- プロジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

ビルド管理の実行

- 別のベースラインの使用
- 詳細 ...

Rational Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Rational Change の起動
- コマンドラインからの Rational Synergy の開始
- Rational Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

マージと比較

- 2 つのファイル バージョンのマージ
- パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレル バージョンの表示
- 詳細 ...

インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1 つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

他の Rational Synergy ドキュメントへのリンク

- Rational Synergy チュートリアル
- Rational Synergy CLI ヘルプ、ウェブ モード
- Rational Synergy ビルド マネージャ ガイド

ワークエリア コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。
- Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。

一般的な質問

ベースライン

- 私はプロジェクト　リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインの比較はどのように行いますか。

開発

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴を最も速く表示する方法は何ですか。
- タスクをコピーするにはどうしたらよいですか。
- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時にパラレル　ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要があるパラレル バージョン の所有者は、どのように探したらよいですか。
- 自分でパラレルダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。
- パラレル バージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- IDE　によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- GUI のフォント サイズを変更するにはどうしたらよいですか。
- Rational Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。
- ccm_client.log ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。

ビルド管理

- ・・・・・・・・・・・・プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。
- 転送セットの情報を確認したいのですが、GUI には見当たりません。どこにありますか。
- オブジェクトを転送セットに追加するには、どうしたらよいですか。
- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。
- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。
- クエリ ベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。
- どのプロセス ルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。
- このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。
- フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいですか。

コンフリクト

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。
- Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。

エクスプローラ

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- 保存クエリとは何ですか。
- Rational Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- Rational Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。
- プロジェクト グルーピングを作成するには、どうしたらよいですか。

- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。

プロパティ

- オブジェクトのリリースを変更する必要があり、ビルド マネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、プロパティ ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。
- フォルダは何に使用するのですか。
- フォルダはどのように作成しますか。
- フォルダの内容を確認するには、どうしたらよいですか。
- 更新時にプロジェクト　グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。
- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、タスク プロパティ ダイアログボックスにセキュリティ タブがありません。なぜですか。
- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
- タスク プロパティ ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。
- オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。
- オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

ベースライン

- 私はプロジェクト　リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。

  その場合は、テスト ベースラインを作成する必要があります。テスト ベースラインは作成時に公開されません。

- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。

  ベースライン プロパティ ダイアログボックスを使用して、公開済みのベースラインの名前を変更できます。詳細については、ベースライン プロパティの修正を参照してください。

- ベースラインの比較はどのように行いますか。

  1. ベースラインを右クリックし、**比較**を選択します。
  2. **ベースライン選択**ダイアログボックスで比較するベースラインを選択して、**OK** をクリックします。

     ベースライン比較ダイアログボックスに 2 つのベースラインの相違点と類似点が表示されます。

- ・・・・・・・・・・・プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。

  コンフリクトは、以下の 2 種類に分類できます。

  - プロジェクトにあるが更新プロパティにない変更。たとえば、新しいオブジェクトバージョンを、そのタスクを更新プロパティに追加せずに使用すると、オブジェクトにはコンフリクトが生じます。
  - 更新プロパティにあるがプロジェクトにない変更。たとえば、プロジェクトの更新プロパティに、同一オブジェクトのパラレル バージョンに関連付けられている 2 つのタスクがある場合、プロジェクトのメンバーでないバージョンにはコンフリクトが生じます。

  これらの問題の修復については、プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決を参照してください。

- オブジェクトを転送セットに追加するには、どうしたらよいですか。

  プロパティ ダイアログボックスの**転送セット** タブを使用するか、1つまたは複数のオブジェクトを選択して**アクション** メニューから**転送セットに追加**を選択することで、1つまたは複数のオブジェクトを転送セットに追加できます。詳細な手順については、転送セットのメンバーシップの表示と修正および転送セットへの オブジェクトの追加を参照してください。

- 転送セットの情報を確認したいのですが、GUI には見当たりません。どこにありますか。

  データベースが DCM を使用するようにデータベースが初期化されているだけでは、**転送セット** オプションはデフォルトで表示されません。ビルド マネージャまたは DCM マネージャが、データベースでこのオプションが表示されるように設定できます。詳細な手順については、転送セット オプションの表示を参照してください。

- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。

  以下の項目を順序どおりに確認してください。

  1. プロジェクトのプロセス ルールで以下を確認します。

     * フォルダ テンプレートのタスク クエリが正しいこと。

     * このプロセス ルールに正しいフォルダまたはフォルダ テンプレートが含まれていること（プロジェクトのフォルダまたはフォルダテンプレートが正しくない場合、プロセス ルールを更新する必要があるかもしれません）。

     * ベースラインが設定されていること。

  2. **verbose** オプションを使用して更新操作を実行します。**verbose** オプションにより、分析する候補の詳細情報が得られます。各候補のスコアとそのスコアの根拠が表示されます。得られた情報を使用してトラブルシューティングを行います。
  3. プロジェクト グルーピングのプロパティを確認します。

自動更新をオフにしていた場合は、オンに戻す。

* タスクを一時的に移動していた場合は、それを元に戻したか確認する。

* タスクを手動で追加した場合は、そのタスクを保持したいか確認する。

* ベースライン プロジェクトが設定されているか確認する。

- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。

  Rational Synergy 7.1a には、DCM ダイアログボックスはありません。DCM 機能を使用するには、Rational Synergy Classic を起動する必要があります。

- 夜中にビルドを開始するビルド スクリプトを設定するため、Rational Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。

  > ccm start -nogui

- クエリ ベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。

  1. フォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
  2. **タスク** タブをクリックします。

     フォルダがクエリ ベースで手動にしたい場合、**手動**をクリックします。手動に設定されたフォルダをクエリ ベースにしたい場合、**クエリ使用**をクリックし、クエリを設定します。
  3. 必ず、**適用**をクリックして変更を保存してください。

- どのプロセス ルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。

  フォルダ テンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロセス ルール**を選択します。

- このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。

  フォルダ テンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**すべてのフォルダ**を選択します。

- フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいですか。

  1. フォルダ テンプレートを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
  2. **フォルダ プロパティ** タブでクエリを変更し、 をクリックします。

     テスト値を選択ダイアログボックスが表示されます。
  3. キーワードの値を入力し、**OK** をクリックします。

コンフリクト

- コンフリクトの解決は必須ですか。

  プロジェクトをビルドする前にコンフリクト解決を実行するのは必須ではありませんが、解決した方がよいでしょう。

  コンフリクトの解決は、ビルドの前に問題を取り除くのに役立ちます。これにより、ビルドの失敗やアプリケーションの実行不能の原因となる問題を修正することができます。

  開発者がコンフリクトを表示するのは、プロジェクトに問題を起こすパラレル バージョンや他のコンフリクトが含まれる疑いがあるような場合です。

  すべての完了タスクを統合する前に問題を探してチームリーダーまたは開発者に修正を依頼できるように、ビルド マネージャはビルド管理プロジェクトを更新した後、ビルドを行う前に毎回コンフリクト検出を実行します。

  コンフリクトの解決については、プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決を参照してください。

- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。

  フィルタ機能により、表示する条件を選び、残りの条件を除外できます。プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決の「各コンフリクトの適切な解決方法を決定します。」を参照してください。

  また、Java 正規表現を使用して表示される条件をさらにフィルタすることもできます。パターン マッチングと Rational Synergy を参照してください。

- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したいのですが、どうすればよいですか。

  大規模なプロジェクトには特別なニーズがあります。たとえば、Rational Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。しかし、必ずしもすべてのデフォルト コンフリクトがチームにとって都合が悪いわけではありません。したがって、意味のあるコンフリクトと無意味なコンフリクトを決定し、CM アドミニストレータにデフォルトを変更するよう（**conflict_parameters** モデル属性を変更して）依頼できます。

  コンフリクトをカスタマイズした後、コンフリクト検出を実行すると、チームが解決すべきコンフリクトだけが表示されます。大規模なプロジェクトでは、表示するコンフリクトのカスタマイズによって時間と労力を節約できます。

  詳細については、プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決の「大規模コンフリクト検出」を参照してください。

- Rational Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。

  いいえ。コンフリクトのすべてが悪いとは限りません。Rational Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。コンフリクトを

解決する前に、必ずビルド マネージャに解決すべきコンフリクトを確認してください。

- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。

  最も簡単な方法は、コンフリクト検出を自動化することです。このためには、オプション ダイアログボックスの**プロジェクト更新後にメンバシップ コンフリクトを検出**オプションを選択します。手順については、更新オプションの変更を参照してください。

開発

- 何から始めればよいですか。

  Rational Synergy を使い始めたばかりで、まだマニュアルも読んでいない場合は、『Rational Synergy の紹介』から『Rational Synergy チュートリアル』までお読みください。

  すぐに作業を開始してタスクを完了する必要がある場合は、Rational Synergy の開始をお読みください。このセクションでは、すぐに Rational Synergy の使用を開始するために必要なステップを示しています。

- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいですか。

  プロジェクトやファイルを囲む線は「加線」といいます。加線の説明は、**加線の色**を参照してください。加線色を変更する方法については、インターフェイスの色の変更を参照してください。

- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

  プロジェクトを探す最も速い方法は、**プロジェクト** エクスプローラを使用する方法です。**プロジェクト** エクスプローラの使い方については、ワーク ペインでプロパティを表示を参照してください。

- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

  Windows XP Service Pack 2 によって、デフォルトのセキュリティ設定が変更されます。その結果、スクリプトや Active X コントロールなどアクティブ コンテンツについて、Internet Explorer から制限に関するポップアップ メッセージが表示されることがあります。

  このコンテンツの表示を許可するには、以下の手順を行います。

  1. Internet Explorer を開きます。
  2. **ツール** > **インターネット オプション** > **詳細設定**タブを開きます。
  3. **セキュリティ** セクションまでスクロールします。
  4. **マイコンピュータのファイルでのアクティブ　コンテンツの実行を許可する**ボックスのチェックをオンにします。
  5. **OK** をクリックします。

- タスクをコピーするにはどうしたらよいですか。

  任意のタスクを右クリックし、**タスクのコピー**を選択します。フィールドの入力については、タスクのコピーを参照してください。

- オブジェクトの履歴を最も速く表示する方法は何ですか。

  オブジェクトを右クリックし、**履歴**を選択します。

- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。

履歴ダイアログボックスの空白の部分を右クリックして属性を選択します。

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。

  Rational Synergy のマージ ツール、比較ツール、またはエディタの変更についてはデフォルト アプリケーション ツールの変更を参照してください。

  Windows および UNIX のデフォルトのマージと比較ツールは SiberMerge です。デフォルト エディタは、Windows ではメモ帳、UNIX では vi です。

- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。

  マージは、チームが要求する場合にのみ必要です。タスクを完了するときのパラレル バージョンのデフォルト設定をプロジェクト リーダー、ビルド マネージャ、または CM アドミニストレータに確認してください。

  チームがマージを要求せず、自分がパラレル バージョンを所有する開発者で、チーム内で最初にパラレルをチェックインする場合、後でマージが必要になる場合とならない場合があります（マージできるのは、チェックインしたバージョンのみです。パラレル バージョンが他に 1 つしかなく、それが作業中の状態にある場合、他の開発者はタスクを完了した時点で変更をあなたのバージョンとマージする必要があります。マージは、パラレル バージョンのチェックイン後直ちに行うか、あるいは後で行うこともできます。2 つ以上のバージョンがある場合、後でパラレル バージョンをマージする必要があるかもしれません。これは、他のバージョンの状態に依存します）。

  チームがマージを要求せず、自分がパラレル バージョンを所有する開発者で、チーム内で最後にパラレルをチェックインする場合、後でマージすることが可能です。

  マージすべきパラレル バージョンがあることを覚えておくには、マージする必要があるバージョンの**履歴** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、他のパラレルのバージョンと状態を監視できます。

- タスクの完了時にパラレル ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

  パラレルダイアログボックスを開く方法については、パラレル バージョンの表示を参照してください。

- マージする必要があるパラレル バージョン の所有者は、どのように探したらよいですか。

  バージョンを右クリックし、**履歴**を選択すると**履歴**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトの所有者を確認できます。バージョンを右クリックし、**プロパティ**を選択して**プロパティ** ダイアログボックスを開いても、所有者を確認できます。

- 自分でパラレルダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。

  オブジェクト内にパラレルがあると、Rational Synergy は、**パラレル** ダイアログボックスを開いて知らせます。これは、解決すべきパラレルが存在するのに気付かないことがあるからです。詳細については、パラレル バージョンの表示を参照してください。

- パラレル バージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。

  履歴ダイアログボックスを使用して、パラレルの履歴を表示します（詳細については、オブジェクトまたはリリースの履歴の表示を参照してください）。

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。

  ワークエリアのメンテナンスをオフにしてプロジェクトをコピーした場合、それをオンにする必要があります。その後 Rational Synergy が自動的にプロジェクトを同期します。

- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

  Rational Synergy に無関係なファイルを無視するよう設定できます。パターンによるファイルの無視を参照してください。

- GUI のフォント サイズを変更するにはどうしたらよいですか。

  すべてのエクスプローラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるテキストのフォント サイズを変更するには、フォント タイプとサイズの変更を参照してください。

- Rational Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

  Rational Synergy セッションを開いている場合は、**ヘルプ** メニューから**ログの検索**を選択します。

  Rational Synergy セッションを開いていない場合、Windows では Rational Synergy のログは *drive*:¥Documents and Settings¥Administrator¥Application Data¥IBM Rational¥Synergy にあります。

  UNIX では Synergy のログは、ホーム ディレクトリにあります。

  または、Rational Synergy の起動時にエラー メッセージ（例、無効なユーザー名、またはパスワード）が表示された場合、エラー メッセージの後のアクティブな**ログの検索**リンクをクリックしてすべての ccm ログを表示します。

- ccm_client.log ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。

  ccm_client.log（ユーザー インターフェイス ログ）ファイルの出力先を Windows プロファイル ディレクトリ（Windows ユーザー）またはホーム ディレクトリ（UNIX ユーザー）以外に変更できます。このためには、**ccm.user.properties** ファイル内の **user.default.logfile** キーを以下のように設定します。

  1. プロパティ ファイルを開きます。

     Windows ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、Windows プロファイル ディレクトリにあります。

     UNIX ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、ホーム ディレクトリにあります。

     - ログ ファイルの出力先を **C:¥cmsynergy¥synint¥bob** に変更するには、以下のように指定します。

       ```
       user.default.logfile=C:¥¥cmsynergy¥¥synint¥¥bob¥¥ccm_client.log
       ```

- **int** という名のデータベースのログファイル（主に複数のデータベースを使用している場合）の名前を変更するには、以下のように指定します。

  ```
  user.default.logfile=C:¥¥cmsynergy¥¥bob¥¥ccm_client_int.log
  ```

2. ファイルを保存して終了します。

user.default.logfile キーを使用する場合、上記の例のようにフル パスとファイル名を使用する必要があります。

また、Windows のパスはダブル円記号を使用して入力する必要があります。

- データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。

  以下の手順を実行します。

  1. **検索**メニューから**オブジェクト**を選択して、**クエリ** ダイアログボックスを開きます。
  2. リストボックスから**カスタム**を選択して、次の文字列を入力します。

     ```
     not is_bound() and type!='project' and has_attr('source')
     ```

  3. をクリックします。

     結果フィールドにすべての結果が表示されます。

- 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。

  クエリを実行できます。詳細については、オブジェクトの定義済みバージョンのクエリを参照してください。

- すでに使用して一度保存したことのあるクエリはどこにありますか。

  詳細については、保存クエリの実行を参照してください。

- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。

  ユーザーに割り当てられたタスクをクエリする代わりに、特定の担当者を持つタスクをクエリします。

  クエリ ダイアログボックスで、**担当者で検索**を選択し、担当者の名前を設定し、 をクリックします。

エクスプローラ

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。

  エクスプローラを開始すると、スライド ペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクト タブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

  エクスプローラが閉じないようにするには、1 つ以上のエクスプローラのドッキングを参照してください。

- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。

  プロジェクト アイコンの色は、**オプション** ダイアログボックスで変更する必要があります。説明については、インターフェイスの色の変更を参照してください。

- 保存クエリとは何ですか。

  保存クエリとは作成して保存したクエリです（もう 1 つのタイプのクエリは、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク** など、システムが保存したクエリです）。

- Rational Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。

  Rational Synergy で行うことができます。詳細については、割り当てられた変更依頼の表示を参照してください。

- Rational Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Rational Change を起動する必要がありますか。

  Rational Synergy で行うことができます。詳細については、変更依頼の解決を参照してください。

- プロジェクト グルーピングを作成するには、どうしたらよいですか。

  Rational Synergy は、プロジェクトに付与された設定からプロジェクト グルーピングを作成します。プロジェクトを作成するときは、リリースと目的を設定します。Rational Synergy はプロジェクトを作成またはコピーした後、新しいプロジェクトをいずれかのプロジェクト グルーピングのメンバーにします。対応するプロジェクト グルーピングを持たないプロジェクトを作成またはコピーすると、Rational Synergy は新しいプロジェクト グルーピングを作成してそこにプロジェクトを入れます。

  たとえば、プラットフォーム固有のプロジェクトに固有の名前を付ける必要がある場合、一意な名前の新しいプロジェクトを作成すると、Rational Synergy はその一意な名前を持つ適切なプロジェクト グルーピングを作成します。以下にその基本的な手順を説明します。

  1. プロジェクトを作成し、プラットフォームごとに固有の名前を付けます。

2. 各プラットフォームの新規プロジェクトごとに、**コピー**と**貼り付け**を行い、プラットフォームの既存プロジェクトをサブプロジェクトとして追加します。
3. 最上位のグルーピング プロジェクトを作成します。
4. 最上位のグルーピング プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
5. **OK** をクリックします。
6. **コピー**と**貼り付け**を行って、各プラットフォームの新規プロジェクトを最上位のグルーピング プロジェクトに追加します。

- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。

  一度に表示できるエクスプローラは一種類のみですが、一度に 4 つのエクスプローラすべてを表示（およびドッキング）できます。

- Rational Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。

  Rational Synergy は設定を保存しているので、そのとおりにエクスプローラを表示します。

プロパティ

- オブジェクトのリリースを変更する必要があり、ビルド マネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、プロパティ ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。

  データベースの開始後に値が変わります。セッションの開始後に追加した新しい選択を確認するには、セッション中に**プロパティ** ダイアログボックスで選択を最新の状態に更新するか（セッション中に選択を最新の状態に更新を参照してください）データベースを再起動します。

- フォルダは何に使用するのですか。

  フォルダは、名前を付けたタスク グループのことです。フォルダは、フォルダ テンプレートがクエリしたタスクを格納します。

- フォルダはどのように作成しますか。

  フォルダは、作成するかコピーします

- フォルダの内容を確認するには、どうしたらよいですか。

  Rational Synergy では、いくつかの場所でこの情報を確認できますが、最も簡単に探す方法は以下のとおりです。

  1. **クエリ** ダイアログボックスを使用して内容を確認したいフォルダを検索します。フォルダを右クリックし、**表示**を選択します。

     ワーク ペインにフォルダのプロパティが表示されます。

  2. **タスク** タブをクリックしてフォルダに含まれるタスクを表示します。

  3. 選択肢の中で、任意のタスクの隣のプラス記号をクリックして特定のタスクに関連するオブジェクトを表示します。

- 更新時にプロジェクト グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

  プロパティ ダイアログボックスで、フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを管理しているデータベースのリストを確認できます。フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを修正するには（たとえば、更新時にプロジェクト グルーピングに含めるオブジェクトを変更するなど）、それらが管理データベース内になければなりません。

- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。

  プロセス ルール プロパティ ダイアログボックスでベースライン設定を確認してください。ベースラインが正しく設定されていることを確認してください。正しく設定されている場合は、更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。を参照してください。

- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、タスク プロパティ ダイアログボックスにセキュリティ タブがありません。なぜですか。

セキュリティ タブを表示するよう設定する必要があります。プロパティ ダイアログ ボックスのセキュリティ タブの表示を参照してください。

- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。

  修復は、**タスク プロパティ** ダイアログボックスを使用して行います。手順については、タスクを指定して別タスクを修正を参照してください。

- タスク プロパティ ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。

  タスクに関連付けるべきではない各オブジェクトを選択し、テーブルの右のマイナス記号をクリックします。オブジェクトがタスクから削除されます。

- オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。

  オブジェクトを右クリックして**プロパティ**を選択します。

- オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。

  オブジェクトを右クリックして**検索**をポイントし、オブジェクトが使用されているプロジェクトのタイプを、プロジェクト、フォルダ、プロジェクト グルーピング、ベースラインから選択します。

- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。

  プロジェクトを右クリックし、**エクスプローラ**を選択します。

- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。

  ワーク ペインでオブジェクトを開き、**階層**タブをクリックします。

- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

  プロジェクトを右クリックし、**プロジェクト グルーピング プロパティ**を選択します。

用語解説

- Change、Rational Change を参照
- DCM
- Rational Change
- アクティブ リリース
- インスタンス
- インライン差分
- オブジェクト
- カレント タスク
- 間接メンバー
- 管理製品
- 共通祖先
- クエリ
- グルーピング プロジェクト
- 検索、クエリを参照
- 更新
- 更新テンプレート
- 更新プロパティ
- コンフリクト
- コンポーネント タスク
- 削除（delete）
- 削除（remove）
- 差分
- 修正タスク
- 手動で追加したタスク
- 正規表現
- 製品
- タイプ
- タスク
- タスクの完了
- タスクベースの方法論

- チェックアウト
- チェックイン
- 直接メンバー
- データベース
- ディレクトリ
- ディレクトリ エントリ
- デフォルトタスク、カレント タスクを参照
- 転送セット
- 同期
- バージョン
- パラレル コンフリクト
- パラレル バージョン
- 汎用プロセス ルール
- 非アクティブ リリース
- 比較
- 標準プロセス
- ビルド
- ビルド マネージャ
- ファイル
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロジェクト
- プロジェクト グルーピング
- プロジェクトの更新プロパティ
- プロジェクトのコピー
- プロセス
- プロセス ルール
- プロパティ
- 分散型プロセス
- ベースライン
- ベースラインで処理されたタスク

- ベースライン プロジェクト
- ベースライン リリース
- 別バージョンの使用
- 変更依頼
- 保存クエリ
- マージ
- マージ コンフリクト
- 目的
- リリース
- リリース固有プロセス ルール
- リリース名
- 履歴
- ワークエリア
- ワークエリア コンフリクト

Change

Rational Change を参照してください。

DCM

Rational Synergy の分散型変更管理（Distributed Change Management）オプションを使用すると、複数のデータベース間でデータを転送でき、マルチサイト開発を可能にします。

Rational Change

Rational Change は、Rational Synergy と統合された、ウェブベースの変更依頼管理システムです。本書では、Rational Change を Rational Synergy とともに使用する場合の説明をしています。

アクティブ リリース

アクティブ リリースは、進行中の開発に使用します。

インスタンス

インスタンスはオブジェクトのプロパティです。同じ名前、タイプの複数のオブジェクトを区別するために使われます。それぞれのバージョンではありません。

インライン差分

インライン差分は、2 つの比較ファイルの個々に修正された行と文字の差分を表示します。

オブジェクト

オブジェクトは Rational Synergy データベースに格納できる（ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、タスク、変更依頼を含む）データの異なるタイプを示す総称です。

カレント タスク

カレント タスクは、現在作業しているタスクです。

間接メンバー

間接メンバーは、直接メンバーと関連付けられており、Rational Synergy が自動追加するオブジェクトです

管理製品

管理製品は、製品のプロパティを持つよう設定されていてビルドによって変更されたオブジェクトです。

共通祖先

共通祖先は、マージされている 2 つのファイルの最新に一番近い祖先です。マージ セッションを行うと結果には共通祖先の内容が含まれます。

クエリ

クエリ（検索）操作により、Rational Synergy データベースからオブジェクト、プロジェクト グルーピング、タスク、および変更依頼を検索できます。再利用のためにクエリを保存できます（「保存クエリ」を参照）。

グルーピング プロジェクト

ソフトウェア アプリケーションの異なるプラットフォームを含むなどの目的で、複数のプロジェクトをグループ化したプロジェクトのことです。グルーピング プロジェクトは必須ではありません。すべてのプロジェクトが 1 つの階層に入れられている場合、プロジェクトのセットをチェックインしたり、プロジェクトの新しいセットをチェックアウトするほうが簡単です。

更新

更新操作により、自分のプロジェクトやディレクトリを他のユーザーによってチェックインされた最新のバージョンで更新できます。

更新テンプレート

プロセス ルールを参照してください。

更新プロパティ

誰かがプロジェクトを更新するとき、選択するオブジェクト バージョンを決めるためにオブジェクトが使用するプロパティです。

コンフリクト

コンフリクトはワークエリア（たとえば、同期操作をした後）やプロジェクト メンバー（コンフリクト検出を実行した後）に生じることがあります。

コンポーネント タスク

コンポーネント タスクは、ベースラインからプロジェクトまたは製品を集めるタスクです。このタスクは常に *component_task* 状態にあります。

削除（delete）

削除操作は Rational Synergy Classic データベースからオブジェクトを取り除きます。

削除（remove）

削除操作はオブジェクトをディレクトリやプロジェクトから取り除きますがデータベースからは削除しません。

差分

差分は、比較またはマージされた 2 つのファイルの差異です。2 つのファイルには 1 つ以上の差分があることがあります。

修正タスク

修正タスクは、修正する完了タスクまたは除外（破損）タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。

手動で追加したタスク

プロジェクト グルーピング プロパティ ダイアログボックス、**タスク** コンテキスト メニューの**プロジェクト グルーピングに追加**オプションまたは**アクション** メインメニューを使用して手動で追加するタスクです。

正規表現

正規表現は、一致テキストを検索するために使用するパターンを定義する文字列です。

製品

製品は、他のファイルを処理することによってビルドされるファイルです。製品の例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。

タイプ

オブジェクトに含まれるデータのクラスです。タイプはオブジェクトの振る舞いまたは特性を定義します。タイプの例は java、ライブラリ、実行形式ファイル、HTML です。

タスク

タスクはユーザーに割り当てられた todo リスト アイテムです。タスクは、完了するために修正されたファイルも追跡します。

タスクの完了

タスク上のすべての作業を完了したときにタスクを完了できます。これでチェックインすべきすべてのオブジェクトがタスクに割り当てられ、ビルド マネージャが製品をビルドできるようになります。

タスクベースの方法論

タスクベース方法論を使用すると、開発組織は作業の基本単位として個々のファイルではなくタスクを使用してソフトウェア アプリケーションへの変更を追跡できます。

チェックアウト

チェックアウト操作は、それをチェックアウトしたユーザーが編集できるオブジェクトの新しいバージョンを作成します。

チェックイン

チェックイン操作は 1 つ以上のオブジェクトを保存し、他のユーザーが使用できるようにします。

直接メンバー

直接メンバーは、DCM の**転送セットへの追加**操作によって明示的に追加したオブジェクトです。

データベース

Rational Synergy Classic データベースはソース、データ ファイル、それらのプロパティ、他への関連ファイルを含む使用中の管理データのすべてを格納するデータ レポジトリです。

ディレクトリ

Rational Synergy ディレクトリはどのファイルが属するかを維持管理します。

ディレクトリ エントリ

ディレクトリに属する各ファイルについて、ディレクトリはディレクトリ エントリと呼ばれるプレースホルダを持っています。ディレクトリ エントリは属するファイルを識別しますが、ファイルのバージョンは識別しません。

転送セット

あるデータベースからエクスポートして別のデータベースにインポートするため、オブジェクト セットを集めるために使用されるオブジェクトです。転送セットは、変更依頼、タスク、プロジェクト、リリース、ファイル、ディレクトリ、プロセス ルール、フォルダ、およびフォルダ テンプレートと関連付けることができます。

同期

同期操作は使用しているワークエリア ファイルとデータベースの情報を比較し、両者間のコンフリクトを解決できます。

バージョン

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

パラレル コンフリクト

パラレル コンフリクトは、1 つ以上のパラレル バージョンがチェックアウトされたときに発生します。

パラレル バージョン

パラレル バージョンは、1 つのファイルから 2 つ以上のバージョンがチェックアウトされたときに発生します。

汎用プロセス ルール

プロセス ルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用すべきタスクを指定して行います。

汎用プロセス ルールは、リリースの一部ではないプロセス ルールです。

非アクティブ リリース

非アクティブ リリースは、進行中の開発では使用できません。しかし、再び使用する必要がある場合、それをアクティブ化して使用できます。

比較

比較操作では 2 つのオブジェクトの差分が表示されます。

標準プロセス

Rational Synergy 用に定義された標準プロセスです。

ビルド

ビルドは、makefile でターゲット向けのコマンドを実行することです。また、ビルド マネージャが製品の作成に使用するプロセスでもあります。

ビルド マネージャ

ビルド マネージャは開発チームによる変更を集め、ビルドするユーザーです。

ファイル

ファイルは、データや情報の集まりです。

フォルダ

フォルダは、名前を付けたタスク グループのことです。

フォルダ テンプレート

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。

プロジェクト

プロジェクトとは、ファイルやディレクトリの選択バージョンを特定の構造に配列した論理グループです。

プロジェクト グルーピング

Rational Synergy では、プロジェクトはその目的とリリースによって、たとえば **My 3.0 Collaborative Projects** のようにグループ化されます。これをプロジェクト グルーピングといいます。プロジェクト グルーピングは、プロジェクトを更新するときに使用するタスクとベースラインを保持します。

プロジェクトの更新プロパティ

プロジェクトの更新プロパティは、プロジェクトのプロジェクト グルーピングのベースラインおよびタスクです。

プロジェクトのコピー

プロジェクトのコピー操作により、プロジェクトを個人使用のためにコピーできます。変更するためにはプロジェクトのコピーを作る必要があります。

プロセス

プロセスは、リリースのプロジェクトを更新する方法を定義するプロセス ルールの集まりです。たとえば、リリースは Integration Testing（統合テスト）という目的を含むことがあります。Integration Testing（統合テスト）目的内に、ビルドマネージャは Hotlist Testing、Integration Testing、Resolved CRs という 3 つのプロセス ルールを持つことがあります。Integration Testing（統合テスト）目的は柔軟です。これは、目的がどのプロセスルールを持つようビルド マネージャが設定するかによって統合テストエリアのビルドまたはホットリスト モードのテストの実行に使用できます。開発者はプロセスやプロセス ルールを設定しません。プロジェクトの目的だけを設定します。

プロセス ルール

プロセス ルールは、プロジェクトがどのように更新されるかを定義するパターンを含みます。それらは、誰かがプロジェクトを更新するときに使用する、ベースラインおよびタスクのセットを決定するルールを指定します（旧リリースでは、「プロセスルール」は「更新テンプレート」と呼んでいました）。

プロパティ

オブジェクトのプロパティ（属性ともいう）から、さまざまな情報を見つけることができます。プロパティの例は名前、バージョン、リリースです。

分散型プロセス

Rational Synergy Distributed 用に定義されたプロセスです。

ベースライン

ある時点における一連のプロジェクトとタスクのセットのスナップショットです。以降の開発の開始点として使用されることがあり、参照のために他のベースラインと比較されることがあります。

ベースラインで処理されたタスク

プロジェクト グルーピング内にはあるがベースライン内にはないタスクです。

ベースライン プロジェクト

自分のプロジェクトのベースにするプロジェクト バージョンを、そのベースライン プロジェクトといいます。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースライン プロジェクトは、「**editor-1.0**」です。プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースライン プロジェクトが自動的に設定されます。ベースラインは、ベースライン プロジェクトで構成されています。

ベースライン リリース

ベースライン リリースは、ベースライン選択方法を定義するときに予備リリースとして使用できます。

たとえば、Insulated Development（個別開発）目的のベースラインは、プロジェクトと同じリリースの最新の Integration Testing（統合テスト）ベースラインです。ただし、これがない場合、ベースライン リリースの最新のベースラインが使用されます。

具体的には、CM 6.5 のベースライン リリースは CM 6.4 SP1 です。CM 6.5 の統合テスト ベースラインがまだない場合、6.5 個別開発プロジェクトは最新の CM 6.4 SP1 ベースラインを採用します。

別バージョンの使用

プロジェクトのファイルまたはディレクトリの別のバージョンを使用できます。別バージョンの使用操作は、単体テスト中に以前のファイル バージョンに戻したいときなどに実行できます。

変更依頼

変更依頼は、変更のための依頼です。

保存クエリ

使用できるクエリには、自分が作成して保存したクエリと、システムが保存したクエリの 2 種類があります。たとえば、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク**などがあります。

マージ

マージ機能により、ファイルの 2 つのパラレル バージョンからの情報を組み合わせることができます。2 つのファイルをマージすると、3 つ目のファイルが作成されます。3 つ目のファイルには両ファイルからの情報が含まれます。

マージ コンフリクト

マージ コンフリクトは、2 つの修正されたファイル間で同じ行が違う方法で修正された不整合です。

目的

プロジェクトの目的は、それが何に使用されるかを定義します。たとえば、Insulated Development（個別開発）、Integration Testing（統合テスト）、System Testing（システムテスト）など。プロジェクトの目的を変更すると、Rational Synergy はプロジェクトの更新時に異なる選択基準を使用します。

リリース

リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。

リリース固有プロセス ルール

プロセス ルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用すべきタスクを指定して行います。

リリース固有プロセス ルールは、特定のリリースのために作成されたプロセス ルールです。

リリース名

リリース名はコンポーネント名（オプション）とリリース区切り文字、およびコンポーネント リリースで構成されます。コンポーネント名はアプリケーションまたはコンポーネントの名前を示します。たとえば、**Synergy** や **editor** などがあります。コンポーネント リリースは、アプリケーションまたはコンポーネントの特定のリリースを識別します。**Synergy/6.4** は、リリース名の一例です。

履歴

履歴操作はファイル、ディレクトリ、プロジェクトの全バージョン、およびそれぞれの関連を表示します。

ワークエリア

ワークエリアは、プロジェクトの個人使用コピーを含むファイルシステムの場所です。

ワークエリア コンフリクト

ワークエリア コンフリクトは、使用しているワークエリアとデータベースの間の不整合です。

特記事項

© Copyright 2000, 2009

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の 製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの 評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Copyright © 2008 by IBM Corporation.

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について 実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示 もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムと その他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、製造元に連絡してください。

Intellectual Property Dept. for Rational Software
IBM Corporation
1 Rogers Street
Cambridge, Massachusetts 02142
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM および関連の商標については、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。Microsoft、Windows、Windows 2003、Windows XP、Windows Vista および / またはその他の Microsoft 製品は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

C

CLI、Synergy を開始 216
cmsynergy コマンド 216

D

DCM
　転送セット、表示 211
　転送セットへのオブジェクトの追加 258

I

IBM Rational ソフトウェア サポート 233

R

Rational Change
　起動 218
　変更依頼の解決 96

S

SiberMerge
　比較ツール 175
　マージ ツール 166
Synergy
　CLI から開始 216
　Synergy Classic、ビルド スクリプト 314
　インターフェイス、説明 223
　コピーベース モードで開始 219
　操作の開始 227

X

x、赤、説明 76

あ

赤い x、説明 76
暗黙的コンフリクト検出 24

い

色
　加線、テーブルのデフォルト 226
　加線、変更 198
　プロジェクト アイコン、変更 198
　文字、変更 198
インターフェイスのカスタマイズ
　エクスプローラ 186
　オブジェクト バージョンのフィルタリング 201
　加線色の変更 198, 203
　カラムからプロパティを削除 208
　カラム順序 197
　カラムにプロパティを追加 207
　カラム幅の変更 197
　子孫の表示 201
　セキュリティを表示 212
　選択色の変更 198
　祖先の表示 201
　タブの最大数の変更、ワーク ペイン 203
　タブの最大文字数の変更、ワーク ペイン 203
　表示するオブジェクトを変更、ワーク ペイン 203
　フォント サイズの変更 201
　フォント サイズ、変更 200
　フォント タイプの変更 200
　プロジェクトアイコン､色の変更 198
　ミニチュア ビューの変更 201
　文字色の変更 198
　ユーザー プロパティ 117

え

エクスプローラ
　1 つ、すべて閉じる 185
　色、加線の変更 198
　色、文字色の変更 198
　カスタマイズ 186
　クエリを検索メニューに追加 191
　タスク、説明 224
　ツールバー、説明 224
　ドッキング 188

表示 188
表示順序 322
表示する最大数 322
プロジェクト グルーピング内容の変更 189
プロジェクト、説明 224
変更依頼、説明 224
保存クエリ、追加 190
リリース、説明 224
リリースを表示 210
エディタ、変更 118

お

オブジェクト
移動 62
クエリ 129, 162
クエリの定義 136
検索 129
更新選択時の問題 313
最新の情報に更新 249
削除 60
推奨バージョンの使用 23
セキュリティ設定の変更 123
タスクから削除 239
タスクから追加 239
タスクとの関係の説明 27
タスクとの関連付け 238
タスクに関連付け、表示 245
タスクの削除 79
タスクの追加 79
追加 63
ディレクトリへの追加 63
転送セットへの追加 258
同一を比較 181
名前の変更 64
パラレル コンフリクト 30
パラレル、比較 178
パラレル、マージ 168
比較 180
表示 58
表示、履歴 131
編集 58
マージ 167
履歴関係、説明 28
ワークエリアにコピー 38
オブジェクトの管理 167
オブジェクト バージョンのフィルタリング 201
オプション
クエリ条件 145
更新のため変更 40
コンフリクトの自動検出 40
サブプロジェクトの置換 40
転送セット 211

か

加線、デフォルト表色 226
カレント タスク
完了 70
作成 72
ディレクトリの削除 77
ファイルの削除 77
変更依頼の削除 77
割り当て 71
関係
切り取りによる変更 239
履歴、更新 131
完了、カレント タスク 70
関連オブジェクト、比較 180
関連タスク、表示 81
関連付け
オブジェクトとタスク 238
切り取りによる変更 239
タスクと変更依頼 238

き

キーボード ショートカット 228
キーワード
クエリの 148

く

クエリ
エクスプローラのカスタマイズ 186
オブジェクト(カスタム クエリ使用) 143
オブジェクトの使用箇所 142
オブジェクトの使用箇所の検索 130

オブジェクトを 143
カスタマイズ 142
カスタム 143
関数 152
関数定義 152
baseline 152
build 152
cr 152
folder 153
has_attr 153
has_child 153
has_member 153
has_model 153
has_no_relationship 153
has_predecessor 153
has_priv 153
has_purpose 153
has_*relationship* 153
has_type 154
hierarchy_project_members 154
is_bound 154
is_child_of 154
is_hist_leaf 154
is_hist_root 154
is_member_of 154
is_model_of 155
is_no_relationship 155
is_predecessor_of 155
is_*relationship*_of 155
is_type_of 155
recursive_is_member_of 155
task 155
versions_in_a_baseline 156
関数テスト文節の使用 147
関数引数
attr_name 152
object_name 152
order_spec 152
privilege_name 152
project_name 152
キーワードを使用 148
結果を最新の情報に更新 192
検索順序 152
式、組み合わせ 148
条件オプション 145
スタック 137
属性を使用 147
タスク 144
定義 136, 142
定義済みバージョン 162
定義済みオブジェクトの 162
定義、変更 142
定義方法 142
定数 159
名前の変更 141
ネストされた 150
比較演算子 157
文節 151
文節、グループ化 160
編集 164
保存 138, 139
保存クエリをエクスプローラに 190
保存、検索メニューに追加 191
保存、削除 193
保存、作成 138, 139
保存したものの表示 140
保存、実行 163
保存、フォルダ 224
例 136
論理演算子 158
クエリ ダイアログボックス
オブジェクトの検索 143
タスクの検索 144
グループ セキュリティ オプション
セキュリティ タブの表示 212

け

検索
クエリ内の順序 152
例 136
検索 - クエリの項を参照してください。

こ

更新
オプション、変更 40
コンフリクトの自動検出 40
サブプロジェクトの置換 40
選択時の問題 313

注意 48
プロジェクト 20
プロジェクトの更新の取り消し 21
プロジェクトのプロパティの変更 43
プロジェクト メンバー 20
ベースラインとタスク 48
ベースラインを維持、タスクを変更から 49
目的の削除 255
目的の作成 254
更新時の詳細メッセージ 40
更新のキャンセル 21
更新の取り消し 21
更新を元に戻す 21
コピー
オブジェクトとタスクの関連付け 239
関係の変更 239
タスク 74
貼り付け、オブジェクト、タスク、CR 238
ファイルの追加 239
プロジェクト 12
プロジェクトをファイルシステムに 15
コマンド、cmsynergy 216
コンフリクト
暗黙的、定義済み 24
オブジェクト間でパラレル 30
オブジェクト履歴関係、説明 28
解決（メンバーシップ） 24
更新後検出 40
正規表現をフィルタとして 247
説明 24, 329
大規模、検出 31
タスクとオブジェクトの関係、説明 27
パターンをフィルタとして 247
パラレルバージョン、表示 178
深い検出の設定 37
変更の欠落、説明 31
明示的、定義済 24
メッセージの定義 24
例の種類 29
ワークエリア 38
コンフリクトのないすべての変更の適用 171

さ

最新の情報に更新
オブジェクト 249
クエリ結果 192
セッション中に選択を 209
削除
保存クエリ 193
オブジェクトからタスクを 79
カレント タスクからディレクトリを 77
カレント タスクからファイルを 77
カレント タスクから変更依頼を 77
説明 329
タスク 60
ディレクトリ 60
表題部からプロパティ 208
ファイル 60
フォルダ 60
フォルダ テンプレート 60
プロジェクト 60
プロジェクトからファイルを 60
プロジェクト グルーピング 60
プロジェクト グルーピングからタスクを 45, 88
プロセス 60
プロセス ルール 60
ベースライン 60
保存クエリ 60
目的 255
ワーク ペインからタブを 204, 206
削除（remove）
削除（delete）の項を参照してください。
作成
クエリ 136
クエリ、カスタム 142
サブプロジェクト 57
修正タスク 86
タスク 72
タスクを変更依頼と自動的に関連付け 93

ディレクトリ 57
ファイル 57
プロジェクト 11
プロジェクト グルーピング 321
保存クエリ 138, 139
目的 254
サブプロジェクト
更新後置換 40
ファイル、作成 57

し

修正タスク
開発者の手法 86
作成 86
破損タスク、修正 84
手動でクエリを最新の情報に更新 192
手法
タスクの修正、開発者の 86
ショートカット
キーボード 228
マウス 231
メニュー、表示 242
除外
完了タスク 76
使用箇所の検索
オブジェクト 130
プロジェクト 162

す

スタック、クエリ 137
ステータス行、メッセージの表示 245
すべてのマージ変更のクリア 173

せ

正規表現、コンフリクトのフィルタ 247
セキュリティ、オブジェクトの設定を変更 123
セキュリティタブ、表示 212
セッション、再起動せずに選択を最新の状態に更新 209
選択、セッション中に最新の情報に更新 209

そ

属性
クエリ内の値 147
セッション中に最新の状態に 209
表題部から削除 208
表題部に追加 207

た

ダイアログボックス
色、加線の変更 198
色の変更 198
色、文字色の変更 198
インターフェイスのカスタマイズ表示 197
オブジェクト バージョンのフィルタリング 201
加線色の変更 203
子孫の表示 201
セキュリティを表示 212
祖先の表示 201
タブの最大数の変更 203
タブの最大文字数の変更 203
表示するオブジェクトを変更 203
フォント サイズの変更 201
フォント サイズ、変更 200
フォント タイプの変更 200
ミニチュア ビューの変更 201
タイプ、ファイルの変更 65
タスク
2 つの間で関係を作成 84
エクスプローラ、説明 224
オブジェクトから削除 79
オブジェクトとの関係、説明 27
オブジェクトとの関連付け 238
オブジェクトの削除 92, 94
オブジェクトへ追加 79
カレント、設定 69
カレント タスク、完了 70
完了、除外 76
関連オブジェクト、表示 245
関連付け、ファイル 77
関連、表示 81
クエリの定義 136

検索 129, 142
更新、変更しない 49
コピー 74
削除 60
作成 72
自動追加、停止 97
修正、作成 86
除外、開発者の手法 86
セキュリティ、設定、プロパティの変更 111
セキュリティを設定 123
説明 330
選択 69
追加と必須 97
必須、追加停止 97
フォルダへ追加 78
プロジェクト グルーピングから削除 45, 88
プロジェクト グルーピングに追加 43, 89
プロパティの修正 110
ベースライン、更新 48
ベースラインに追加 101
変更依頼と自動的に関連付け、作成 93
変更依頼、表示 95
問題を修正 84
割り当て 71
割り当てられた、表示 80
問題、プロジェクト グルーピングから削除 88
タブ、ワーク ペインから削除 204, 206

ち

チェックアウト
ディレクトリ 56
ファイル 56
チェックイン
タスクなしにファイルを 55
ディレクトリ 55
ファイル 55

つ

追加タスクと必須タスク 97
ツールバー、エクスプローラ、説明 224

て

ディレクトリ
2 つを比較 181
オブジェクトの追加 63
カレントタスクへ追加 77
関連、表示 81
更新、取り消し 21
削除 60
作成 57
セキュリティを設定 123
タスクの削除 77
タスクの追加 77
チェックアウト 56
追加 63
テンプレート、修正 16
パラレル、表示 178
パラレルを比較 177
貼り付けにより追加 63
比較 176
プロジェクト メンバーとして作成 14
プロパティの修正 102
プロパティ、表示 115
テキストの回復 248
デフォルト ツール
比較 118
表示 118
変更 118
編集 118
テーブル
表題部からプロパティを削除 208
表題部にプロパティを追加 207
転送セット
オブジェクトへ追加 258
トラブルシューティング 313
テンプレート
プロジェクト固有ディレクトリの変更 16

と

同一オブジェクト、比較 181
同期

データベースへの追加(ファイル) 38
パターン 41
フィルタ 41
ワークエリアとデータベース 38
ワークエリアの変更を破棄 38
ワークエリアの変更を保存 38
特記事項、著作権情報 337
ドラッグ アンド ドロップ、使用 240

な

名前
ベースライン、変更 101

ね

ネストされたクエリ 150

は

バージョン
異なるバージョンの使用、更新 20
最新のバージョンを取得 20
推奨バージョンの使用 23
パラレル、表示 131
別バージョンの使用 22
別バージョンの使用、説明 334
パス、ワークエリアの設定 17
破損タスク、修正 84
パターン
コンフリクトのフィルタ 247
ファイルの無視 41
パラレル オブジェクト
所有者の検索 318
比較 178
表示 131
マージ 168
パラレル バージョン
マージ 168
貼り付け
オブジェクト、タスク、CR 238

ひ

比較
2 つのファイル 16, 17, 176
SiberMerge デフォルト ツール 175
オブジェクト 180
コンフリクト、深い検出 37
説明 332
ディレクトリ 176
ディレクトリ、パラレル 177
ファイル 176
ファイル、パラレル 177
プロジェクト 176
ベースライン 312
類似オブジェクト 181
ワークエリアのファイルとデータベース 38
比較ツール、変更 118
必須タスクと追加タスク 97
表示
子孫 201
祖先 201
表のデフォルトの加線色 226

ふ

ファイル
移動 62
カレントタスクへ追加 77
管理されているものとの置き換え 38
関連、表示 81
切り取りによる削除 239
クライアント ログの出力先を変更 319
クライアント ログの名前を変更 319
異なるバージョンの使用、更新 20
削除 60
削除と置換 60
修正 58
修正可能なバージョンの作成 56
推奨バージョンの使用 23
セキュリティ、設定、プロパティの変更 102
セキュリティを設定 123
タイプの変更 65
タスクから削除 94
タスクとの関連、変更 94
タスクの削除 77
タスクの追加 77, 79
チェックアウト 56

ディレクトリから削除 239
ディレクトリから追加 239
ディレクトリへの追加 63
同期によって作成 38
同期によってデータベースに追加 38
名前の変更 64
バージョン、使用 22
パターンによる無視 41
パターンを使用して無視 41
パラレル、表示 178
パラレルを比較 177
比較 16, 17, 176
表示 58, 245
プロジェクト内で移動 62
プロジェクト メンバーとして作成 14
プロパティの表示 22
プロパティ、表示 115
編集 58
マージ 167
マージ、保存 172
無視するフィルタ 41
ログ、表示方法 319
ワークエリアの更新（データベースから） 38
ファイルの移動 62
フィルタ、ファイルを無視 41
フォルダ
2 つを比較 181
検索 129
作成、方法 323
使用箇所の検索 130
セキュリティ、設定、プロパティの変更 104
セキュリティを設定 123
タスクの追加 78
内容の表示 323
プロパティの修正 104
プロパティ、表示 115
保存クエリ、表示される場所 224
用途 323
フォルダ テンプレート
2 つを比較 181
検索 129
プロパティ、表示 115
フォント サイズ
履歴内の変更 201
ワークペインで変更 200
フォント サイズの変更 201
フォント タイプ、ワーク ペインで変更 200
プロジェクト
2 つを比較 181
エクスプローラ、説明 224
オブジェクトの追加 63
関連、表示 81
クエリの定義 136
検索 129
更新 20
更新、取り消し 21
更新プロパティの変更 43
コピー 12
削除 60
作成 11
使用箇所の検索 130
新規に開く 243
セキュリティ、設定、プロパティの変更 107
セキュリティを設定 123
説明 332
タブの削除 206
追加 11
ディレクトリから削除 239
ディレクトリから追加 239
ディレクトリへの追加 63
内容の表示 245
比較 176
ファイルシステムにコピー 15
ファイルの移動 62
不要な変更の削除 313
プロジェクト グルーピングに追加 125
プロパティの修正 106
ベースライン プロジェクトと比較 180
メンバーの更新 20
メンバーの作成 14
メンバーの追加 14
目的、削除 255
目的、作成 254

目的、編集 256
ワークエリア外 16
ワーク ペイン、タブの削除 204
プロジェクト アイコン、色の変更 198
プロジェクト グルーピング
2 つを比較 181
クエリの定義 136
検索 129
削除 60
作成 321
使用箇所の検索 130
タスクの削除 45, 88
タスクの追加 43, 89
内容の変更 189
プロジェクトの追加 125
プロパティの修正 108
ベースラインと比較 180
プロジェクト固有ディレクトリ テンプレート、修正 16
プロジェクト メンバー、作成 14
プロセス
検索 129
プロパティ、表示 115
リリース エクスプローラ、表示 210
プロセス ルール
2 つを比較 181
検索 129
プロセスと比較 180
プロパティ、表示 115
リリース エクスプローラ、表示 210
プロパティ
更新、プロジェクトの変更 43
新規ベースラインの選択 50
セッション中に最新の状態に 209
説明 333
タスク、修正 110
タスク、表示 115
ディレクトリ、修正 102
ディレクトリ、表示 115
表題部に追加 207
表題部の削除 208
ファイル、修正 102
ファイル、表示 115
フォルダ、修正 104
フォルダ テンプレート 115
フォルダ、表示 115
プロジェクト、修正 106
プロジェクト グルーピング 115
プロジェクト グルーピング、修正 108
プロジェクト グルーピング、タスクの削除 45
プロジェクト グルーピング、タスクの追加 43
プロジェクト、表示 115
ベースライン 115
ベースライン、修正 101
リリース 115
ワークエリア、修正 112
ワークエリア、設定 112
ワーク ペイン、表示 244
分析、深いコンフリクト 37

へ

ペイン
色、加線の変更 198
色、文字色の変更 198
表示のカスタマイズ 197
プロジェクト、加線色の変更 203
ワーク色の変更 198
ワーク、最大文字数の変更 203
ワーク色の変更 198
ワーク、セキュリティを表示 212
ワーク、説明 224
ワーク、タブの最大数の変更 203
ワーク、タブの削除 206
ワーク、表示するオブジェクトを変更 203
ワーク、フォント サイズの変更 200
ワーク、フォント タイプの変更 200
ベースライン
クエリの定義 136
検索 129
更新、変更しない 49
削除 60
使用箇所の検索 130
新規を選択 50
タスク、更新 48
名前 101

比較 312
プロパティの修正 101
プロパティ、表示 115
別ベースラインの使用 51
ヘルプ、使用法 232
変更依頼
Rational Change の起動 218
エクスプローラ、説明 224
解決 96
カレントタスクへ追加 77
関連、表示 81
クエリ関数 153
クエリの定義 136
検索 129, 142
自動的に関連付けられたタスクの作成 93
使用箇所の検索 130
タスクから削除 92, 94, 239
タスクから追加 239
タスクとの関連付け 238
タスクの削除 77
タスクの追加 77
タスク、表示 95
追加 77
プロパティ 115
割り当てられたものの表示 133

ほ

保存
クエリ 138, 139
マージ済みファイル 172
保存クエリ
削除 60
削除（remove）193
作成 138, 139
名前の変更 141
表示 140
フォルダ、表示される場所 224
保存クエリの実行 163
保存クエリの名前変更 141

ま

マウスショートカット 231
マージ
2 つのオブジェクト バージョン 167
SiberMerge デフォルト ツール 166
結果の編集 169
コンフリクトのないすべての変更の適用 171
説明 334
次の差分の表示 170
パラレル所有者の検索 318
ファイルの保存 172
変更のクリア 173
マージ ファイルの保存 172
要件 318
マージ ツール、変更 118

み

ミニチュア ビューの変更 201

め

明示的コンフリクト検出 24
メッセージ
更新時に詳細表示 40
ステータス行のメッセージ 245
表示 245
メニュー、ショートカット、表示 242
メンバーシップ コンフリクト、解決 24

も

目的
削除 255
作成 254
プロジェクト、編集 256
ベースライン選択 50
問題タスク、修正 84

ゆ

ユーザー インターフェイス ログ
出力先を変更 319
名前の変更 319

よ

用語解説 325

り

リリース
エクスプローラ、説明 224
検索 129
セキュリティを設定 123
プロパティ 115
履歴の表示 131
履歴
関係、更新 131
説明 335
比較 176
表示 131

ろ

ログ
出力先を変更 319
名前の変更 319
表示方法 319

わ

ワークエリア
欠落プロジェクト 16
説明 335
データベース、同期 38
データベースと同期 38
データベースにコピー 38
デフォルト パスを設定 17
同期 38
パスを設定 17
プロパティの設定 112
変更を破棄 38
変更を保存 38
ワークエリアのリコンサイル 38
ワーク ペイン
説明 224
プロパティ、表示 244
割り当てタスク、表示 80